

IDIS center

ソフトウェア取扱説明書

取扱説明書を読む前に

本取扱説明書では、ネットワークカメラ、ネットワークビデオサーバー、ネットワークビデオレコーダー（NVR）及びデジタルビデオレコーダー（DVR）の遠隔ソフトウェアであるRemote Administration System（以下、IDIS centerという。）の使用方法について記述しています。

本取扱説明書において、**IDIS centerシステム**とは、**IDIS center**プログラムを起動しているPCを指します。**デバイス**とはネットワークカメラ、ネットワークビデオサーバー、ネットワークビデオレコーダー（NVR）及びデジタルビデオレコーダー（DVR）を指します。

著作権

© 2025 (株)IDIS

本取扱説明書の著作権は(株)IDISにあります。

(株)IDISの事前に許可を得ず、取扱説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。

本取扱説明書の内容はソフトウェアの機能改善などの理由により予告なく変更される場合があります。

登録商標

IDISは(株)IDIS の登録商標です。

その他の社名や製品名は当該会社が所有する登録商標です。

目次

1	第1章 – ソフトウェアの概要	7
2	第2章 – インストール	8
	製品の構成	8
	システムの要求事項	8
	インストール	9
	アンインストール	11
3	第3章 – 開始	12
	プログラム起動	12
	管理者の権限で実行	12
	ログイン	12
	デバイスの登録	13
	リアルタイム映像監視	16
	録画映像再生	17
	システムの概要	18
	メニュー	19
	サイトリスト	21
	パネル	22
4	第4章 – 設定	23
	デバイス	23
	デバイスの管理	25
	デバイスパスワードの再発行	31
	ログイン失敗デバイスグループ	33
	パスワード変更期間終了通知	34
	ユーザー(使用者)	35
	ユーザー管理	36
	OSDウォーターマーク	37
	緊急録画	38

システム	39
画面分割	40
画面表示	41
画面メニュー	43
映像設定	44
レポート	46
最近のイベント	47
ネットワーク	48
検索	49
サイト	49
ブラウザ	50
アクション	51
バックアップ/復元	52

5

第5章 – 使用 53

映像監視	53
パネルのツールバー	54
ホットスポット設定	55
イベントスポット設定	55
マップイベントスポット設定	55
ブラウザ画面設定	56
画面分割	56
レイアウトの監視	57
レイアウトの順次監視	60
カメラの順次監視	62
マップ監視	64
ブラウザ実行	65
カメラの制御	66
PTZ制御	68
リモートコントロール	71
魚眼映像の歪み補正	72
スマートUXのクリックコントロール制御	72
録画映像の再生制御	73
カメラ簡単設定	73
映像拡大	74

イメージ効果	74
簡単再生	74
映像分析	75
ピクセルカウンター	76
ライブネットワークモニタ	77
テキストインビューア	77
Googleマップ	78
速度グラフ	78
自動車情報	79
ライブズームポップアップ	79
マップの制御	79
ライブポップアップ	82
インターコム	83
ブックマーク(Bookmark)	90
サムネイル検索	91
フィルター設定	91
オブジェクト/モーション検索	92
映像拡大	92
イメージ効果	93
ピクセルカウンター	93
スマートイメージフィルタ	94
Googleマップ	94
速度グラフ	94
自動車情報	95
テキストインのレポート	96
録画映像を動画で保存	97
専用のビューアーファイルで保存	97
AVIファイルで保存	101
イベント処理	103
映像監視	104
映像再生	105
システムの動作状態の監視	105
デバイス状態の監視	106
ログ検索	107
自己診断	108
映像分析レポート(VA Box)	109

接続および検索	109
VAダッシュボード	113
登録及び検索	114
サイトパネル設定	115
イベント	119
ブラウザ	120
ブラウザ設定	121
マップ再生	122
FENサービス利用同意	129
FENサービスを使用しない	130
マップの登録	131
マップ設定	132
画面構成	137
設定	140
サイト登録および検索	140
検索結果	141
保存	143
ネットワークキーボードを利用した制御	144
登録	144
接続	146
実行	146
ネットワークキーボードボタン	148

第6章 – 付録

151

ショートカットキー	151
システムメニュー	151
スクリーン	153
シーケンス	153
ホバーツールバー	153
メッセージボックス	153
デバイス	153
Smart UX	154
索引	158

第1章 – ソフトウェアの概要

IDIS centerは、デバイスの映像監視及び録画映像の再生のためのソフトウェアで、次のような特徴があります。

- デバイスのリアルタイム映像の遠隔監視及び録画映像の遠隔再生
- デバイスのイベント感知のリアルタイム通知及びイベント感知映像の遠隔監視
- 監視映像の緊急録画及び緊急録画映像の再生
- 最大2,048のデバイス登録可能
- ソフトウェアの遠隔アップグレード及びシステムの遠隔設定
- デバイスのシステムログ表示
- リアルタイム映像のマッピング監視
- H.264、MPEG-4、M-JPEG復元アルゴリズムをサポート
- セキュリティのためSSL機能をサポート
- セキュリティのためユーザーグループ別に権限設定
- 低帯域幅環境で動作
- ユーザー中心の直感的なGUIを使用



- 本機には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ライセンス政策のソース公開支援可否によって、該当ソフトウェアのソースコードを希望する場合は提供受けることができます。詳細内容は クライアントメニュー - 情報のご確認をお願いします。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSL Projectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含めております。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアとTim Hudson (tjh@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアを含めております。
- 本文書に収められた情報の完結性と正確性を検証するため、最善を尽くしておりますが、保障はいたしかねます。本文書の使用結果による責任はユーザーにあります。また、事前の連絡なく情報が変更されることもあります。

第2章 – インストール

製品の構成

- 取扱説明書
- ソフトウェアのインストールCD

システムの要求事項

	推奨仕様	最低仕様
OS	Microsoft® Windows® 11、 Microsoft® Windows® 10 64-bit (Home、Pro)、Windows Server 2016以上	Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro)
CPU	Intel® Core™ i7-12700K 3.6GHz 以上	Intel® Core™ i3-2100 以上
RAM	16GB以上	2GB以上
VGA	NVIDIA GeForce GTX1060またはQuadro P2000以上 (1920x1080または2560x1440 、 60Hz)	NVIDIA GeForce GT710 (1280x1024、 60Hz)また は Intel® HD Graphic 530以上
HDD	8GB以上の空き容量 SSD (Solid State Drive)	4GB以上の空き容量
LAN	Gigabit Ethernet以上	100Mbps Ethernet

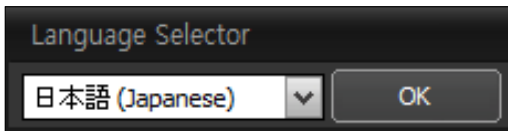
インストール

ソフトウェアをインストールする前に、Windowsスタートメニューのコントロールパネル内、電源オプションで「ディスプレイの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」を「使用しない」に設定してください。

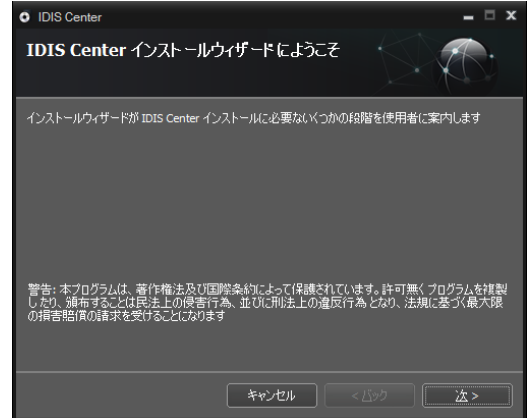
- 1 ソフトウェアのインストールCDを準備します。
- 2 CDの**Setup**のフォルダーの下にある**setup.exe**ファイルを実行します。

☒ Microsoft® Windows® Vistaまたはそれ以降の上のOSで**ユーザーアカウント制御**画面が表示されることがあります。この場合、**許可**ボタンをクリックした後、設定画面の指示に従ってプログラムをインストールします。

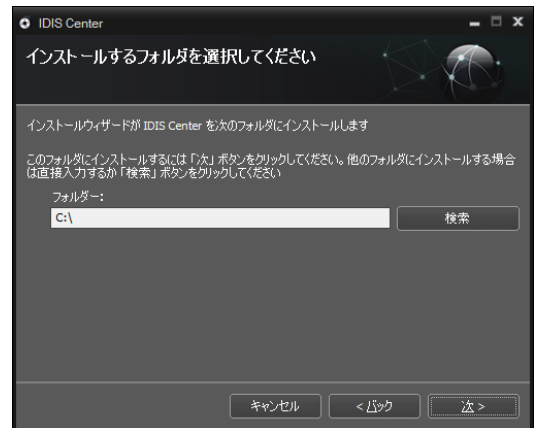
- 3 プログラム稼働時に使用する言語を選択した後、**OK**ボタンをクリックします。



- 4 インストール画面が表示されたら、**次**ボタンをクリックします。

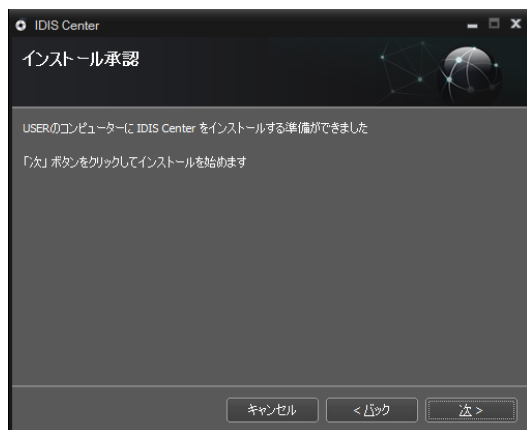


- 5 プログラムがインストールされるフォルダーを指定した後、**次**ボタンをクリックします。

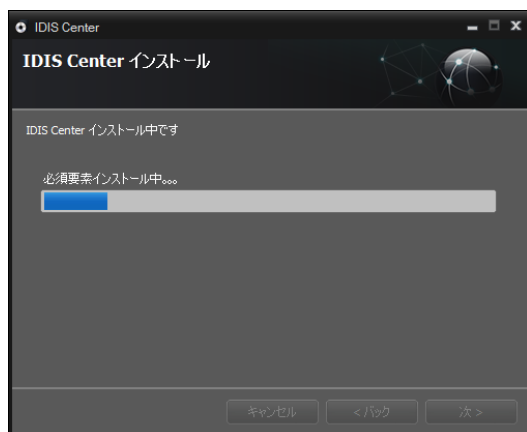


第2章 – インストール

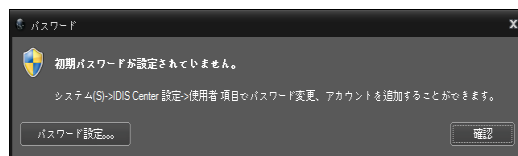
- 6 設置承認画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。



- 7 設置完了画面が表示されたら、閉じるボタンをクリックしてインストールを完了します。



- 8 本プログラムは初期パスワードが設定されていません。パスワードを設定せずにプログラムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、できるだけパスワードを設定してお使いください。



- ✓ **NETFrameworkとVisual C++Runtime Libraries**が自動的にインストールされます。インストールには、時間が少々掛かる場合があります。PCに**NET Framework**及び**Visual C++Runtime Libraries**が既にインストールされている場合、本インストールのプロセスは省略されます。

アンインストール

1 実行中のIDIS centerプログラムを終了します。



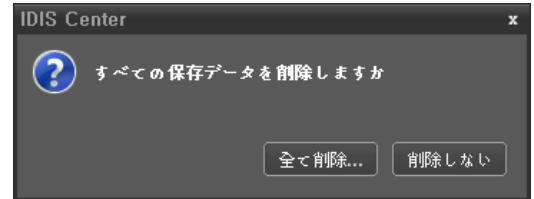
- プログラムの実行が終了していない状態でソフトウェアをアンインストールすると、正常に削除されないことがあります。
- インストールフォルダーを強制的に削除すると、ソフトウェア削除及び再インストールが不可能になるため、必ず次の手続きに従ってアンインストールしてください。

2 ウィンドウズ(Windows)スタートメニューのIDIS centerを選択し、**Uninstall IDIS center**をクリックしてください。

3 プログラムアンインストールを確認するウィンドウが表示されたら、**確認**をクリックしてください。



4 データ削除の確認ウィンドウが表示されます。緊急録画映像および既存の設定をはじめとして、システムに保存されているすべてのデータを削除するためには、**全て削除**ボタンを、データを削除せずに保存するためには**削除しない**ボタンをクリックしてください。



削除されたデータは復元することができません。..

5 **確認**ボタンをクリックしてアンインストールを完了します。

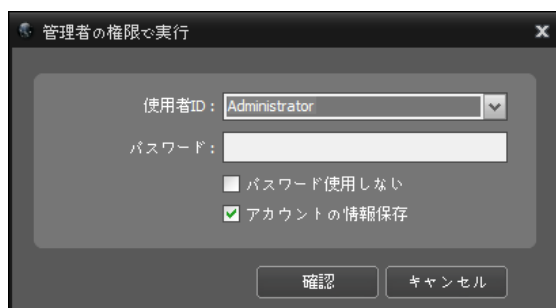
第3章 – 開始

プログラム起動

IDIS centerソフトウェアをインストールするとデスクトップに**IDIS center**及び**IDIS center Run as administrator**(管理者IDでの実行)のショートカットアイコンが生成されます。**IDIS center**又は**IDIS center Run as administrator**(管理者IDでの実行)のショートカットアイコンをダブルクリックしてIDIS centerプログラムを実行します。IDIS centerプログラムが実行中のPCに**管理者ID**ではなく**標準ユーザーID**でログインした場合、**IDIS center Run as administrator**(管理者IDでの実行)のショートカットアイコンをダブルクリックしてください。iHDP専用にiHDPをより簡単に使用するためには、**IDIS center for iHDP**のショートカットアイコンをダブルクリックして**IDIS center**プログラムを実行します。

管理者の権限で実行

プログラムを実行した後、管理者情報を入力します。



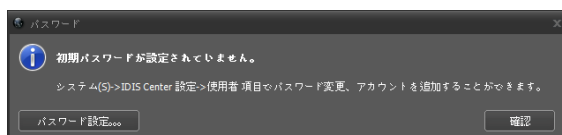
- **使用者ID、パスワード:** PCの管理者アカウントの使用者ID及びパスワードを入力します。
- **パスワード:** アカウントのパスワードを入力します。
- **パスワード使用しない:** PCの使用者IDにパスワードが設定されていない場合、選択します。
- **アカウントの 情報保存:** この項目を選択すると、上記のID及びパスワードを保存します。

☒ IDIS centerプログラムが実行中のPC仕様、または、ユーザーID設定により、ログインの制限がある場合があります。

ログイン

本プログラムは初期パスワードが設定されていません。

パスワードを設定せずプログラムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、なるべくパスワードを指定して使用してください。



プログラム実行時、次のようにログインしなければなりません。

スタートメニューのIDIS centerをクリックします。プログラムを実行した後、ログイン情報を入力します。

デバイスの登録

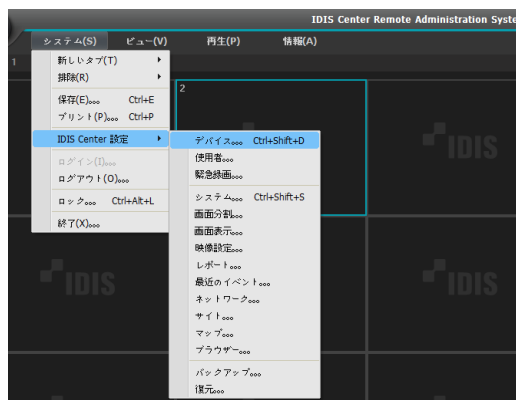
IDIS centerプログラムで提供する機能を使用するためには、まずIDIS centerプログラムにデバイスを登録した後、該当するデバイスをデバイスグループに追加しなければなりません。

1 システムメニュー > IDIS center設定 > デバイスを選択します。

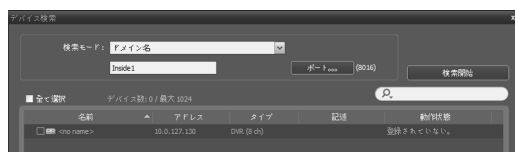
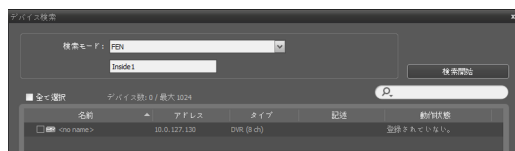
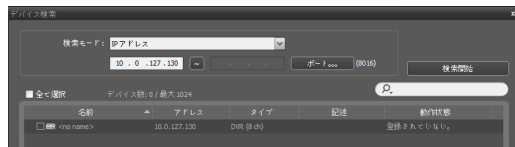
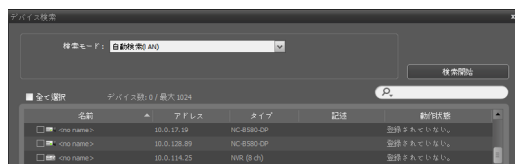
- **IDを保存します:** この項目を選択するとログインする際、入力したIDを保存します。
- **最後監視セッション復元:** 現在の監視パネルに以前の監視セッションを復元することができます(**ユーザー基本レイアウト実行**には対応しない)。



- 使用者IDの基本値は**admin**であり、初期パスワードはありません。
- ユーザーメニューで使用者のIDやパスワードを変更することができます。
- 詳しい内容は、**p.35 ユーザー(使用者)**部分を参照してください。



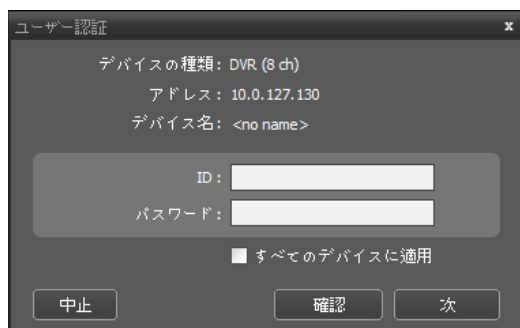
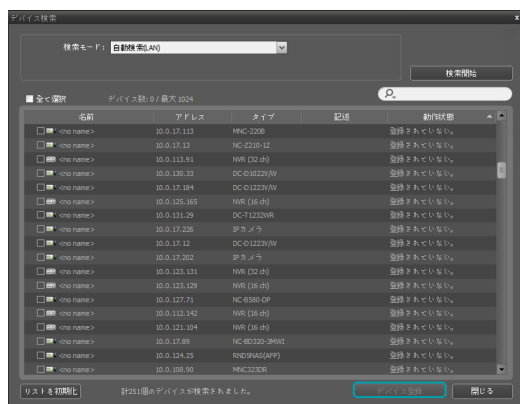
- 2 サイトパネルですべてのデバイスをクリックした後、右のサイトリストのパネルの下段にある+ボタンをクリックします。デバイス検索画面が表示されます。**



- **プロトコル:** 検索するデバイスのプロトコルまたはメーカーを選択します。
- **検索モード:** 検索モードを選択した後、**検索開始**ボタンをクリックすると、検索結果をリストで表示します。
 - **自動検索(LAN):** 同一LAN内にあるデバイスをリストに表示します(一部のDVRには対応していません)。
 - **IPアドレス:** デバイスのIPアドレスを入力します。二つ以上のデバイスを登録する場合、IPアドレスの範囲を入力して一度に検索することもできます。デバイスのネットワーク接続を設定する時、DHCPを使用しないことをお勧めします。DHCPを使用する場合、ネットワーク環境変化によってデバイスが正しく動作しない可能性があります。IP手動検索時、デバイスがユーザー認証前の状態であるため、デバイス名が<no name>に表示されます。
 - **FEN:** デバイスがFEN(For Easy Network)機能を使用する場合、FENサーバーに登録されたデバイスの名前を入力します。デバイスが登録されているFENサーバーの情報が正しく設定されているか確認してください(**システムメニュー > IDIS center 設定 > ネットワーク設定 > FEN項目**)。デバイスが登録されているFENサーバーの情報が正しくない場合はデバイスが検索できません。
 - **ドメイン名:** デバイスがドメイン名サービスを使用する場合DNSサーバーに登録されたデバイスの名前を入力します。
 - **デバイス情報ファイル:** デバイス接続情報の保存されている.xmlまたは.datファイルを読み出し、該当デバイスをリストに表示します。**システムメニュー > IDIS center 設定 > 保存 > デバイス情報**を選択し**すべてのデバイス**または**デバイスグループ**をクリックして選択した範囲の現在のデバイス情報を保存して.datファイルを作成します。.xmlファイルに関する詳しい内容は、IDIS centerソフトウェア入手先にお問い合わせください。

- ☒ リストで各デバイスの名前の横にあるチェックボックスを選択して、登録するデバイスを選択します。**全て選択**を選ぶとリストにあるすべてのデバイスを選択します。

3 デバイス検索画面の下段のデバイス登録ボタンをクリックします。



- **デバイスの種類、アドレス、デバイス名:** 選択したデバイスの名前、IPアドレス及び種類を表示します。デバイス設定時に**デバイス名同期化**オプションが選択されている場合、デバイス名がデバイスでの設定によって自動的にアップデートされます。
- **ID、パスワード:** 遠隔接続のために各デバイスで設定したユーザーID及びパスワードを入力します。
- **すべてのデバイスに適用:** 1つ以上のデバイスを選択した場合、選択したデバイスのユーザーID及びパスワードが全て同じであれば、入力したユーザーID及びパスワードを全てに適用することができます。



- デバイスがDVRの場合、DVRの仕様及びバージョンによってポート番号の入力が追加要求されることがあります。
- **すべてのデバイスに適用:** 1つ以上のデバイスを選択した場合、選択したデバイスのユーザーID及びパスワードが全て同じであれば、入力したユーザーID及びパスワードを全てに適用することができます。

4 サイトパネルでデバイスグループをクリックした後、サイトパネルの下段にある+ボタンをクリックします。デバイスグループの追加画面が表示されます。

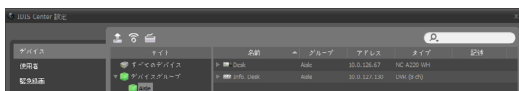




- **名前:** デバイスグループの名前を入力します。
- **場所:** 該当するデバイスグループが所属する上位デバイスグループを選択します。
- **グループに追加するデバイスを選択してください、選択されたデバイスのリスト:** 左側でカメラの横にあるチェックボックスを選択すると、選択したカメラが右側に追加されます。

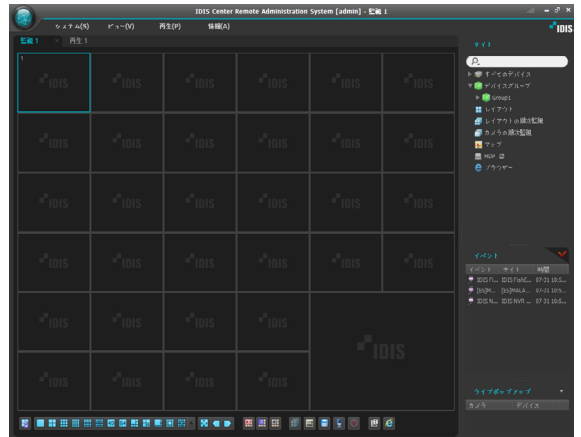
確認ボタンをクリックすると、該当するデバイスグループが登録されます。

- 5 デバイスがデバイスグループに正しく追加されているか確認します。**サイトパネルでデバイスグループをクリックした後デバイスグループの左側の矢印ボタン▶ををクリックします。**登録されたデバイスグループをクリックすると、該当するデバイスグループに追加されたデバイスリストが右側に表示されます。映像分析装置が登録されている装置であれば、装置リストから映像分析 (🔍) を確認することができます。

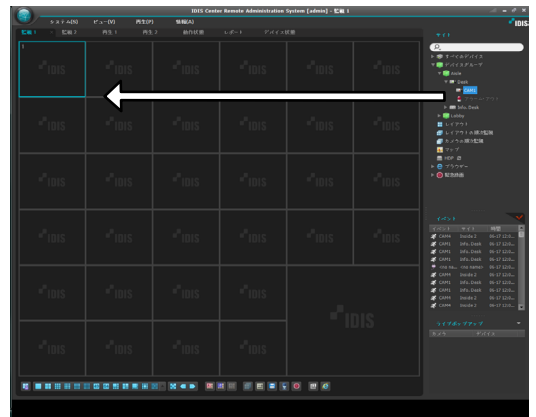


登録されたデバイスグループを選択した後、**サイト**パネルの下段にある ☐ ボタンをクリックすると**デバイスグループ修正**画面が表示され、該当するデバイスグループを修正することができます。詳しい内容は、**p.23 デバイス、デバイスの管理**部分を参照してください。

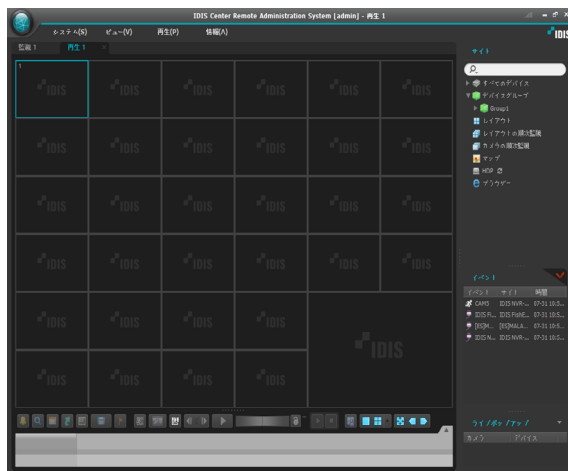
リアルタイム映像監視



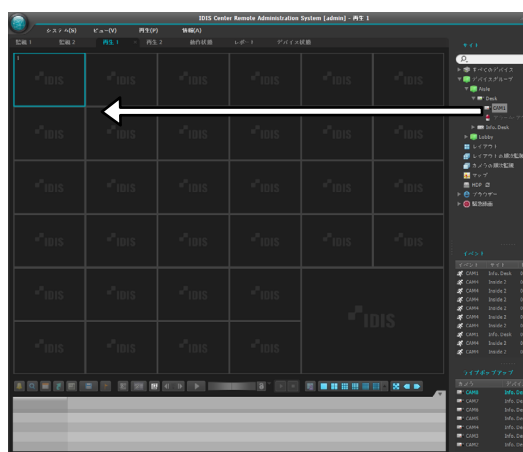
- 1 **サイトリスト**でデバイスグループにデバイスが追加されているか確認します。
- 2 パネルタブで**監視**タブをクリックします。**サイト**リストで接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。詳しい内容は、**p. 53 映像監視**を参照ください。



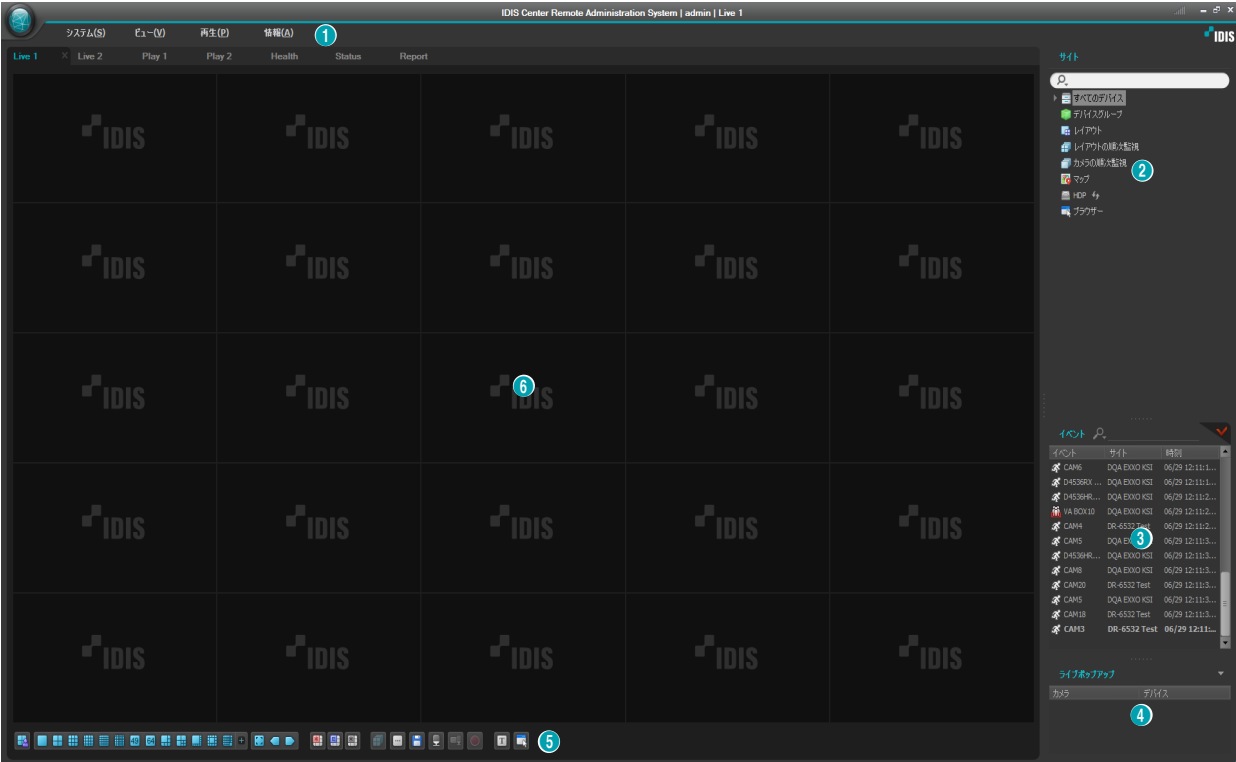
録画映像再生



- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで**再生**タブをクリックします。**サイト**リストで接続するサイトを選択した後、再生画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。詳しい内容は、**p. 85 録画映像再生**を参照ください。



システムの概要



①	メニュー	<u>p. 19 メニュー</u>部分を参照してください。
②	サイトリスト	マウスでドラッグ&ドロップを利用して登録されたサイトに接続します。詳しい内容は、<u>p. 21 サイトリスト</u> 部分を参照してください。
③	リアルタイムのイベントのリスト	登録されたデバイスから、通知を受けたイベントのリストを表示します。☑️ ボタンをクリックすると緊急イベントパネルが表示されます。詳しい内容は、<u>p. 47 最近のイベント</u>部分を参照してください。
④	ライブポップアップリスト	現在IDIS centerプログラムに挙がっているポップアップ画面のリストを表示します。ライブポップアップに関する詳しい内容は、<u>p. 82 ライブポップアップ</u>部分を参照してください。
⑤	パネルのツールバー/タイムテーブル	パネルによってツールバーまたはタイムテーブルを表示します。詳しい内容は、<u>p. 66 カメラの制御</u>または、<u>p. 85 録画映像再生</u>部分を参照してください。
⑥	パネル	選択したタブの映像またはリストを表示します。詳しい内容は、<u>p. 22 パネル</u>部分を参照してください。

メニュー

ビュー

システム



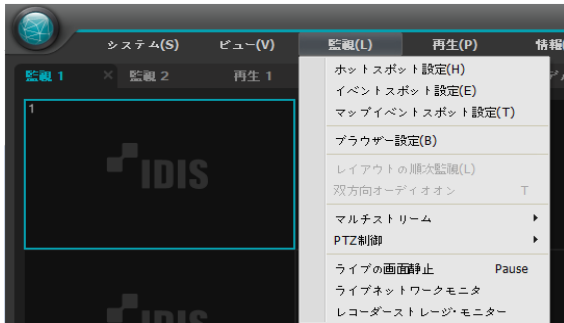
- **新しいタブ:** パネルを追加します。監視、再生パネルの場合それぞれ最大4つのパネルが支援されます。マップパネルの場合、最大2つ、レポート、動作状態、デバイス状態、自己診断パネルの場合、それぞれ1つのパネルが支援されます。
- **削除:** 選択したデバイス、カメラまたはすべてのカメラを監視画面または再生画面から削除します。
- **保存、プリント:** 選択したタブのパネルに表示される映像またはリストを保存または印刷します(一部パネルの場合、サポートされません)。
- **IDIS center設定:** 基本設定を変更します。詳しい内容は、[p. 23 第4章 - 設定](#)部分を参照してください。
- **ログイン、ログアウト:** プログラムにログインまたはログアウトします。
- **ロック:** IDIS centerプログラムをロックします。プログラムがロックされるとプログラムを使用することができなくなり、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力するとロックが解除されます。
- **終了:** プログラムを終了します。



- **ユーザーレイアウト登録:** 選択した監視または再生パネルの画面分割とデバイス接続状態をユーザーレイアウトとして登録します。
- **フルスクリーン:** 選択した監視または再生パネルをフルスクリーンで表示します。
- **全体画面 + ツールバー:** 選択した監視または再生パネルをパネルツールバーと一緒に全体画面で表示します。
- **フローティングタブ初期化:** フローティングされたすべてのタブをメインタブに位置させます。
- **画面分割:** 画面分割を変更することができます。
- **前のグループ、次のグループ:** 前のカメラまたは次のカメラグループに移動します。
- **表示分割 1x1:** 1x1分割で表示または解除することもできます。
- **前のペインを選択、次のペインを選択:** 前または次のペインを選択します。
- **画面更新:** 監視または再生タブでスクリーンペインの映像を更新します。
- **スクリーン拡大鏡:** 現在の映像を拡大することができます。
- **ピクセルカウンター:** 監視または再生映像から選択した領域のピクセル情報を提供します。
- **緊急イベントパネル:** 緊急イベントパネルを見せます。

- **遠隔地点パネル:**フローティングされたパネル又は全体画面でサイトリストを表示、または非表示することができます。本機能は一部パネルのみ対応します。
- **テキストインパネル:** テキストインパネルを表示します。テキストの結果をパネルに表示します。

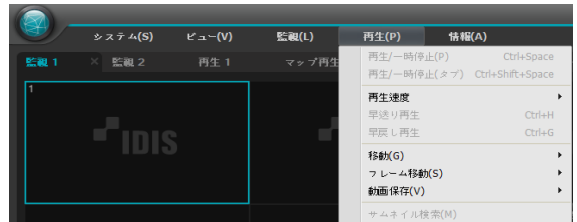
監視



- **ホットスポット設定:** 選択したカメラ画面をホットスポット画面で設定します。詳しい内容は、[p. 53 映像監視](#)部分を参照してください。
- **イベントスポット設定:** 選択したカメラ画面をイベントスポット画面で設定します。
- **マップイベントスポット設定:** 選択したカメラ画面をマップイベントスポット画面で設定します。
- **ブラウザ設定:** 選択した画面をブラウザ画面に設定します。
- **レイアウトの順次監視:** レイアウトの順次監視を開始または終了します。詳しい内容は、[p. 53 映像監視、レイアウトの順次監視](#)部分を参照してください。
- **双方向オーディオオン/オフ:** デバイスのオーディオを受信したり、デバイスへオーディオを伝送したりします。
- **マルチストリーム:** 選択したカメラデバイスがリアルタイム監視映像に対し、マルチストリームモードが設定されている場合、お望みのストリームを設定します。
- **PTZ制御:** 選択した、またはすべてのPTZカメラのデバイスに対してPTZ制御を実行します。
- **ライブの画面静止:** 選択した監視タブの全画面を停止します。

- **ライブネットワークモニタ:** デバイスごとに帯域幅を時間別でグラフに表示します。
- **レコーダーストレージ・モニター:** サイトに追加された録画機の記憶装置の情報を提供します。

再生



- **再生/一時停止:** 選択したデバイスの録画映像を再生したり映像再生を一時停止します。
- **再生/一時停止 (タブ):** 現在の画面に表示されたすべての録画映像を再生または一時停止します。
- **再生速度:** 再生速度サブ項目の再生速度増加/減少 (**Ctrl + L / J**) は、シャトルステップ再生速度増減機能でシャトルロックONモードで動作します。また倍速の増加、減少で動作します。(-INF / -32x / -16x / -8x / -4x / -2x / -1x / -0.5x | 0 | +0.5x / +1x / +2x / +4x / +8x / +16x / +32 / +INF)
- **早送り再生、早戻し再生:** 親項目の高速再生/高速リバーズ再生 (**Ctrl + H / G**) はシャトルロックOFFモードで動作します。高速再生×倍速中、逆方向実行時にすぐに-2x倍速に変更されます。(-INF / -32x / -16x / -8x / -4x / -2x | +2x / +4x / +8x / +16x / +32 / +INF)



再生速度サブ項目の初期化と1倍速はシャトルロックOFFモードで動作します。

- **移動:** 再生する映像の時点を選択します。
- **フレーム移動:** フレームまたは時間単位で、前または次の映像に移動します。
- **動画保存:** 録画映像を専用のビューアーファイル(.exe)またはAVIファイル(.avi)で保存します。
- **サムネイル検索:** イベントベース録画(イベント及びプリイベント)中に録画された映像の停止映像を再生パネルに表示します。

情報



- **プライバシーポリシー:** IDIS個人情報保護方針に同意するかを選択します。同意したデバイスは、FENサービスを利用できます。
- **キーボードショートカットキー:** キーボードショートカットキーの説明ポップアップを表示します。
- **情報:** ソフトウェアのバージョンまたは著作権の情報を表示します。

サイトリスト

登録されたサイトリストを表示します。



- **🔍 (検索):** 登録されたサイトを検索します。検索語を入力すればその結果を表示します。
- **すべてのデバイス:** 登録されたデバイスのリストを表示します。リストでデバイスをクリックした後、画面の上の希望する位置にマウスでドラッグ&ドロップすれば、該当するデバイスに接続しているカメラの映像を監視したり、カメラの録画映像を再生することができます。

☒ この機能は**Administrator**グループに属するユーザーのみ設定できます。.

- **レイアウト:** 登録されたレイアウトリストを表示します。リストでレイアウトをクリックした後、画面にマウスでドラッグ&ドロップして、レイアウトの監視または再生を行います。
- **レイアウトの順次監視:** 登録されたレイアウトの順次監視のリストを表示します。リストでレイアウトの順次監視をクリックした後、画面にマウスでドラッグ&ドロップすると、レイアウトの順次監視を行います。
- **カメラの順次監視:** 登録されたカメラの順次監視のリストを表示します。リストでカメラの順次監視をクリックした後、画面の上の希望する位置にマウスでドラッグ&ドロップすると、カメラの順次監視を行います。
- **マップ:** 登録されたマップのリストを表示します。リストでマップをクリックした後、画面の上の希望する位置にマウスでドラッグ&ドロップすると、マップ監視を行います。
- **HDP:** IDIS centerシステムにデバイスの脱着式/eSATA HDD又はSD(SDHC)メモリカードが接続されている場合、該当HDD又はSD(SDHC)メモリカードのリストを表示します。デバイスの脱着式HDDをIDIS centerシステムに接続するには、SATA <-> USB 2.0コンバータ又はIDE <-> USB2.0コンバータが、eSATA HDDはeSATAケーブルが、SD(SDHC)メモリカードはSD(SDHC)メモリカードリーダーが必要です。詳しい内容は、IDIS centerソフトウェアの入手先にお問い合わせください。リストでマウスの右ボタンをクリックすると該当HDD又はSD(SDHC)メモリカードの保存容量情報が表示されます。表示される保存スペースに関する情報は、フォルダーの経路、ドライブの種類、デバイスのモデル、録画範囲、容量です。
- **ブラウザ:** 登録されたブラウザのリストを表示します。リストでブラウザをクリックした後、画面上の表示したい位置にマウスでドラッグ&ドロップすると、ウェブブラウザが実行されます。
- **緊急録画:** 緊急録画されたデバイスがある場合、該当デバイスのリストを表示します。

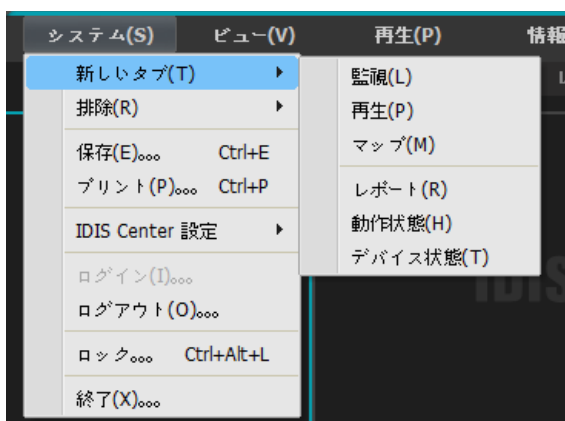
パネル



- **監視:** リアルタイム映像を表示します。
- **再生:** デバイスに保存されていた録画映像又はIDIS centerプログラムで緊急録画された映像を再生することができます。
- **マップ:** マップを表示します。
- **VAボックス:** マップをVAボックスに接続された装置の映像分析情報を視覚化して表示します。
- **VAダッシュボード:** VAデバイスで検出された違反事項及び発生イベント情報をダッシュボードの形に表示します。
- **レポート:** IDIS centerプログラムのログを表示します。
- **動作状態:** デバイスグループに登録されたデバイスの動作状態を点検し、その結果を表示します。
- **デバイス状態:** 知りたいデバイスの状態をリアルタイムで表示します。
- **自己診断:** レコーダーのステータスを表示および報告します。
- **ブラウザ:** インターネットブラウザ機能を許可します。

☒ パネルタブでマウスの右ボタンをクリックし、タブの名前を変更することができます。

パネルの追加及び削除



システム メニュー> **新しいタブ**をクリックし、追加するパネルを選択します。

各タブの横の **✕** ボタンをクリックするとそのパネルを削除することができます。

パネルのフローティング及び固定

パネルタブをクリックした後、マウスでドラッグ&ドロップすると、該当するパネルが画面上にフローティング(浮上)します。フローティングされているパネルタブをクリックした後、元の位置にマウスでドラッグ&ドロップすると、該当位置に固定します。マウスでドラッグ&ドロップを利用してパネルタブの順序を変更することもできます。

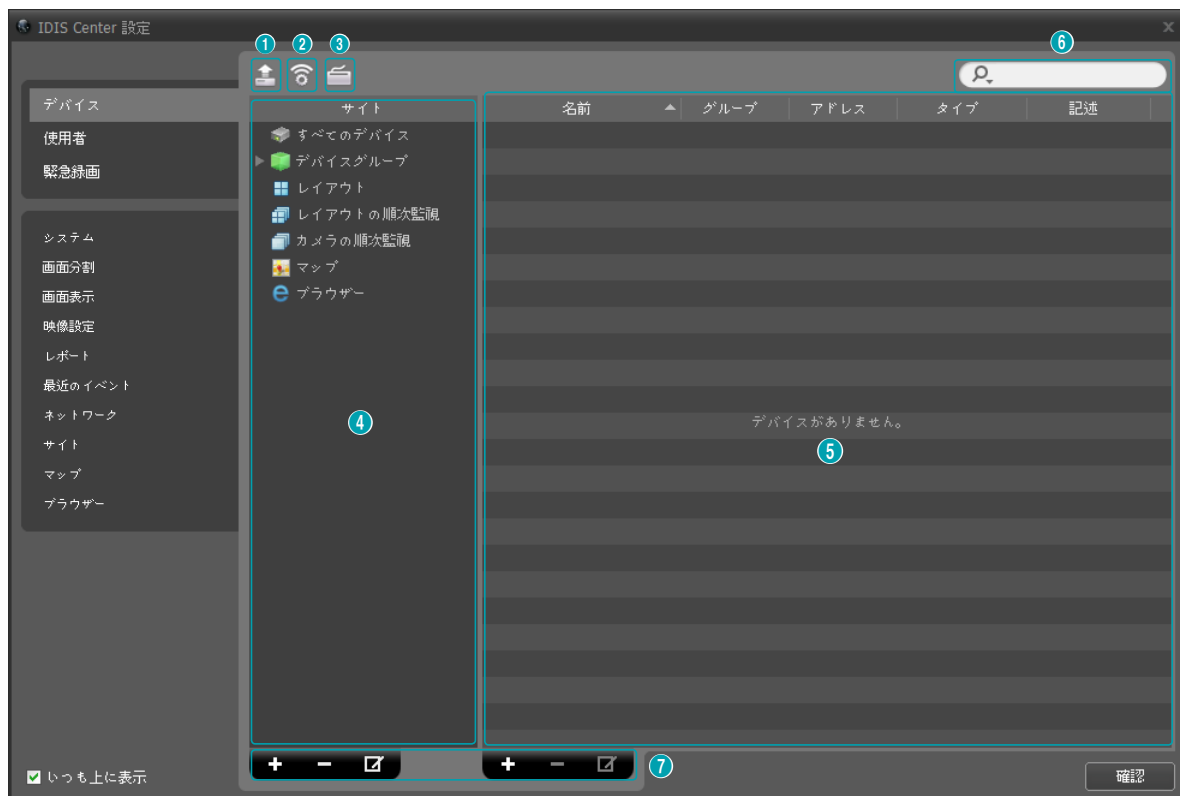
- ☒ フローティングされたパネルの上右側のスクリーン最大化/以前サイズ復元ボタンをクリックするとパネルを最大化することや以前のサイズに復元することができます。
- フローティングされたパネルの画面でマウス右側ボタンをクリックし、画面メニューで**遠隔地点パネル**を選択するとフローティングされたパネルにサイトリストを表示、または非表示することができます。本機能は一部パネルのみ対応します。

第4章 – 設定

デバイス

サイトを登録及び管理します。

システムメニュー> IDIS center設定> デバイスを選択してください。



- **いつも上に表示:** IDIS center設定画面を、スクリーンの一番前に表示します。

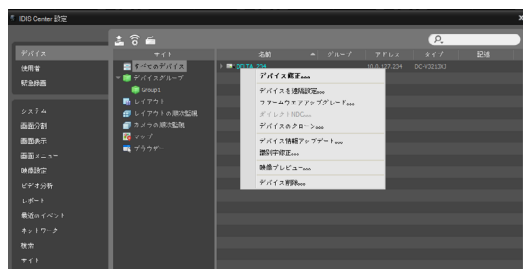
①	多重ファームウェアアップグレード	複数のデバイスのソフトウェアを一括にアップグレードすることができます。
②	多重遠隔設定	設定ファイルを用いて複数のデバイスの設定が一括に変更できます。
③	ネットワークキーボード設定	ネットワークキーボードを登録、削除、修正することからネットワークキーボードを利用してIDIS centerプログラムを制御することができます。詳しい内容は、 p. 144 ネットワークキーボードを利用した制御 部分を参照してください。
④	サイトパネル	IDIS centerプログラムでサポートするサイトグループのリストを表示します。
⑤	サイトリストのパネル	各サイトグループに登録されたサイトリスト及び情報を表示します。デバイス名の横の矢印ボタン ▶  をクリックすると、該当するデバイスでサポートするビデオ入力、アラーム入力/出力およびオーディオ入力/出力の情報を表示します。
⑥	検索	各グループに登録されたサイトを検索します。 サイトパネル でサイトグループを選択した後、検索語を入力します。選択したグループ内で入力された部分と一致する結果が検索されると、その結果を表示します。
⑦	追加、削除、変更	サイトを登録したり、削除または変更します。サイトを選択した後、マウスの右ボタンをクリックすると表示されるメニューを利用してサイトを該当グループから削除したり、登録情報を変更することもできます。選択したサイトがデバイスである場合、デバイスに接続してデバイスの設定を変更したり、デバイスのソフトウェアをアップグレードすることができます。

☒ **すべてのデバイス**でデバイスを削除した場合、デバイスを再登録してもIDIS centerシステムは他のデバイスとして認識します。

デバイスの管理

デバイス情報を修正したり、デバイスをリストから削除することができます。また遠隔でデバイスの設定を変更したり、デバイスのソフトウェアをアップグレードできます。

- 1 **サイトパネルからデバイスグループ**を選択した後、サイトリストのパネルで**デバイス**をクリックします。
- 2 **サイトリストのパネルの下段にある**☒**ボタンをクリックするか、マウスの右ボタンをクリックすると、デバイスメニューが表示されます。**



- **デバイス修正:** デバイスの接続情報を設定します。
- **デバイスを遠隔設定:** 遠隔でデバイスの設定を変更できます。
- **ファームウェアアップグレード:** 遠隔でデバイスのソフトウェアをアップグレードすることができます。
- **ダイレクトNDC:** VNC(Virtual Network Computing、仮想ネットワークコンピューティング) 機能を利用してデバイスに接続できます。



この接続をするためには、デバイスにVNC機能が設定されている必要があり、IDIS centerプログラムでデバイス登録をする時は、VNC遠隔接続のためのポート番号とパスワードが登録されていなければなりません。デバイスの仕様とバージョンによって本機能がサポートされない場合もあります。

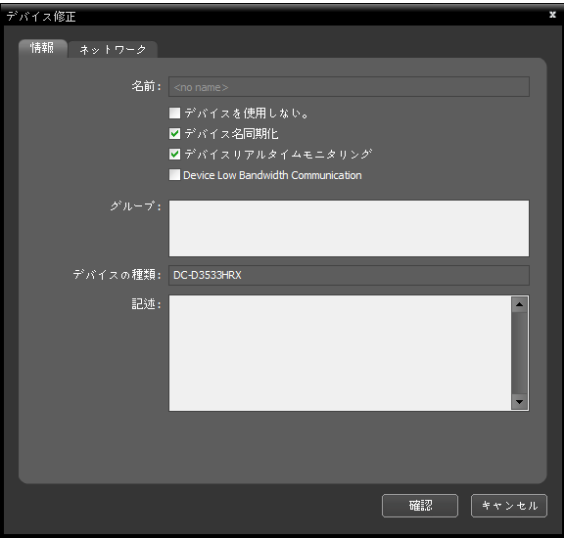
- **デバイスのクローン:** 登録されたデバイスをコピーします。詳しい内容は

[p.30 デバイスのクローン](#)

部分を参照ください。デバイスコピーの際、デバイス情報もコピーされます。デバイスメニューから、**デバイス修正**を選択して、コピーされたデバイスの情報を変更することができます。その時、デバイスの認証手続き(デバイスユーザーID及びパスワード入力)は要求されません。コピーされたデバイスの場合、デバイスリストから、デバイスアイコンにクローンのアイコン()が表示されます。
- **デバイス情報アップデート:** 選択したデバイスの情報を最新の状態に更新します。
- **識別子の修正:** 選択したデバイスの識別子を修正します。
- **映像プレビュー:** デバイスの映像をプレビューすることができます。
- **デバイス削除:** デバイスをIDIS centerプログラムから削除します。

デバイス修正: 情報タブ

デバイスメニューで**デバイス修正**を選択します。
デバイスの基本情報を変更することができます。



- **名前:** デバイスの名前を修正します。他のデバイスと重複する名前が使えます。

デバイスを使用しない	該当するデバイスは登録されていないものと見なされます。
デバイス名同期化	デバイスより設定した名を IDIS centerプログラムに自動で適用します。
デバイスリアルタイムモニタリング	登録された全てのデバイスに対し、IDIS centerプログラムに表示されるデバイスのイベント情報及びデバイス情報を自動的にアップデートします。ただし、複数台のIDIS centerシステムから該当デバイスに同時にアクセスする場合、該当デバイスの対応できる最大同時接続者数によってデバイスに接続できない場合があります。項目を選択しなければ、現在監視中のデバイスについてのイベント情報及びデバイス情報のみを自動的にアップデートします。
装置低帯域幅通信	デバイスが低帯域環境にある場合、選択します。低帯域環境に合わせてクライアントが動作します。
グループ	デバイスが登録されたデバイスグループを表示します。
デバイスの種類	デバイスの種類を表示します。

デバイス修正: ネットワークタブ

デバイス接続の基本情報を変更できます。但し、デバイスの認証手続き(デバイスユーザーのID及びパスワードの入力)が要求されます。(コピーされたデバイスの場合、認証の手続きは不要です。)

The screenshot shows a 'デバイス修正' (Device Correction) window with a 'ネットワーク' (Network) tab selected. The 'アドレスタイプ' (Address Type) is set to 'IPアドレス' (IP Address). The 'アドレス' (Address) field contains '10.0.123.234'. The 'ポート' (Port) field contains '8016'. The 'ID' field contains 'admin'. The 'パスワード' (Password) field is masked with dots. There is a '接続テスト*' (Connect Test) button and a 'パスワード再発行' (Password Reissue) button. At the bottom, there are '確認' (Confirm) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

- **アドレスタイプ:** デバイスのアドレスタイプを選択します。

自動検索 (LAN):	デバイスのアドレスを修正する時、デバイスのmDNS番号を入力します。
IPアドレス	デバイスのアドレスを修正する時、デバイスのIPアドレスを入力します。
FEN	デバイスがFEN(For Easy Network)機能を使用する場合、デバイスのアドレスを入力する時FENサーバーに登録されたデバイスの名前を入力することができます。入力した名前は該当するデバイスのFEN設定で設定した名前と同じでなければなりません。
ドメイン名	デバイスがドメイン名サービスを使用する場合、デバイスのアドレスを入力する時DNSサーバーに登録されたデバイスのドメイン名を入力することができます。

- **アドレス:** アドレスタイプで選択したアドレスのタイプによりデバイスのアドレスを修正します。
- **ポート:** ポート番号を修正します。入力したポート番号は該当するデバイスで遠隔接続(Admin)、遠隔監視(Watch)、録画(Record)及び双方向オーディオ(Audio)のために設定したポート番号と同じでなければなりません。
- **ID、パスワード、接続テスト:** 上記の情報を変更するためには、デバイスの認証手続きが要求されます。デバイスのユーザーID及びパスワードを入力した後、**接続テスト**ボタンをクリックします。接続テストが成功すれば、**確認**ボタンをクリックして、設定の適用が可能です。
- **パスワードの再発行:** 遠隔装置のパスワードを変更します(本機能がサポートされている製品に限って可能)。

デバイス修正: 監視タブ

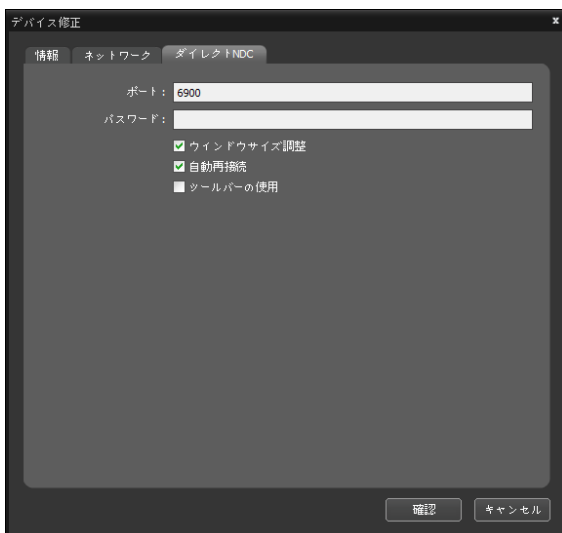
監視時間制限の設定を行うことができます。



- **監視時間制限**: 選択したデバイスの監視セッションに接続した後、設定された時間が経過すると映像とオーディオをそれ以上受信しません。

デバイス修正: ダイレクトNDCタブ

VNC遠隔接続のためのポート番号とパスワードを登録することができます。



- **ポート、パスワード**: VNC遠隔接続のためのポート番号とパスワードを入力します。

- **ウィンドウサイズ調整**: VNCビューア画面のサイズをウィンドウサイズに合わせます。
- **自動再接続**: VNC遠隔接続が解除されている場合、自動的に再接続します。
- **ツールバー使用**: VNCビューアのツールバーを使用するように設定します。

デバイス修正: クリッププライバシーゾーンタブ

プライバシーゾーンを選択することができます。

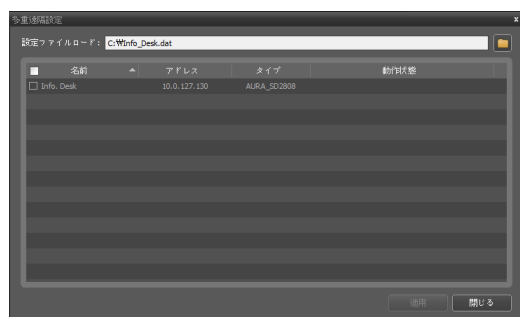


- **描画**: 四角形で範囲を指定し、新しいプライバシーゾーンを作成します。
- **削除**: 四角形で範囲を指定し、従来のプライバシーゾーンを削除します。
- **チャンネルの選択**: プライバシーゾーンを設定するデバイスのチャンネルを指定します。
- **ストリーム**: プライバシーゾーンを設定した場合、プレビューする画面のストリームを指定します。

デバイスを遠隔設定

デバイスメニューで**デバイスを遠隔設定**を選択して、遠隔でデバイスの設定が変更できます。一部の設定の場合、遠隔設定に対応しないこともあります。デバイス設定に関する詳しい内容は、該当デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。

- 1 設定ファイルを用いて複数のデバイスの設定が一括に変更できます。サイトパネル上段の  (多重遠隔設定) ボタンをクリックすると以下のような設定窓が現れます。



- 2 右側上段の  ボタンをクリックしてから設定ファイルを選択します。選択した設定ファイルが適用可能なデバイスのリストが表示されます。

- ☒ 選択した設定ファイルが適用可能なデバイスのリストが表示されます。この機能はデバイスのモデルによって対応できない可能性があり、設定ファイルが適用可能なデバイスが登録されていても対応できないデバイスである場合、リストに表示されません。

- 3 デバイスを選択してから下段の**適用**ボタンをクリックするとそのデバイスの設定を変更します。

ファームウェアアップグレード

デバイスメニューで**ファームウェアアップグレード**を選択し、遠隔でデバイスのソフトウェアをアップグレードすることができます。

- 1 パネル上段の  (多重ファームウェアアップグレード) ボタンをクリックすると以下のような設定窓が現れます。



- 2 右側上段の  ボタンをクリックしてからアップグレードファイルを選択します。デバイスがPCベースDVRである場合、**PCベースDVR**を選択してから  ボタンをクリックします。
- 3 選択したファイルでアップデートが可能なデバイスのリストが表示されます。**全てのデバイスを表示**を選択すると登録された全てのデバイスのリストが表示されます。
- 4 デバイスを選択してから下段の**アップグレード**ボタンをクリックするとそのデバイスをアップグレードします。

デバイスのクローン

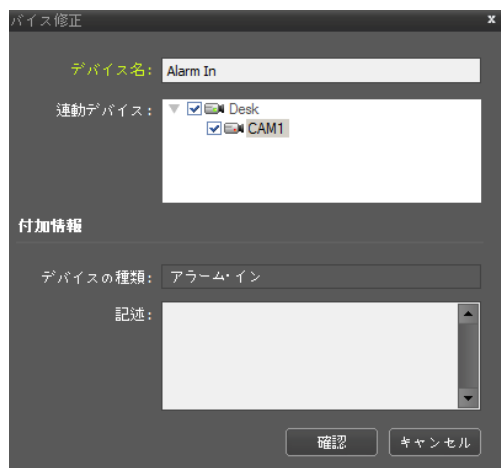
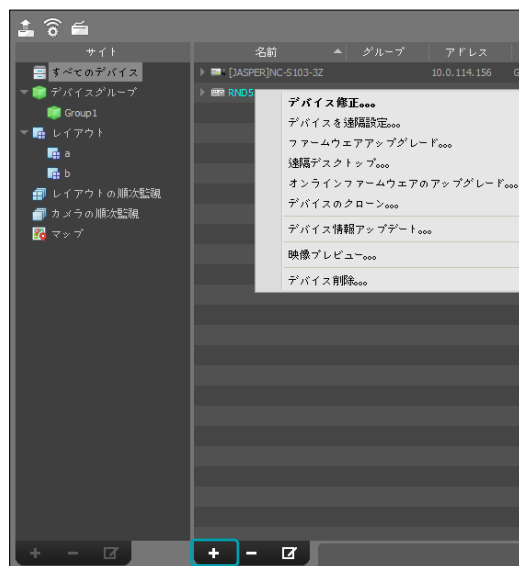
コピーされるデバイスが左に現れます。右のデバイスグループリストから、グループを選択すると、コピーされたデバイスが該当グループに追加されます。



入力 / 出力デバイス情報の修正

- 1 サイトパネルで**すべてのデバイス**を選択した後、サイトリストのパネルでデバイスの名前の横にある矢印ボタン▶をクリックします。
- 2 該当するデバイスでサポートする**ビデオの入力、アラームの入力/出力及びオーディオの入力/出力**のリストで、入力/出力デバイスをクリックします。

- 3 サイトリストのパネルの下段にある ☒ ボタンをクリックするか、マウスの右ボタンをクリックして**デバイス修正**を選択します。**デバイス修正**画面が表示されます。



- **デバイス名:** 該当する入力/出力デバイスの名前を修正します。
- **連動デバイス:** 入/出力デバイスと連動してカメラ映像をイベントスポット画面に出力するためにはそのカメラチャンネルを選択しますアラームインまたはオーディオイベント感知時、選択したチャンネルの映像がイベントスポット画面に表示されます。



- 他の入力/出力デバイスと重複する名前が使えます。該当する入/出力デバイスが接続されたデバイス名が更新される時、自動的に更新されます。
- その入/出力デバイスがアラーム入力またはオーディオ入力デバイスの場合のみに対応します。

デバイスパスワードの再発行

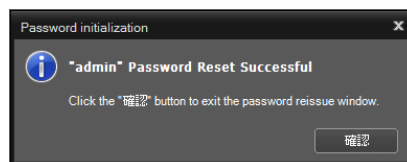
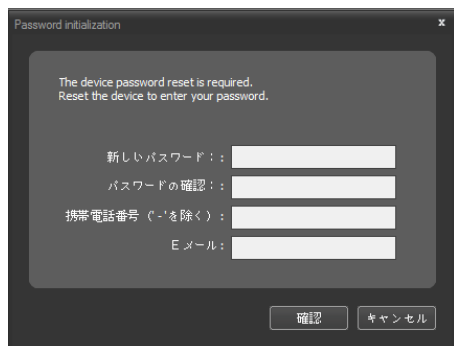
デバイスに設定されたパスワードを再発行します。本機能は、デバイスパスワードの再発行機能がサポートされている製品に限り使用可能となっています。

デバイスパスワードの初期化

- 1 デバイス検索ウィンドウにおいてデバイス登録過程中にパスワードの初期化が必要なデバイスの場合、パスワードを初期化するかどうかの確認するウィンドウが表示されます。パスワードの初期化が必要なデバイスの場合、パスワードを初期化した後にデバイス登録が可能となります。



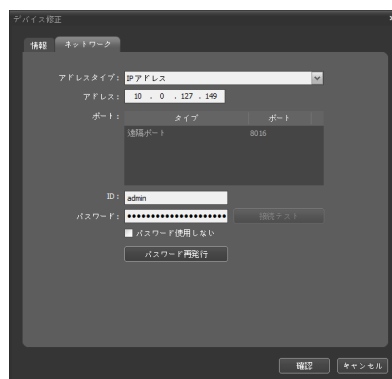
- 2 初期化に必要な情報を入力した後、はいボタンをクリックするとデバイスのパスワードが初期化されます。



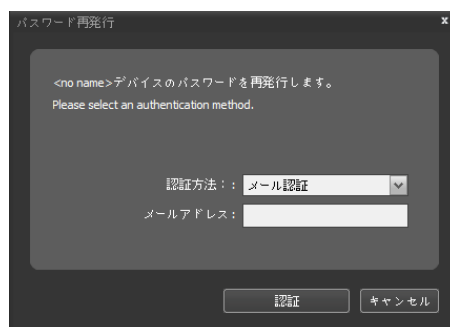
- **新しいパスワード/パスワードの確認:** 変更する新しいパスワードを入力します。
- **携帯電話番号:** パスワード再発行の際、ワンタイムパスワード(OTP)を受信するためのSMS受信が可能な携帯電話番号を入力します。
- **Eメール:** パスワード再発行の際、ワンタイムパスワード(OTP)を受信するためのメールアドレスを入力します。

デバイスパスワードの変更

デバイスのメニューから“デバイス修正”を選択し、ネットワークタブから「パスワード再発行」ボタンをクリックします。



- 1 パスワード再発行ウィンドウが表示されます。



- **認証方法:** パスワード再発行のために設定された認証用のメールアドレスまたは携帯電話番号を入力します。

認証ボタンをクリックすると新しいパスワードを入力する画面が表示されます。

- 2 新しいパスワードを入力して**確認**ボタンをクリックすると、デバイスのパスワードが変更されます。

- **新しいパスワード/パスワードの確認:** 変更する新しいパスワードを入力します。

- 3 デバイスの修正ウィンドウから**接続テスト**ボタンをクリックして変更されたパスワードでユーザー認証をするかどうかを確認します。

接続テスト完了後、**確認**ボタンをクリックします。

デバイスパスワードの再発行

パスワードの再発行は、お客様サポートサービスを通じてワンタイムパスワード(OTP)を発行するため、お客様サポートサービスとの接続が可能な場合にのみ作動します。詳しい内容は、NVR/DVRのご購入先にお問い合わせください。

- 1 デバイス検索ウィンドウにおいてデバイス登録過程中にユーザー認証に失敗(パスワードの間違い)した場合、パスワードを再発行するかどうかを確認するウィンドウが表示されます。

- 2 はいボタンをクリックするとパスワード再発行ウィンドウが表示されます。

パスワード再発行

<no name>デバイスのパスワードを再発行します。
認証方法を選択した後、認証番号を要求してください。

ID: admin

認証方法: メール認証

メールアドレス: admin@xxxx.xxx

認証番号の要求 キャンセル

パスワード再発行

<no name>デバイスのパスワードを再発行します。
認証方法を選択した後、認証番号を要求してください。

ID: admin

認証方法: SMS認証

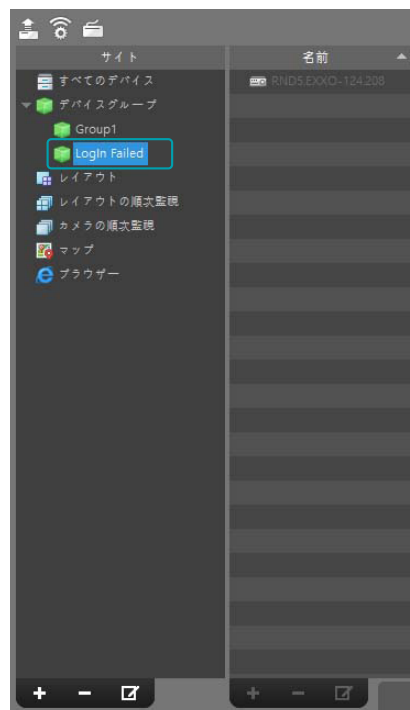
携帯電話番号 (‘-’を除く): 0101234

認証番号の要求 キャンセル

- **ID:** パスワード再発行を希望するユーザーのIDを入力します。
- **認証方法:** パスワード再発行のために設定された認証用のメールアドレスまたは携帯電話番号を入力します。
- **E メール/携帯電話番号:** パスワード再発行の際、ワンタイムパスワード(OTP)を受信するためのメールアドレスまたはSMS受信が可能な携帯電話番号を入力します。

ログイン失敗デバイスグループ

登録されているデバイスのログインを一定回数失敗した場合、**ログイン失敗(Login Failed)**デバイスグループを作成してデバイスを無効にします。



- ログイン失敗回数に含まれる場合は次の通りです：
 - システムメニュー > IDIS center設定 > デバイス > デバイス修正 > デバイスリアルタイムモニタリング有効
 - システムメニュー > IDIS center設定 > レポート > 更新間隔の時間設定
 - 監視または再生タブにデバイス接続
 - レポートタブでデバイス関連ログ接続
- ログイン失敗グループは、ログイン失敗回数を超過する場合に自動作成され、**ログイン失敗グループ**にデバイスが登録された場合、このデバイスは無効になります。
- ログイン失敗デバイスを解除するには、このデバイスの**デバイス修正**ウィンドウで**デバイスを使用しない**を解除します。

- ログイン失敗デバイスがすべて解除されても**ログイン失敗グループ**は自動的に削除されません。
- **ログイン失敗グループ**を削除しても、このグループに登録されているデバイスは削除されません。

通知ポップアップ

ログイン失敗デバイスグループにデバイスが登録された場合、下記のような通知ポップアップを画面に表示します。



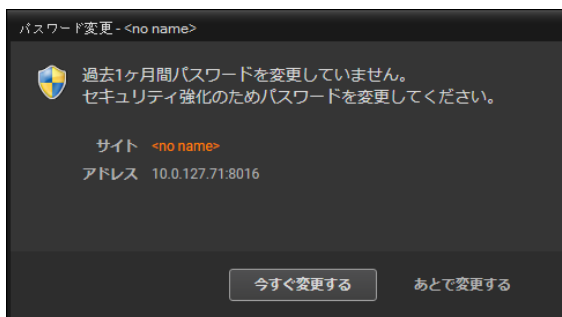
- 再ログインした時、**ログイン失敗グループ**にデバイスが登録されている場合、通知ポップアップを表示します。
- **デバイス設定**権限がないユーザーの場合、通知ポップアップに「**デバイスを設定する権限がありません。管理者にお問い合わせください。**」のメッセージを表示します。

パスワード変更期間終了通知

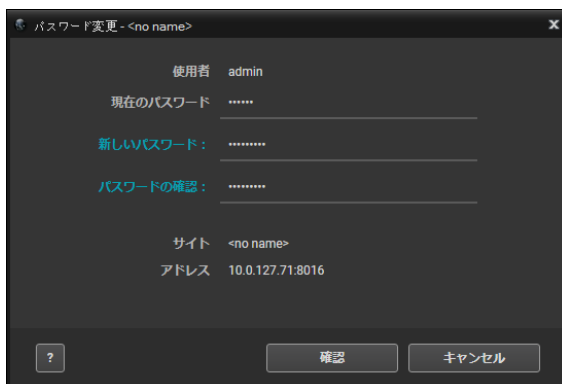
パスワードの有効期間が終了するか、または近く到来する場合、ユーザーにパスワードの更新を知らせます。定期的にパスワード更新する機能を提供するデバイスに対応しています。

パスワード変更

- 1 サイトツリーに追加されたデバイスのうち設定されたパスワードの有効期間が終了するか、有効期間終了が近く到来する場合、パスワード更新通知ウィンドウを画面に表示します。



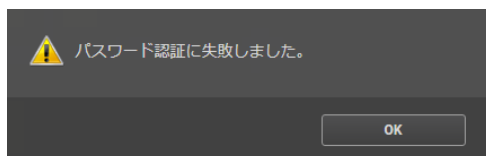
- 2 **今すぐ変更する**ボタンをクリックすると、パスワード変更ウィンドウが表示されます。



- **使用者**：デバイスの使用者IDを表示します。
- **現在のパスワード**：デバイスの現在のパスワードを入力します。
- **新しいパスワード、パスワードの確認**：変更するパスワードを入力します。パスワードの確認には新しいパスワードと同じ文字を入力します。
- **サイト、アドレス**：デバイスの名前とアドレスを表示します。

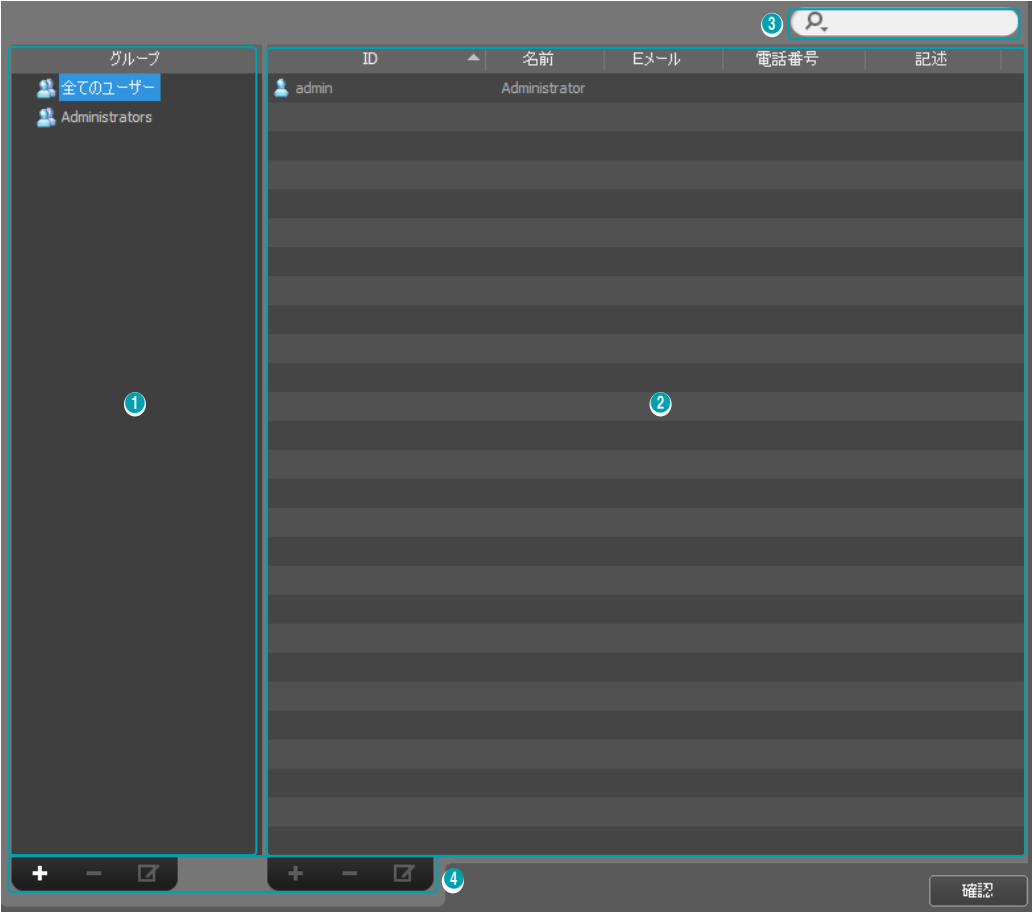
- ☒ クエスチョンマーク (?) ? ボタンをクリックすると、パスワード規則を確認することができます。

- 3 **確認**ボタンをクリックすると、パスワードの変更が完了し、失敗すると失敗メッセージが表示されます。



ユーザー(使用者)

ユーザーまたはユーザーグループを登録及び管理します。
システムメニュー> IDIS center設定> 使用者をクリックしてください。

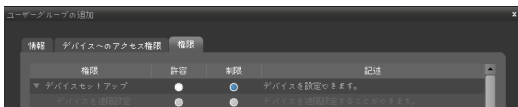
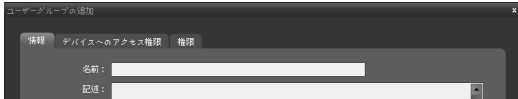


①	グループパネル	登録されたユーザーグループのリストを表示します。
②	ユーザーリストパネル	各ユーザーグループに登録されたユーザーのリスト及び情報を表示します。
③	検索	各グループに登録されたユーザーを検索します。 グループ パネルからユーザーグループを選択した後、検索語を入力します。
④	追加、削除、変更	ユーザーグループまたはユーザーを登録するか削除または変更します。

ユーザー管理

IDIS centerプログラムの各機能に対する権限をユーザーによって互いに異なるように設定することができます。

- 1 ユーザーグループパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。**ユーザーグループの追加画面**が表示されます。



- **情報:** ユーザーグループの名前を入力します。
- **デバイスへのアクセス権限:** 各デバイスに対するアクセス権限を付与したり制限します。
- **権限:** 各機能に対する権限を与えたり、制限します。

- 2 **確認**ボタンをクリックすると、該当するユーザーグループが追加されます。

- ☒ Administratorsグループは、すべてに対する権限を持っていますが、これは変更できません。

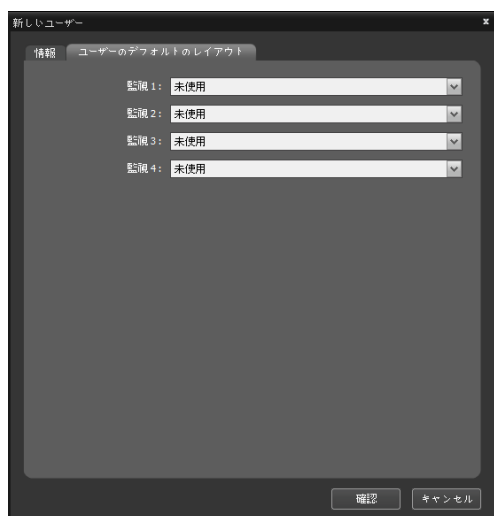
- 3 ユーザーグループパネルで追加されたユーザーグループをクリックした後、ユーザーパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。**新しいユーザー画面**が表示されます。

- **使用しない:** 当該ユーザーを非活性化します。

- **名前:** ユーザーの名前を入力します。
- **ID、パスワード、パスワードの確認:** IDIS centerプログラムを実行するための固有のユーザーID及びパスワードです。

- ☒ 空白なしで8桁~16桁を入力します。

- **パスワード使用しない:** IDIS centerプログラムを実行する時、パスワードなしでログインできます。
- **パスワード有効期間設定:** パスワードの有効期間を設定します。有効期間が過ぎるとログインする時これをお知らせします。
- **Eメール:** Eメールアドレス入力します。Eメールアドレスには、@が必ず含まれていなければなりません。
- **電話番号、記述:** 電話番号及び記述を入力します。電話番号には数字と - のみ入力できます。



- **ユーザーの基本レイアウト:** IDIS Centerプログラム実行時に表示されるユーザーレイアウトを各々の監視タブ別に選択できます。

4 確認ボタンをクリックします。

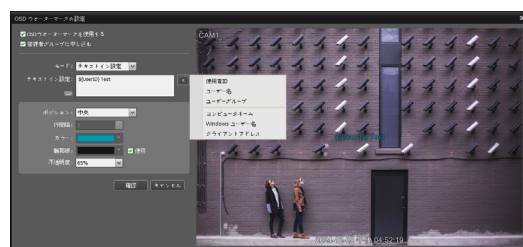
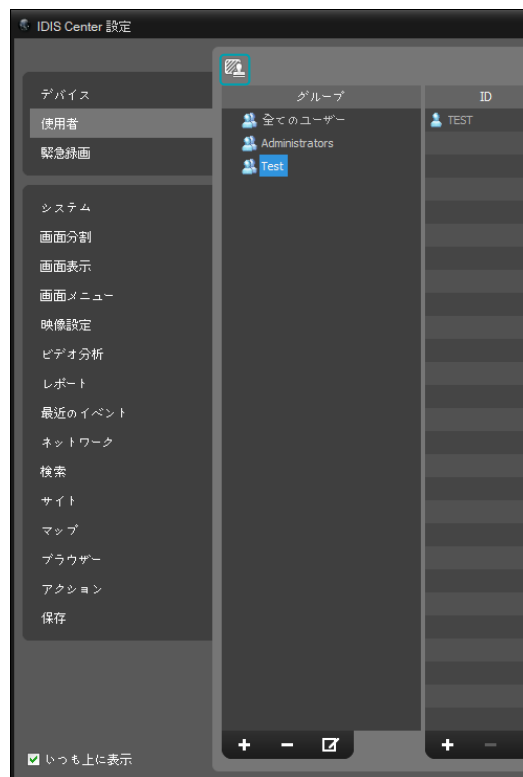


- 登録されたユーザーグループまたはユーザーを選択した後、☒ ボタンをクリックしてユーザーグループまたはユーザー情報を変更することができます。
- **全てのユーザー**を選択するとユーザーグループと関係なく IDIS Centerシステムに登録されたすべてのユーザーが表示されます。
- 登録されたユーザーを選択した後、他のユーザーグループへとマウスをドラッグ&ドロップして当該ユーザーのグループを変更することができます。ユーザーグループ変更の際、モニタリンググループも同時に変更されます。

OSDウォーターマーク

管理者グループの管理者は、画面に表示するウォーターマークを設定し、ユーザーグループごとにウォーターマークを表示するかを設定できます。

- 1 ユーザーグループパネル上段の「OSDウォーターマークの設定」ボタンをクリックします。「OSDウォーターマークの設定」ウィンドウが表示されます。



- **OSDウォーターマークを使用:** OSDウォーターマークを表示するかを選択します。
- **管理者グループに適用:** 管理者グループのユーザー画面にOSDウォーターマークを表示するかを選択します。

- **モード:**テキストモードは画面内の指定位置に設定したテキストを1回表示します。テキストパターンモードは設定したテキストを繰り返し表示します。
- **テキスト:** 画面に表示するテキストを作成できます。右側のボタンをクリックして、テキストマクロ機能を使用できます。

2 ユーザーグループ追加/修正ウィンドウの「権限」タブで、該当ユーザーグループがOSDウォーターマークの使用するかを設定できます。



緊急録画

ユーザーが映像監視中に手動で録画を開始または停止することができます。

システムメニュー> IDIS center設定> 緊急録画をクリックしてください。



- **全スペース:** 緊急録画のために割り当てられた保存スペースの全体容量及び残りの容量を表示します。
- **録画時刻:** 割り当てられた保存スペースに緊急録画された時刻を表示します。
- **上書:** 上書きを使用するかどうかを表示します。
- **すべての録画データを削除:** 緊急録画された映像をすべて削除します。
- **異常な録画のタイムテーブルを復元:** 録画時にエラーが生じた場合、録画データと録画データのタイムテーブル情報が一致しないことがあり、このため IDIS center プログラムのタイムテーブルが誤った情報を表示することがあります。この場合、復元ボタンをクリックすると、タイムテーブル情報を復元し、正しい録画データを表示することができます。
- **ディスクの容量が一杯になった場合、録画されているデータの上書きを使用:** 割り当てられたストレージが一杯になった場合、古いデータから削除され、新しいデータが録画されます。
- **緊急録画使用:** 緊急録画を行うことができます。
- **ストレージ経路:** 緊急録画のためのストレージフォルダーの経路を設定します。
- **容量:** 割り当てるストレージの容量を設定します(最小4GB~最大64GB)。

 監視映像が監視タブに見えない場合、緊急録画を行いません。例えば、緊急録画中、画面のレイアウトを変更し、緊急録画中の映像が見えなくなった場合、該当映像に対する、緊急録画は中止されます。

緊急録画をする

- 1 監視画面で録画する映像が表示されたカメラ画面を選択した後、
- 2 カメラ画面の制御ツールバーで **● (緊急録画)** ボタンをクリックします。
- 3 該当カメラ画面の右上段に緊急録画OSD(オレンジ色 **●**) が表示され、録画を開始します。
- 4 **● (緊急録画)** ボタンを再びクリックすると録画が停止します。



システム

システム言語及び自動接続、日付、時間などを設定することができます。

システムメニュー> IDIS center設定> システムをクリックしてください。



- **言語:** プログラム稼動時に使用する言語を選択します。変更された設定は次の実行の時から適用されます。
- **タブ名初期化:** 現在の言語と他の言語を選択すると、表示されます。項目を選択してから再起動する時、設定した言語のデフォルト値に変更され、タブ名もすべて変更されます。
- **デバイスのリアルタイムモニタリング:** 装置のリアルタイム監視の範囲を選択します。本設定に応じて、デバイスのリアルタイム監視状態が反映されており、**すべてのデバイスを無効にする**を選択した場合、それぞれのデバイスのデバイス修正ウィンドウに“デバイスのリアルタイムモニタリング”の項目が消えます。
- **高DPI設定でディスプレイ倍率を使用しない:** 選択解除時にDPIスケールに基づいて、クライアントプログラムサイズが異なります。
- **GDI DPI調整の使用:** 高いDPI環境で拡大されたテキストが鮮明に見えるようにします。オペレーションシステムが当該機能に対応し、**高DPI設定でディスプレイ倍率を使用しない**の設定を解除すると機能が有効になります。

- **可能であれば、ハードウェアアクセラレーションを使用:** 特定の条件を満たす環境でハードウェアアクセラレーションを使用します。設定を解除した場合、ハードウェアアクセラレーションを使用できる環境でもハードウェアアクセラレーションを使用しません。
- **Windowsの視覚効果設定の変更:** Windows視覚効果設定を変更するかどうかを選択します。
- **ログイン時、ディスプレイの電源管理をを使用しない:** Windowsで提供する電源管理オプションを使用しません。
- **Windows開始時 IDIS center自動実行:** Windows開始時にIDIS centerプログラムを自動的に実行します。
- **ログイン通知のポップアップ:** IDIS centerプログラムにログインする時、ポップアップ画面を表示して通知をします。
- **ユーザーのデフォルトのレイアウトを実行:** IDIS centerプログラム実行時に保存したユーザーレイアウトで表示できます。
- **全画面表示で開始する:** IDIS centerプログラムを実行する時、全体画面に表示することができます。 **全画面表示で開始する**を選択して**設定**をクリックすると、パネルで各モニターの全体画面表示を設定することができます。
- **CPUの使用率ポップアップ:** IDIS centerシステムのCPUの使用量が設定した値を超える場合は警告メッセージが表示されます。
- **使用するプロセッサの個数:** IDIS centerプログラム動作の時、使用するプロセッサの個数を選びます。IDIS centerプログラムに対するCPU使用量の制限ができます。
- **プログラム起動時、自動ログイン:** 以前接続した時のログイン情報を用いてIDIS centerプログラム起動時、自動にログインします。 **自動ログイン時、最後監視セッション復元**を選択すると現在の監視パネルに以前の監視セッションを復元します。
- **オート:** ログインの状態で設定した時間でマウスキーボードの入力がない場合、設定によりIDIS centerプログラムが自動でログアウトされるか、IDIS center システムがロックされます。
- **日付/時間:** 現在の日付と時間を表示します。

- **日付形式、時間形式:** システムの日付及び時刻の表示形式を設定します。
- **スタート曜日:** 一週間の最初の曜日を設定します。

画面分割

カメラ画面のレイアウトに関する設定が行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> 画面分割をクリックしてください。



- **一般:** 側面パネルの位置、マップパネルにおけるルートマップリストの位置、テキスト・インパネルの位置を設定します。
- **画面分割:** 監視画面、再生画面及びマップ画面の基本画面分割を表示し、**分割設定**ボタンをクリックして基本の画面分割を変更することができます。
- **選択されたカメラをベースとして画面分割を変更:** 画面分割が変更される時、現在の画面で選択したカメラが変更される分割画面の最初のカメラ画面に位置します。
- **自動的にフォーマットの拡張:** 接続されたカメラの台数に合わせて、分割画面を自動的に変更します。但し、カメラの個数が減った場合は変更しません。
- **フルスクリーン・デスクトップモードを使用:** フルスクリーンを有効にすると、そのタブのフルスクリーンを現在のクライアントのソフトウェアとは別に作業表示ラインに追加で表示します。

画面表示

カメラ画面でのOSD(On Screen Display)の表示方法及び表示するか否かを設定します。

システムメニュー> IDIS center設定> 画面表示をクリックしてください。



- **不透明度:** スライダーを用いて、OSDの不透明度を調整することができます。
- **選択された枠なし:** 監視または、再生の時、選択したカメラ画面の枠を表示しません。
- **選択された枠のみタイトルバー表示:** 監視または、再生の時、選択したカメラ画面のタイトルバーを表示します。
- **監視、検索:** 画面に表示されるOSD情報を設定します。
 - **カメラ名:** IDIS centerプログラムで設定したカメラ名を表示します。
 - **タイトルバー:** カメラ画面の上段にタイトルを表示するエリアを区分します。
 - **ステータスアイコン:** ステータスOSDを表示します。

	緊急録画中
	PTZ
	カメラ順次監視
	映像拡大
	装置録画中

	トーク
	リスニング

- **PTZ:** PTZカメラ制御時、画面にPTZ制御ボタンを表示します。
- **日付、時間:** IDIS centerシステム日付および時間を表示します。
- **録画タイトル:** 映像録画の際、設定されていたカメラのネームを表示します。
- **イベント警告、イベント警告の継続時間:** デバイスでイベントが発生すると、該当するカメラのタイトルバーを赤色で表示します。イベント警告の表示は、イベント発生後に設定されたイベント警告の持続時間が過ぎると解除され、手動で解除に設定すると、該当するカメラ画面選択時に解除されます。
- **モーションブロック:** デバイスで、モーション感知イベントが発生すると、モーションが感知されるエリアを画面上に赤色のブロックで表示します(ネットワークビデオエンコーダーの場合にのみ対応)。
- **サイト名:** デバイス名を表示します。カメラ名とデバイス名が違う場合のみ表示されます。
- **メッセージ:** スクリーンメッセージを表示します。スクリーンメッセージに関する詳しい内容は、[p. 48 ネットワーク](#) 部分を参照してください。
- **テキストインデバイス、テキストインの持続時間:** デバイスにテキストインイベントが発生した場合、テキストイン情報を画面上に表示します(1x1分割画面にのみ対応)。テキストイン情報は、テキストインイベント発生後に設定された「テキストイン持続時間」で解除されます。
- **ポジション:** 画面表示OSDの位置、OSDテキストの大きさ、OSDのスペースを変更することができます。
- **テキストインデバイス:** テキストインのカラーおよびテキストサイズを変更することができます。
- **制御ツールバー**
 - 不透明度スライダーを利用して、カメラ画面の制御ツールバーの不透明度を調整します。
 - メインハーバーツールバーの使用：カメラペインのハーバーツールバーを表示するかどうかを設定します。コンテキストメニューから機能を実行した場合、設定にかかわらずハーバーツールバーが表示されます。

第4章 - 設定

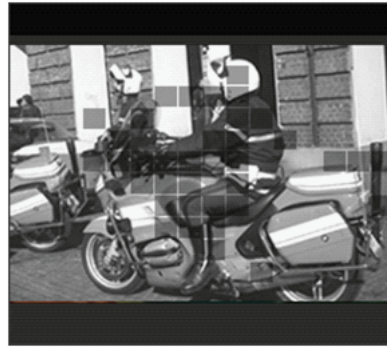
- **空き領域のポップアップ:** ハーバー領域でのマウスカーソルの位置にツールバーを表示するかどうかを決めます。



カメラ名、ステータスアイコン、日付/連続録画



イベント警告



モーションブロック

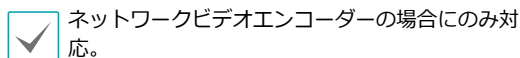


制御ツールバー

監視画面の各カメラ画面にOSD表示



- **カメラタイトル:** カメラタイトルを表示します。
- **🔊/🗣️ (リスニングまたはトーク):** デバイスのオーディオを受信したり、デバイスへオーディオを送信していることを示しています。
- **📺 (PTZ):** PTZ制御が可能であることを示しています。
- **📺 (カメラ順次監視):** 切替モードであることを示しています。
- **🔴 (緊急録画):** IDIS centerシステムに映像が緊急録画中であることを示しています。
- **📺 (装置録画):** 装置が録画中であることを表します。
- **➕ (映像拡大):** 映像が拡大されたことを示しています。
- **🛑 (画面静止):** 監視映像の静止機能を使用中であることを示しています。
- **🌈 (色調整):** 色合いの調整中であることを示しています。
- **🖼️ (イメージ効果):** イメージ効果中であることを示しています。
- **日付、時間:** IDIS centerシステム日付および時間を表示します。
- **イベント警告:** デバイスでイベントが発生すると、該当するカメラのタイトルバーを赤色で表示します。
- **モーションブロック:** デバイスで、モーション感知イベントが発生すると、モーションが感知されるエリアを画面上に赤色のブロックで表示します。



画面メニュー

監視タブのコンテキストメニューをユーザーが追加および除去します。

システムメニュー> IDIS center設定> 画面メニューをクリックしてください。



- **非活性化メニュー項目除去:** 選択した項目のみコンテンツメニューに表示します。

映像設定

映像に関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> 映像設定をクリックしてください。



● **画面レート**: 映像の出力レートを設定します。

- **映像レートにあわせる**: 映像のオリジナルレートで、カメラ画面のエリアに合わせて映像を出力します。
- **画面に合わせる**: 画面比率と関係なくカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
- **画面に合わせる(スマート)**: 画面に出力される映像のマージンに基づいて、"画面に合わせる"または"実際サイズ"が適用されます。
- **画面に合わせる(比率維持)**: 画面比率を維持したままでカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。

✓ カメラ画面のサイズによって映像の上下左右が切れることがあります。**映像拡大**や**ホットスポット**、**イベントスポット**、**モーションブロック表示**、機能の動作時、該当カメラ画面については本画面レートに対応せず、代わりに**映像比率に合わせる**が適用されます。

- **実際サイズ(×1)**: 映像の実際のサイズで出力します。

● **描画モード**: 画面で映像をディスプレイするための描画モードを選択します。描画モードの設定によって、映像の色感やディスプレイ性能に差が出ることがあります。

- **最大フレームサイズ**: 画面で出力できる映像フレームの最大サイズを設定します。
- **フレームスキップ**: デコーディングのスペックを超える映像の場合、選択したフレームスキップ機能を適用して性能を向上させます。
 - **レベル 1 - システム仕様に基づく**: 映像デコーディング仕様を超えるデコーダ設定の場合、フレームスキップを適用します。
 - **レベル 2 - ペインサイズが映像解像度より小さい場合**: 対象カメラペインのサイズが原本映像解像度別に指定されたサイズより小さい場合、フレームスキップを適用します。
 - **レベル 3 - ループフィルターのオフ**: フレームスキップの適用時にコーデックのループフィルターのオフにします。

● **低遅延モード**: 映像フレームの平行ルデコーディングを最小限に抑え、DPBによる遅延を低減します。

✓ 本機能はバッファリング、パラレル処理、後処理を減らすため高スペックを求めます。

- **ディンタレーシング**: インタレーシングモードでエンコードされている映像の場合、モーションのある部分に発生する横線やノイズを排除し、映像出力の品質を向上させます。希望するディンタレーシングフィルターを選択します。
- **ブロックノイズを排除**: 拡大映像で発生する階段(ブロック)現象を排除し、画面上に表示される映像の出力品質を向上させます。
- **映像処理速度優先**: 映像出力時、画面上に表示される映像の出力品質より、ディスプレイ速度を優先して表示します。
- **高品質ビデオの縮小**: 映像縮小時、画面に表示する映像の出力品質を維持します。
- **高品質の映像を拡大**: 映像拡大時、画面に表示する映像の出力品質を維持します。
- **黒(ノイズ)縁を排除**: 映像の端に出力される黒い縁(ノイズ)を排除します。
- **モニター垂直同期**: モニターの遅い走査線速度によって発生する映像のティアリングを改善します。

✓ 1×1画面分割モードでのみ。この場合、CPU使用量が増加することがあります。

ビデオ分析

映像に関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> ビデオ分析をクリックしてください。



- **色の設定**：映像にオーバーレイされた映像分析結果の色をオブジェクトタイプ別に設定します。
- **オブジェクトタイプを表示**：映像分析結果にオブジェクトタイプを表示します。
- **精度を表示する**：映像分析結果に精度を表示します。
- **色を表示**：映像分析結果にオブジェクトの色を表示します。

- **マルチストリーミングの動的制御**：画面分割モードによって違うストリームを使用するように設定できます。**自動**を選択するとIDIS centerプログラムがその画面の分割モードに適当なストリームを自動的に設定します。

☒ ひとつ以上のストリームを使用しているデバイスのみ支援します。

- **双方向の帯域幅コントロール**：画面分割によってデバイスの解像度とフレーム速度を流動的に変更し、ネットワークの帯域幅をコントロールします。
 - **1×1分割**：該当デバイスでサポートする最大解像度および転送速度
 - **多分割**：各画面の分割に適切なレベルに低くした解像度およびフレーム速度

☒

- 本機能が動作するためにはデバイスにも該当機能が設定されていなければなりません。
- 本機能は監視映像に対してのみ動作します。

- **ハードウェアアクセラレーションを使用 - iGPU**：IDIS centerプログラムでハードウェアアクセラレーションを使用します。使用時には、高画質映像処理能力が向上します。本機能はPCのハードウェアアクセラレーションを使用する場合にのみ対応します。
- **GPUデコードを使用 - DXVA2**：IDIS CenterプログラムでGPUデコードを使用します。使用時にHD級の高画質映像処理が向上します。本機能は、ユーザーのPC上でGPUデコードを使用している場合にのみサポートされます。

レポート

ログ出力に関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> レポートをクリックしてください。

- **1ページに出力されるログの数:** 1ページに出力されるログの数を設定します。



デバイスログ の場合、設定に関係なく100個

- **更新間隔:** デバイス検査パネルでの状態更新間隔を設定します。**未使用**を選択すると動作状態パネルが動作しなくなります。
- **接続再試行回数:** デバイスがアクセスできなかった場合、最大リトライ回数を設定します。
- **状態要請タイムアウト:** デバイス状態の要請結果を受ける最大待機時間を設定します。
- **問題の状態をファイルに保存する:** 更新間隔に合わせて選択した問題発生項目のログをPDFまたはCSV形式に保存します。保存フォルダーとタイトルおよびパスワード(PDF)を設定することができます。
- **問題状態通知のポップアップ:** 更新間隔に合わせて選択した問題発生項目でエラーが発生すると、ポップアップ通知を表示します。ポップアップ通知には、問題発生に関連情報が表示され、自己診断テキストをクリックすると自己診断を始めます。

- **ポップアップタイムアウト:** 問題状態通知のポップアップが自動的に閉じられる時間を設定します。**続く**を選択すると、ユーザーが手動にウィンドウを閉じる必要があります。

最近のイベント

リアルタイムイベントに関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> 最近のイベントを選択してください。

● **イベントパネル使用:** ライブイベントリストで表示されるパネルを選択します。選択を解除すると、パネルを隠すこともできます。

● **時間範囲:** リアルタイムのイベントのリストに表示される各イベント通知の表示期間を設定します

☒ イベントのリストが100個以下である場合に表示期間が過ぎてもイベント通知がリアルタイムのイベントリストから消えません。

● **コラム:** リアルタイムのイベントのリストに表示したい情報を選択します。

● **コールバックのポート:** デバイスからコールバックメッセージを受信するためのポート番号を設定します。

● **ライブテキストイン時間範囲:** テキストインイベント感知時、該当テキストインデータの表示期間を設定します。テキストインデータはテキストインイベント発生後、設定した時間範囲内でテキストインビューア画面で確認できます。テキストインビューア画面に関する詳しい内容は、[p. 77 テキストインビューア](#)部分を参照してください。

● **デバイス接続解除イベントを緊急イベントとして処理:** デバイス接続が解除された場合、デバイス接続解除イベントを緊急イベントとして処理します。

● **イベントのサウンド:** リアルタイムのイベントリストにイベント通知の時、オーディオを再生してサウンドを出力するように設定します。希望するイベントを選択した後、ボタンをクリックして出力するオーディオファイル(.wav)を設定します。ボタンをクリックすると該当オーディオファイルを再生して、サウンドを確認することができます。

- **双方向オーディオ使用時の自動無効化:** 両方向オーディオ使用の際、イベント警告サウンド機能を非活性化されるよう設定します。

● **イベントスポット:** リアルタイムのイベントリストにイベント通知の時そのイベントが発生したカメラ映像をイベントスポット画面に表示します。

- **イベント監視期間:** イベントスポット画面に表れる映像の持続時間を設定します。

- **最小監視期間:** 現在イベントが表示されている間に他のイベントが感知された場合、現在イベントに対するイベント監視期間を設定します。設定された時間が過ぎてから他に感知されたイベントのカメラ映像を表示します。

● **インターコム:** インターコム通話を受信した場合、イベントを検知した場合に設定によってポップアップが表示されます。

- **使用しない:** 通話要求受信時の動作を指定しません。

- **通知:** インターコム通知ポップアップを表示します。

- **インターコムポップアップ:** インターコムポップアップを表示します。

ネットワーク

ネットワークに関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> ネットワークをクリックしてください。

- **高画質監視映像バッファリング:** HD映像を監視する際にshort termバッファリングを使用して画面に映像をより柔らかく出力することができます。ネットワーク環境により、バッファリングが遅延されたりリアルタイム感が落ちたりする場合があります。
- **監視映像フレームなし検出:** 映像フレームの転送をしたか、どうかを確認する間隔を設定します。設定した時間の間、IDIS centerシステムにデバイスの映像フレームが転送されない場合、該当カメラ画面にメッセージが表示されます。
- **連結解除メッセージ:** デバイス連結が解除された場合に表示されるスクリーンメッセージ又はデバイス接続時にカメラの状態が表示されるスクリーンメッセージの内容を変更できます。**設定ボタン**をクリックした後、各メッセージの横にあるチェックボックスを選択すると、該当メッセージの内容を変更することができます。
- **FEN:** FEN(For Easy Network)機能を使用するデバイスがある場合、デバイスが登録されているFENサーバー情報を入力します。本設定が正しくない場合、FEN機能を使用するデバイスの登録及び接続はできません。クライアントNATタイプが表示されます。
- **FENプロキシ使用:** FENプロキシ使用にチェックを入れると、FENが使用できます。

- **RTP受信ポート範囲:** RTPプロトコルを使用して映像を転送するデバイスが登録された場合、RTP受信ポート範囲を設定します。



ネットワークファイアウォールまたはイントラネットが特定UDP/RTPポート番号のみを許可するならば、該当ポート番号に合わせてRTPポート範囲設定を変更しなければなりません。一般ストリーミングプログラムのポート番号と衝突しないようにしてください。衝突が起こる場合、映像監視ができない場合があります。

- **損傷したフレームは出力しない:** RTPプロトコル使用時、ネットワーク環境によってフレームが損傷したり消失することがあります。この場合、損傷したフレームを監視または再生パネルに表示するかどうかを設定します。
- **バッファリングのフレーム数:** RTPプロトコルで使用するバッファリングのフレーム数を設定します。数字が大きくなれば映像が切れる現象は減りますがリアルタイム感は落ちます。
- **ネットワークキーボード使用:** ネットワークキーボードを使用してIDIS centerプログラムを制御することができます。この時IDIS centerプログラムが使うポート番号を設定します。**大きいマウスカーソル使用**を選択すると、マウスカーソルのサイズが大きくなります。また、**方向ボタンでペインを選択**を選択すると、ネットワークキーボードの方向ボタンでペインを選択できます。**MFZカメラ制御使用**を選択すると、ネットワークキーボードを利用してMFZカメラを制御することができます。

検索

検索実行に関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> 検索 をクリックしてください。



- **セッションタイムアウト**：再生/簡単再生でセッションのタイムアウト時間を設定します。設定した時間が過ぎるとセッションが切断されます。
- **イベントの時間移動**：イベント検索の際、イベント関連フレームの時間を基準にして特定の時間以前のフレームを検索するように指定することができます。
- **デュアル-ストリーム再生の優先順位**：デュアル-ストリーム録画再生で基本ストリームを設定します。Dynamic Control (動的制御)を設定した場合には、2x2のレイアウトに基づいて、以下のレイアウトでは、メインストリーム、その他のレイアウトでは、サブストリーム録画映像を再生します。
- **時間重複区間検索時の応答性優先**：多くのセグメントが存在するエリアを検索するとき、最新の基準でセグメント数を限定して検索します。
- **時間重なることなく再生**：時間重複現象が発生した場合、セグメントを区分せずにタイムテーブルに表示します。時間が重複する区間は、最新セグメントの録画データを使用します。
- **高速再生時にすべてのキーフレーム使用**：録画映像を高速再生した場合、すべてのキーフレームを再生します。
- **時間精度よりも応答性優先**：Long-GOP映像に対してGoTo機能を行ったときに正確な時間に対応するフレ

ームより応答性に対する損害を減らすと同時に最大限隣接した時間のフレームを表示します。

- **Long-GOP逆再生時にキーフレームモード使用**：Long-GOP映像に対して逆方向に再生する際、キーフレームのみ再生するように設定します。
- **タイムテーブル**：録画モードごとにタイムテーブルに表示する色を指定できます。

サイト

サイト実行に関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> サイト をクリックしてください。



- **すべてのデバイス項目を表示**：ログインすると、サイトツリーのすべてのデバイス項目が表示されます。
- **デバイスグループを開く**：映像監視または再生の時、サイトリストにあるデバイスグループを展開して装置のリストを示します。
- **非活性化デバイスを表示**：サイトリストで非活性化されたデバイスを表示したり隠します。
- **デバイスのリアルタイムモニタリングを表示**：サイトツリーで装置リアルタイムモニタリングが活性化された装置への表示方式 (使用しない、アイコン 、緑色のオーバーレイ ) を設定します。
- **項目**：映像監視または再生の時、サイトリストにデバイスから支援する入/出力デバイスを表示したり隠します。

マップ

マップ実行に関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> マップをクリックしてください。



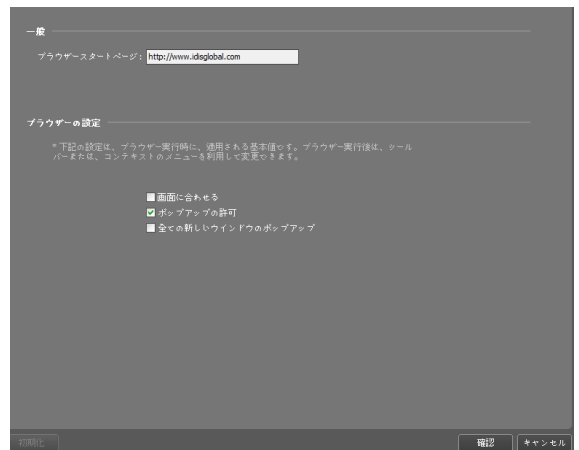
- **ライブポップアップパネル使用:** ライブポップアップリストが表示されるパネルを選択します。選択を解除するとパネルを隠すこともできます。
- **イベントサウンドマルチ再生使用:** 複数のカメラサイトで同時にイベントが発生すると、イベント音が設定されたカメラそれぞれの録音ファイルが同時に再生されます。選択を解除すると一番最初に発生したイベントの録音ファイルが再生されます。
- **自動フォーカシング使用:** 指定したイベント発生するとマップでそのイベントが発生したデバイス領域を拡大して表示します。
 - **フォーカシングイベント:** 自動フォーカシングを行うイベントを指定します。
 - **フォーカシング期間:** 自動フォーカシングの持続時間を設定します。
 - **フォーカシングの最小維持:** 互いに違うデバイスでイベントが連続して感知される場合先に感知されたイベントに対して自動フォーカシングの持続時間を設定します。設定された時間が経ってから後で感知されたイベントに自動フォーカシングが移動します。
- **拡大ファインダー:** PIP画面を表示したり非表示にします。PIP画面の四角は拡大されたエリアを表示します。**オート**に設定するとキャンバスが拡大された場合のみPIP画面を表示します。

- **マップイベントスポット:** イベント発生時そのイベントが発生したカメラ映像をマップイベントスポット画面に表示します。
 - **イベント監視期間:** マップイベントスポット画面に表れる映像の持続時間を設定します。
 - **最小監視期間:** 現在イベントが表示されている間に他のイベントが感知される場合、現在のイベントに対するイベント監視期間を設定します。設定された時間が経ってから後で感知されたイベントのカメラの映像を表示します。期間を設定します。設定された時間が過ぎたら、後で感知されたイベントのカメラ映像を表示します。
- **インスタントビューア:** インスタントビューアが持続する時間を設定します。



インスタントビューアはマップでカメラをクリックすると表示されます。

ブラウザ



- **ブラウザスタートページ:** ブラウザ画面のウェブブラウザの初期ページを設定します。
- **画面に合わせる:** ウェブページのサイズをブラウザの画面のサイズに合わせさせます。
- **ポップアップの許可:** ウェブページのポップアップ表示を許可します。
- **全ての新しいウィンドウのポップアップ:** ウェブページのポップアップを新しいブラウザで表示します。

アクション

アクションに関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> アクションをクリックしてください。



- **一般:** ライブポップアップの一般動作方法を設定します。
 - **Ctrl+ポップアップペインにドラッグ使用:** Ctrlボタンを押してライブポップアップウィンドウをライブタブのペイン上にドラッグすると当該ペインに映像が映し出されます。
 - **複数の双方向オーディオ使用:** チェックを解除すると、単一カメラに対してのみ「トーク」と「リスニング」機能が動作します。
 - **Format 1x1に変更する場合はListenを使用する:** 1x1画面分割に変更すると、「リスニング」機能が実行されます。多重双方向オーディオの使用設定と同時に使用することはできません。
 - **ペインを選択解除した場合、双方向オーディオオフ:** 選択されたカメラペインで双方向オーディオを実行中に別のペインを選択すると、以前のペインの双方向オーディオ機能が解除されます。
 - **PTZを自動的に有効にする:** 自動的にPTZ制御を使用することができるよう基本設定します。
- **ライブポップアップ:** マウスボタンのペインをダブルクリックすることで下記の機能を行うことができます。
 - 最大化または以前の大きさへ
 - ライブスクリーン 1x1 ペイン

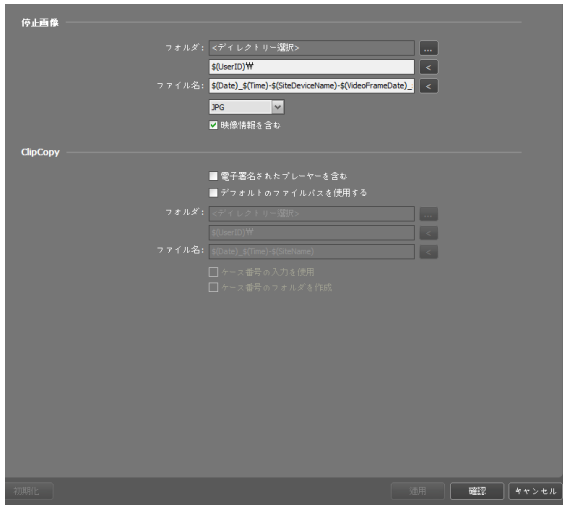
- クライアントS/Wのメインフレームが実行されたモニターに最大化
- マルチモニターの場合、指定されたモニターに最大化

- **インスタントビューア:** マウスの中央、右ボタンのうち、指定されたボタンのダブルクリックで下記の機能を行います。
 - ライブスクリーン 1x1 ペイン
 - **(e)PTZ機能を使用:** PTZ制御を使用することができるよう基本設定します。
 - **タイムアウト解除:** 動作実行後、ポップアップの持続時間のタイムアウトを解除します。
- **魚眼映像:** 魚眼映像カメラに接続したときの基本動作を定義します。
 - **開始プリセット:** 魚眼映像カメラ接続の際に反映するプリセット名を設定します。個別魚眼映像カメラ装置ごとに同一の名前のプリセット名で構成を保存すると、接続時の煩雑な構成変更を容易にします。
 - **デフォルトビューモード:** 基本ビューモードを設定します。
 - **画像の比率:** イメージの比率を設定します。
 - **ePTZフレームレート:** ePTZフレーム率を設定します。高い (平均 60 Fps以上)、普通 (平均 30 Fps以上)、正常以下 (平均 15 Fps)、低い (平均 10 Fps)、とても低い (平均 5 Fps) – 低仕様コンピュータの環境が適切です。
 - **自動回転フレームレート:** 自動回転のフレーム率を設定します。高い (平均 60 Fps以上)、普通 (平均 30 Fps以上)、正常以下 (平均 15 Fps)、低い (平均 10 Fps)、とても低い (平均 5 Fps) – 低仕様コンピュータの環境が適切です。
 - **ePTZ 使用:** 魚眼映像カメラの接続時にePTZを使用します。

保存

保存に関する設定を行うことができます。

システムメニュー> IDIS center設定> 保存をクリックしてください。



- **停止画像:** 停止画像の保存に関する情報を設定します。
 - **フォルダ:** 停止映像を保存するフォルダーを設定します。
 - **ファイル名:** 停止映像が保存されるファイル名を設定します。対応形式には、JPG、WebP、PNG、TIF、BMP、PDFがあります。
 - **映像情報を含む:** 保存された停止映像ファイルに停止映像の情報を含めます。
- **ClipCopy (クリップコピー):** 動画の保存に関する情報を設定します。
 - **電子署名されたプレイヤーを含む:** 電子署名された専用ビューアプログラムを含めて録画映像が保存されます。動画を保存する時に当該オプションが有効化されます。
 - **デフォルトのファイルパスを使用:** 動画を保存する時に設定された基本パスとファイル名で自動保存されます。
 - **フォルダ:** 動画を保存する基本フォルダーを設定します。
 - **ファイル名:** 動画を保存するファイル名を設定します。

- **Prompt for Case Number when saving (ケース番号入力の使用):** 動画を保存する時にケース番号入力画面が表示され、入力されたケース番号がファイル名の\$(CaseNumber)に入力されます。
- **Create new folder using Case Number (ケース番号フォルダーの作成):** 動画を保存する時にケース番号入力画面が表示され、入力されたケース番号のフォルダーが基本フォルダーのパスに作成されます。当該フォルダーに動画を保存します。

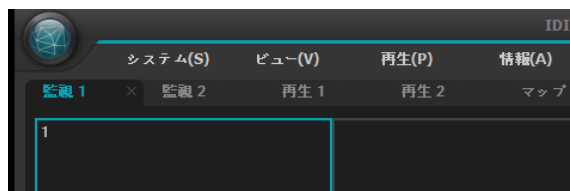
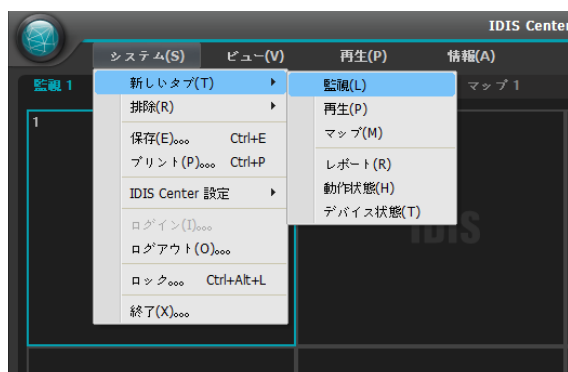
バックアップ/復元

IDIS centerプログラムの設定値を「.iexp」ファイルとして保存するか、保存されている設定値を読み込んで現在のIDIS centerプログラムに適用することができます。

第5章 — 使用

映像監視

登録されたサイトのリアルタイム映像を監視することができます。IDIS centerプログラムはデバイスでの設定に従って映像を受信し、監視画面に表示します。リアルタイム映像監視は監視パネル(最大4つ)でサポートされます。パネルタブに監視タブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**監視**をクリックしてタブを追加します。



- 1 パネルタブで**監視**タブをクリックします。
- 2 **サイト**リストで接続するサイトを選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。
- 3 選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。



- 現在監視しているカメラ画面を選択した後、マウスでドラッグ&ドロップすると、接続を解除せずに該当カメラ画面を監視画面の希望する位置に移動することができます。
- 低仕様パソコンで同時に複数の高解像映像をライブ監視又は再生するとIDIS centerシステムの性能が落ちることがあります。

パネルのツールバー

下段にあるパネルのツールバーを利用して監視パネルを制御することができます。



①	ユーザーのレイアウト登録	現在の画面レイアウトおよびデバイス接続状態をユーザーのレイアウトとして登録します。
②	画面分割	画面分割を変更します。 + ボタンをクリックしてより多様な画面分割を選択することができます。 ◀ または ▶ ボタンをクリックすると前または次のカメラグループに移動します。
③	ホットスポット	選択した画面をホットスポット画面に設定します。
④	イベントスポット	選択した画面をイベントスポット画面に設定します。
⑤	マップイベントスポット	選択した画面をマップイベントスポット画面に設定します。
⑥	レイアウトの順次監視	レイアウトの順次監視を開始または停止します。
⑦	その他メニュー	・ 遠隔地点パネル: フローティングされたパネル又は全体画面でサイトリストを表示、または非表示することができます。本機能は一部パネルのみ対応します。 ・ テキスト-インパネル: テキスト-インパネルを表示します。
⑧	イメージの保存	・ 静止画保存: 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。 ・ イメージを保存/イメージ出力: 現在の画面に表示されたイメージを保存または印刷します。 ・ パノラマスクリーン保存: 現在の画面とフローティングされたパネルにあるイメージを保存します。
⑨	オーディオブロードキャスト	現在の監視タブにある全てのデバイスにオーディオをブロードキャストします。
⑩	NVR双方向オーディオ	NVR装置のオーディオを受信したり、NVR装置へオーディオを伝送したりします。
⑪	緊急録画	現在の監視タブにある全ての映像に対し緊急録画を行います。
⑫	テキスト-インパネル	テキスト-インパネルを表示します。テキスト-インパネルは現在IDIS centerシステムに接続されているデバイスのテキスト-インデータを表示します。テキスト-インデバイスにカメラが連動されていて、連動されたカメラの映像が現在の監視タブに見える場合、カメラの画面にもテキスト-インのデータを表示します。テキスト-インのデータの表示期間は ライブテキスト-イン時間範囲 設定で変更できます。 ライブテキスト-イン時間範囲 設定に関する詳しい内容は p. 47 最近のイベント 部分を参照してください。
⑬	ブラウザ	選択した画面をブラウザ画面に設定します。

ホットスポット設定

IDIS Centerプログラムで**ホットスポット**とは現在の画面に表示されたカメラの映像の中で任意のカメラの映像を強調して監視するために指定したカメラ画面を指します。ホットスポット画面には赤色の枠が表示されます。

- 1 現在監視している画面でホットスポット画面に設定するカメラ画面を選択します。
- 2 監視パネルの下段にあるツールバーで  (ホットスポット) ボタンをクリックすると選択したカメラ画面に接続されていた既存の接続を解除します。ホットスポット画面には赤色の枠が表示されます。
- 3 画面で任意のカメラを選択すると、選択したカメラの映像がホットスポット画面に表示され、該当カメラを制御することができます。

マップイベントスポット設定

IDIS Centerシステムで**マップイベントスポット**とは、現在の画面に表示されたマップで、イベントが発生した映像を強調して監視するために指定したカメラ画面を指します。マップイベントスポット画面には灰色の枠が表示されます。

- 1 現在監視している画面でマップイベントスポット画面に設定するカメラ画面を選択します。
- 2 監視パネルの下段にあるツールバーで  (マップイベントスポット) ボタンをクリックすると、選択したカメラ画面に接続されていた既存の接続を解除します。マップイベントスポット画面には灰色の枠が表示されます。
- 3 画面でイベントが発生すればイベントが発生したカメラの映像がマップイベントスポット画面に表示され、該当カメラを制御することができます。

イベントスポット設定

IDIS Centerシステムで**イベントスポット**とは、現在の画面に表示されたカメラ映像のうち、イベントが発生した映像を強調して監視するために指定したカメラ画面を指します。イベントスポット画面には青色の枠が表示されます。

- 1 現在監視している画面でイベントスポット画面に設定するカメラ画面を選択します。
- 2 監視パネルの下段にあるツールバーで  (イベントスポット) ボタンをクリックすると、選択したカメラ画面に接続されていた既存の接続を解除します。イベントスポット画面には青色の枠が表示されます。
- 3 画面でイベントが発生すればイベントが発生したカメラの映像がイベントスポット画面に表示され、該当カメラを制御することができます。

ブラウザ画面設定

- 1 現在監視中の画面の中からブラウザ画面に設定するカメラ画面を選択してください。
- 2 監視パネル下段にあるツールバーから  ボタンをクリックしてください。選択したカメラ画面に接続されている既存の接続を解除します。
- 3 ウェブブラウザページがブラウザ画面に表示されます。



-  (メニュー): ブラウザメニューを表示します。
 -  (前のページ、次のページ): 前のページまたは次のページに移動します。
 -  (URL入力): URLアドレスを入力することができます。アドレス入力後、右側の  ボタンをクリックすると、そのアドレスのページに移動します。
 -  (リロード / 中止): ウェブページをリロードまたは中止します。
 -  (画面に合わせる): ウェブページのサイズをブラウザの画面のサイズに合わせさせます。
 - **ポップアップの許可**: ウェブページのポップアップ表示を許可します。
 - **全ての新しいウィンドウのポップアップアップ**: ウェブページのポップアップを新しいブラウザで表示します。
 - **印刷**: 現在のウェブページを印刷します。
 - **削除**: ブラウザ画面の設定を解除します。

画面分割



IDIS Centerプログラムで**画面分割**とは、映像監視または再生パネルに映像ペインを分割して配置する方式を意味します。パネルツールバーの画面分割項目を選択したり、 (追加画面分割) ボタンをクリックして追加の画面分割項目を選択して画面分割をパネルに適用します。

追加画面分割には、既に定義されている**基本分割**、**ワイド分割**とユーザーが直接設定した**ユーザー画面分割**があります。画面分割項目でマウスを左クリックすると、パネルにその画面分割が適用され、マウスを右クリックすると、その項目が選択されます。

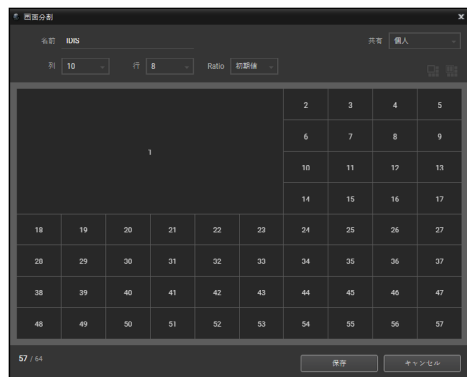
画面分割項目にマウスオーバーすると、画面分割情報が表示されたツールチップを表示します。**ユーザー画面分割**の項目は名前順、パネル数順に並び替えて表示されます。



-  (追加): ユーザー画面分割項目を追加します。
-  (修正): ユーザー画面分割項目を修正します。
-  (削除): ユーザー画面分割項目の削除画面に切り替えます。削除画面で**ユーザー画面分割**項目をクリックすると、その項目が削除されます。

ユーザー画面分割の追加/修正

ユーザー画面分割の **+** (追加) または  (修正) ボタンをクリックして、画面分割項目を新規に追加したり、既にある項目を編集します。マウスの右クリックまたは方向キーで画面分割項目を選択すると、 (修正) ボタンが有効になります。



- **名前:** ユーザー画面分割の名前を入力します。
- **共有:** その画面分割を使用できるユーザー範囲を設定します。
 - **公開:** 全ユーザーに表示されます。
 - **グループ:** 所有者が属するグループのユーザーにのみ表示されます。
 - **個人:** 所有者にのみ表示されます。
- **列、行:** その画面分割の列と行の数を表示します。
- **比率:** パネルの横、縦比を表示します。**自動**に設定すると、クライアントが表示されたモニターの比率を使用します。**初期値**は画面分割編集の前に設定されたパネル比を表示します。
-  (**結合**): 選択したペインを一つに結合します。
-  (**分割**): 選択したペインを基本サイズのパネルに分割します。

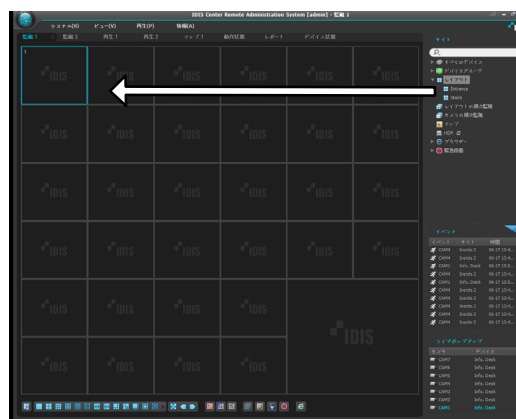


- パネルでマウス中央ボタンをクリックすると結合、マウスを右クリックすると分割が適用されます。
- パネルでのペインの最大数は64個です。

レイアウトの監視

多数のカメラの映像をあらかじめ設定されたレイアウトで監視することができます。レイアウトの監視をするためには、レイアウトが登録されていなければなりません。

- 1 レイアウトリストで希望するレイアウトを選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。または、レイアウトをダブルクリックすると選択された監視タブに表示されます。
- 2 該当するレイアウトに追加されたカメラの映像があらかじめ設定された分割画面で表示されます。



ユーザーのレイアウト追加

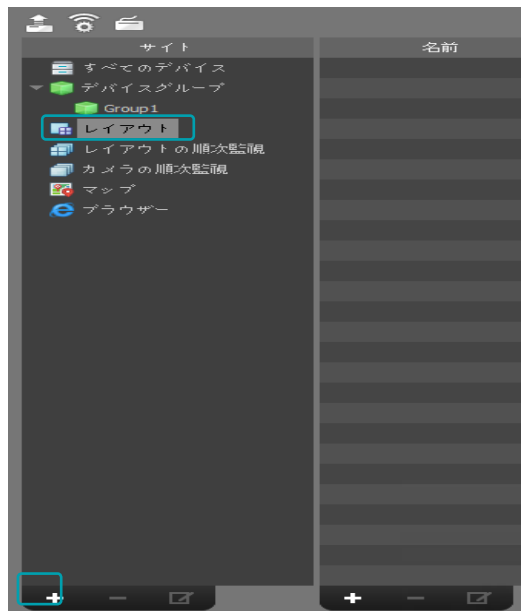
現在の画面分割およびデバイス接続状態をユーザーレイアウトとして登録します。パネルツールバーで  (**ユーザーのレイアウト登録**) ボタンをクリックしてユーザーレイアウト情報を作成します。



- **名前:** ユーザーレイアウトの名前です。
- **共有:** そのレイアウトの共有範囲を設定します。
 - 個人: レイアウトの所有者にのみ表示します。
 - グループ: 選択したグループに属するユーザーにのみ表示します。
 - 公開: 全ユーザーに表示されます。
- **記述:** ユーザーレイアウトの説明を追加します。

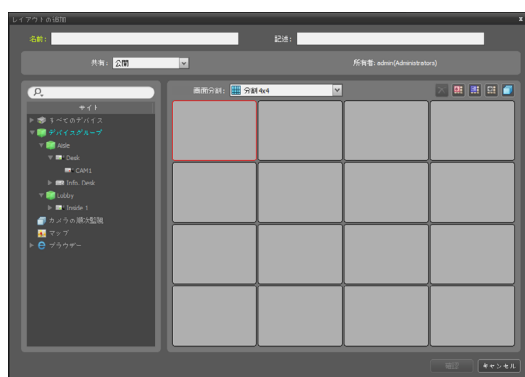
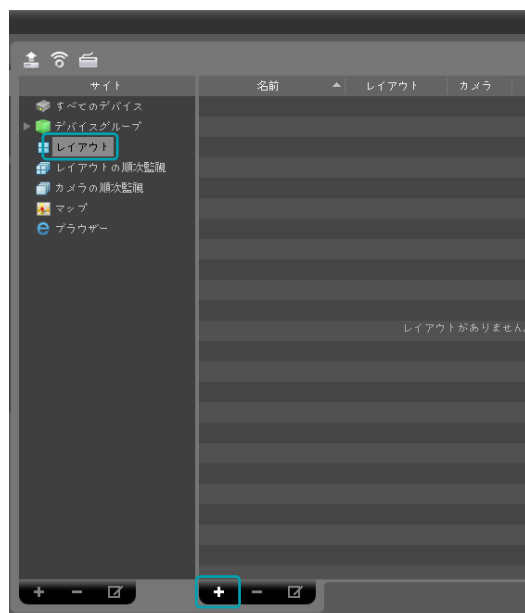
レイアウトグループの登録

- 1 システムメニューで**IDIS center Setup**を選択した後、**デバイスメニュー**を選択します。
- 2 サイトパネルで**レイアウト**をクリックし、左側のサイトリストのパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。**レイアウトグループの追加画面**が表示されます。



レイアウトの登録

- 1 システムメニューで**IDIS center Setup**を選択した後、**デバイスメニュー**を選択します。
- 2 サイトパネルで**レイアウト**をクリックし、右側のサイトリストのパネルの下段にある**+**ボタンをクリックします。**レイアウトの追加画面**が表示されます。



- **名前:** レイアウト名を入力します。
- **共有:** 該当レイアウトの共有範囲を選択します。**admin**ユーザーの場合、全てのレイアウトを見ることができます。
 - **公開:** そのレイアウトを全てのユーザーに表示します。

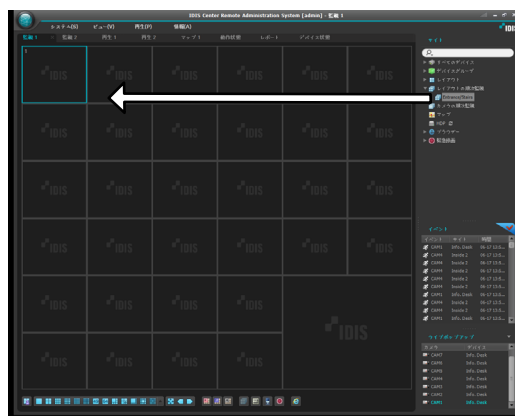
- **グループ:** 選択したグループに属しているユーザーのみに表示します。グループは**所有者**項目で選択することができます。
- **個人:** **所有者**項目で選択したユーザーのみに表示します。
- **所有者:** ユーザーによってレイアウトの異なる設定ができます。該当レイアウトを見せるユーザー(グループ)を表示したり選択します。
- **サイト:** 登録されたデバイス、カメラまたはカメラの順次監視及びマップリストを表示します。
 🔍 ボタンの横に検索語を入力して登録されたデバイスまたはカメラの順次監視を検索することができます。
- **画面分割:** 該当するレイアウトの画面分割を選択します。**サイト**リストでレイアウトに割り当てるデバイス、カメラまたはカメラの順次監視を選択した後、レイアウト画面の希望する位置にマウスでドラッグ&ドロップします。
- **✕ (削除):** レイアウト画面で特定画面を選択した後ボタンをクリックすると、選択した画面に割り当てられたカメラをレイアウト画面から削除します。
- **🔥 (ホットスポット):** レイアウト画面で特定画面を選択した後ボタンをクリックすると、選択した画面をホットスポット画面として設定します。
- **📍 (イベントスポット):** レイアウト画面で特定画面を選択した後ボタンをクリックすると、選択した画面をイベントスポット画面として設定します。
- **📍 (マップイベントスポット):** レイアウト画面で特定画面を選択した後ボタンをクリックすると、選択した画面をマップイベントスポット画面として設定します。
- **📹 (カメラの順次監視):** レイアウト画面で特定画面を選択した後ボタンをクリックすると、カメラの順次監視を開始することができ、該当する順次監視を選択した画面に割り当てます。

- 3 **確認**ボタンをクリックしてレイアウトの追加を終了します。

レイアウトの順次監視

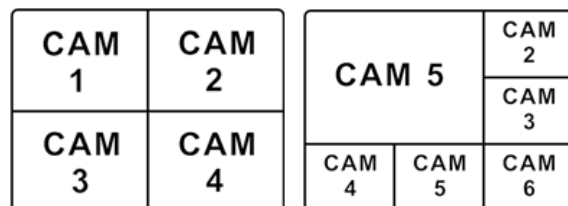
多数のカメラの映像をあらかじめ設定された2つ以上のレイアウトで順次監視することができます。レイアウトの順次監視を行うためには、レイアウトの順次監視が登録されていなければなりません。順次監視レイアウトの追加に関する詳しい内容は、次の説明を参照してください。

- 1 レイアウトの順次監視リストで希望するレイアウトの順次監視を選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。該当するレイアウトの順次監視に登録したカメラ映像が順次各レイアウトの分割画面に表示されます。



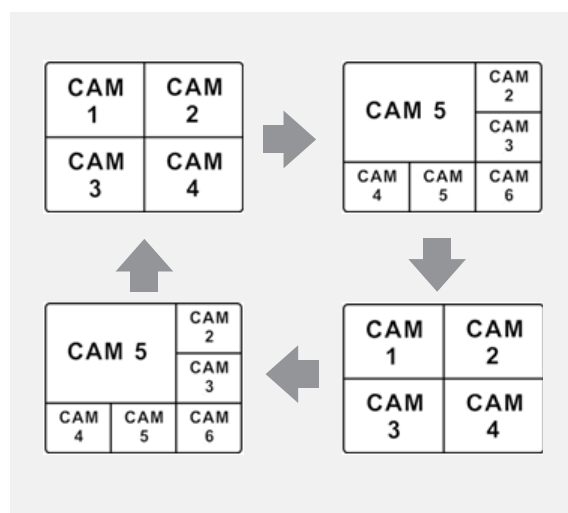
- 2 パネルの下段にあるツールバーの  (レイアウトの順次監視) ボタンをクリックして、レイアウトの順次監視を停止したり再開できます。

レイアウトの順次監視例



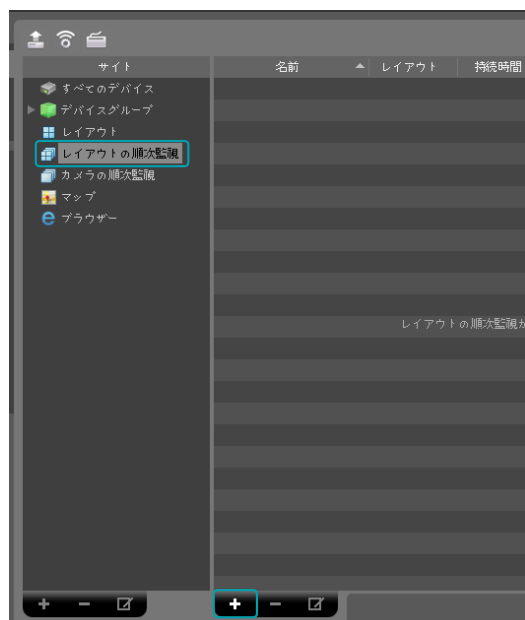
レイアウト 1

レイアウト 2

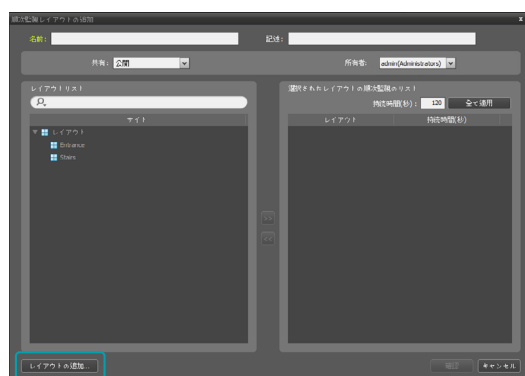


順次監視レイアウトの登録

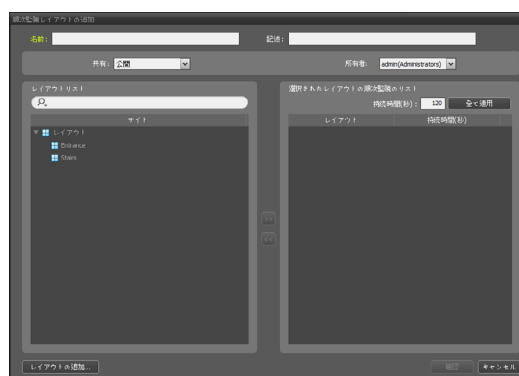
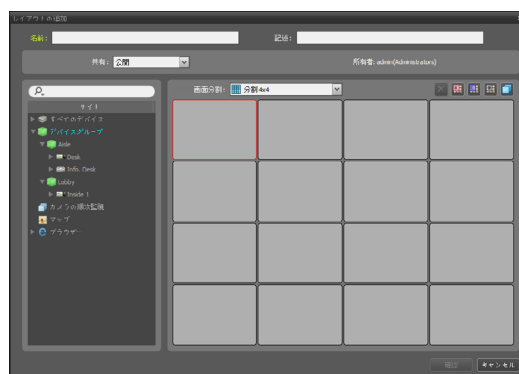
- 1 システムメニューで**IDIS center Setup**を選択した後、**デバイスメニュー**を選択します。
- 2 サイトパネルで**レイアウトの順次監視**をクリックした後、右側のサイトリストのパネルの下段にある**+**ボタンをクリックします。**順次監視レイアウトの追加画面**が表示されます。



- 3 順次監視するレイアウトが登録されていない場合、**レイアウトの追加ボタン**をクリックします。



- 4 **レイアウトの追加画面**が表示されたら順次監視するレイアウトを登録します。順次監視をするためには2つ以上のレイアウトが登録されていなければなりません。



- **名前:** レイアウトの順次監視の名前を入力します。
- **共有:** 該当レイアウトの順次監視の共有範囲を選択します。**admin**ユーザーの場合、全てのレイアウトの順次監視を見ることができます。
 - **公開:** そのレイアウトの順次監視を全てのユーザーに表示します。
 - **グループ:** 選択したグループに属しているユーザーのみに表示します。グループは**所有者**項目で選択することができます。
 - **個人:** **所有者**項目で選択したユーザーのみに表示します。
- **所有者:** ユーザーによってレイアウトの順次監視の異なる設定ができます。該当レイアウトの順次監視を見せるユーザー(グループ)を表示したり選択します。
- **レイアウトリスト:** 登録されたレイアウトリストを表示します。**🔍** ボタンの横に検索語を入力して登録されたレイアウトを検索することができます。検索語を入力すると、その結果を表示します。
- **選択されたレイアウトの順次監視のリスト:** レイアウトの順次監視のために登録されたレイアウトリストを表示します。

- **持続時間(秒)**は各レイアウトが画面に表示される時間を示します。**持続時間(秒)**下の数字をダブルクリックすると、該当レイアウトの持続時間を変更することができます。**全て適用**ボタンをクリックすると、設定された持続時間をリストにあるすべてのレイアウトに等しく適用します。

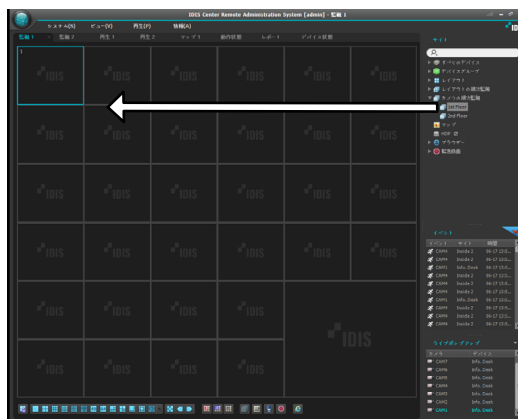
5 レイアウトリスト でレイアウトを選択した後、**>>** ボタンをクリックすると選択されたレイアウトが**選択されたレイアウトの順次監視リスト**に追加されます。

6 確認ボタンをクリックすると順次監視レイアウトの追加を終了します。

カメラの順次監視

多数のカメラの映像を同一のカメラ画面で順次監視することができます。カメラの順次監視のためには、カメラの順次監視が登録されていなければなりません。カメラの順次監視の登録に関する詳しい内容は、次の説明を参照してください。

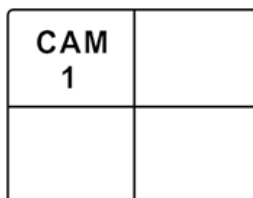
1 カメラの順次監視リストで、希望するカメラの順次監視を選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。該当カメラの順次監視に登録したカメラ映像が画面に順次表示されます。



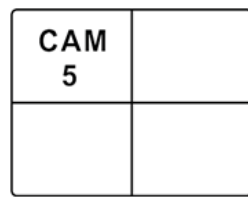
2 カメラ画面の下段にあるコントロールツールバーの  (カメラの順次監視) ボタンをクリックして、カメラの順次監視を中止したり再開することができます。



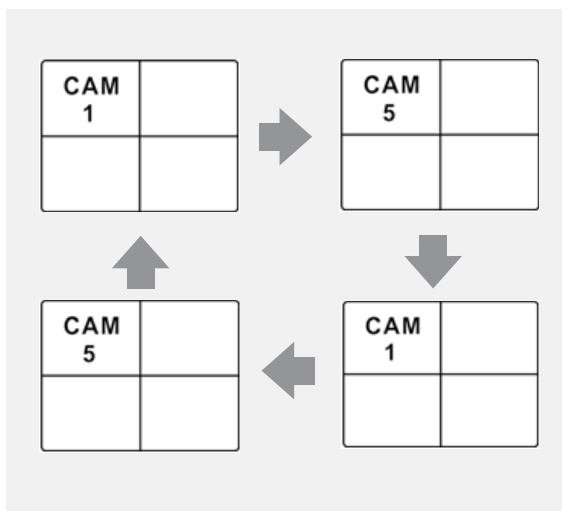
カメラの順次監視の登録



カメラ1

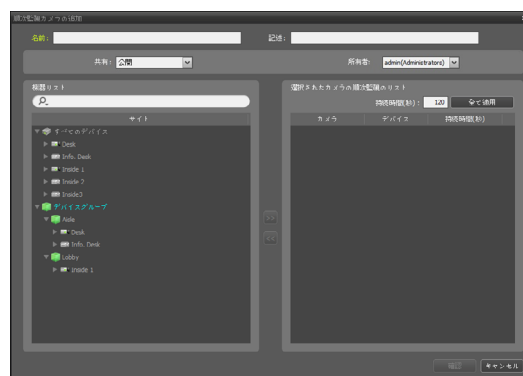
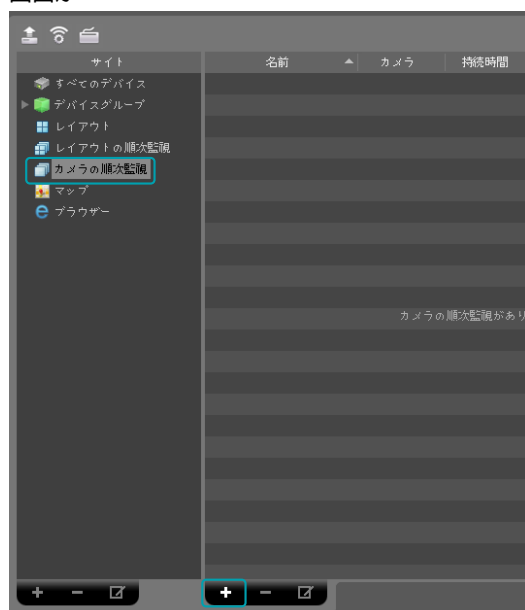


カメラ5



カメラの順次監視の登録

- 1 システムメニューで**IDIS center Setup**を選択した後**デバイスメニュー**を選択します。
- 2 サイトパネルで**カメラの順次監視**をクリックした後、右側のサイトリストのパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。**順次監視カメラの追加画面**が



- **名前:** カメラの順次監視の名前を入力します。
- **共有:** 該当カメラの順次監視の共有範囲を選択します。**admin**ユーザーの場合、全てのカメラの順次監視を見ることができます。
 - **公開:** そのカメラの順次監視を全てのユーザーに表示します。
 - **グループ:** 選択したグループに属しているユーザーのみに表示します。グループは**所有者**項目で選択することができます。
 - **個人:** **所有者**項目で選択したユーザーのみに表示します。
- **所有者:** ユーザーによってカメラの順次監視の異なる設定ができます。 該当カメラの順次監視を見せるユーザー(グループ)を表示したり選択します。
- **機器リスト:** 登録されたデバイスリストを表示します。 🔍 ボタンの横に検索語を入力して、登録されたデバイスを検索することができます。検索語を入力すると、その結果を表示します。
- **選択されたカメラの順次監視のリスト:** カメラの順次監視のために登録されたカメラリストを表示します。
- **持続時間(秒)** は各カメラの映像が画面に表示される時間を表示します。
- **全て適用** ボタンをクリックすると、設定された持続時間をリストにあるすべてのカメラに等しく適用します。

機器リストでカメラを選択した後、 **>>** ボタンをクリックすると選択されたカメラが**選択されたカメラの順次監視のリスト**に追加されます。

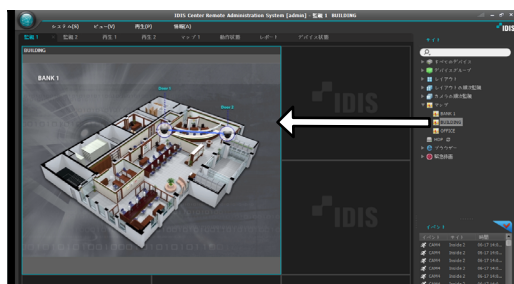
- 3 **確認** ボタンをクリックすると順次監視カメラの追加をします。

マップ監視

登録されたデバイスのカメラ映像、イベント感知、接続された入/出力デバイスの状態をマップで監視することができます。マップの順次監視のためには、管理サービスにマップが登録されていなければなりません。マップの登録に関する詳しい内容は、**p.131 マップエディター**部分を参照してください。

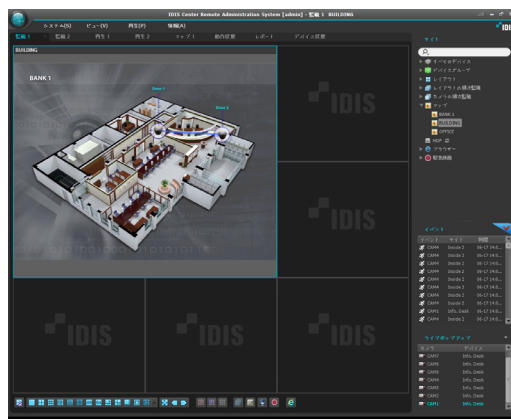
- ☒ マップの順次監視のためには、マップが登録されていなければなりません。
- マップ監視は監視パネル(最大4つ)及びマップパネルでサポートされます。
- パネルタブに監視またはマップタブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**監視**または**マップ**をクリックしてタブを追加します。

1 マップリストで、希望するマップを選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。



2 該当マップが画面に表示されます。

- ☒ 現在監視しているマップを選択した後、マウスでドラッグ&ドロップすると、接続を解除せずに該当マップを監視画面の希望する位置に移動することができます。
- マップで**入/出力デバイス**を選択し、**監視画面**、**再生パネル**または**デバイス状態パネル**にマウスのドラッグ&ドロップするとそのデバイスの映像を監視または再生したりデバイス状態を監視したりすることができます。



マウスカーソルをマップの入/出力のデバイス上に位置させるとその入/出力デバイスのイベント感知および状態を表示します。その入/出力デバイスでイベントが感知されたりデバイスが正しく動作しなかったりすると次のようなアイコンが出ます。

	アクセス失敗		イベント・オフ
	異常作動		モーション感知
	映像遮断		ビデオロス
	テロ感知		映像分析感知
	トリップゾーン		タンパーリング
	アラーム入力		アラーム出力

- ☒ 順番に最高4つまで表示されます。
- デバイスの仕様及びバージョンによって一部イベントのアイコンがサポートされないことがあります。
- イベント感知**の場合その入/出力デバイスが接続されたデバイスでのイベント感知設定によって表示されます。
- また**異常作動**の場合その入/出力が接続されたデバイスで設定したシステム検査設定によって表示されます。
- マップ登録時、状態のカラーを設定した場合、イベント感知および状態が固有の色で表示されます。
- 同時に2つ以上のイベントまたは状態が感知された場合、各イベントまたは状態のカラーが順次表示されます。

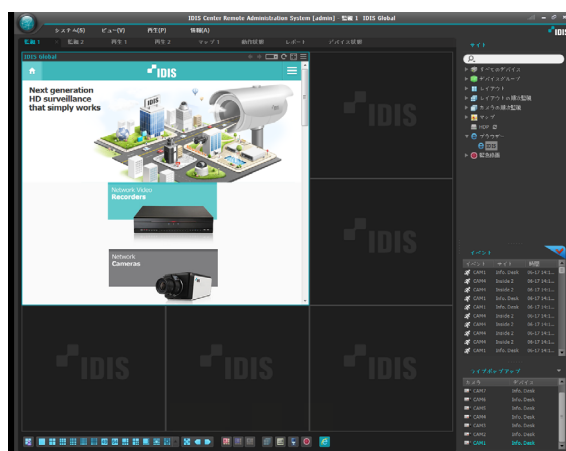
経路順次監視

マップを監視する時、マップに登録された多数のカメラの映像を同一のカメラ画面で順次監視することができます。経路順次監視のためには、順次監視経路が設定されている必要があります。順次監視経路設定に関する詳しい内容は、**p. 135 経路順次監視**部分を参照してください。

- 1 マップで、順次監視経路を選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。
- 2 経路順次監視に連動されたカメラの映像が設定された持続時間画面に順次表示されます。

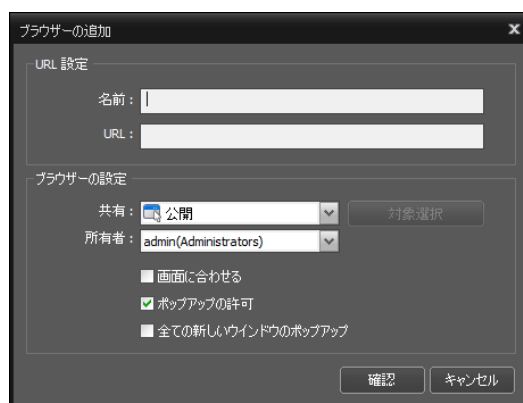
ブラウザ実行

登録したブラウザを実行することができます。ブラウザを実行するためには、IDIS centerシステムにブラウザが登録されている必要があります。ブラウザ登録に関する詳しい内容は、次の説明をご参照ください。ブラウザリストから実行したいブラウザを選択した後、マウスで監視画面にドラッグ&ドロップしてください。選択したブラウザが画面で実行されます。



ブラウザ登録

- 1 システムメニューで**設定**を選択した後、**デバイス**メニューを選択します。
- 2 サイトパネルで**ブラウザ**をクリックした後、右側のサイトリストパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。
ブラウザ追加のウィンドウが表示されます。



- **URL設定**：URLの名前及びアドレスを入力します。
- **画面に合わせる**：ウェブページのサイズをブラウザの画面のサイズに合わせさせます。
- **ポップアップの許可**：ウェブページのポップアップ表示を許可します。
- **全ての新しいウィンドウのポップアップ**：ウェブページのポップアップを新しいブラウザで表示します。

カメラの制御

制御ツールバー及び画面のメニューを利用してカメラを制御することができます。

制御ツールバー

カメラ画面を選択した後、マウスカーソルをカメラ画面右下へ動かすと、制御ツールバーが表示されます。制御ツールバーを用いて選択したカメラを制御することができます。マウスのカーソルを各ボタンの上に動かすと該当するボタンのツールチップが表示されます。制御ツールバーが縮小された場合、マウスホイールでのスクロールでツールバーを左右に移動できます。



- (PTZ制御): カメラがPTZ制御機能をサポートしている場合、PTZを制御します。
- (リモートコントロール): HDMIエンコーダ映像を、キーボードやマウスを使用して、直接リモート制御します。
- (魚眼映像の歪み補正): 魚眼カメラの映像の歪みを補正します。
- (カメラ簡単設定): 映像モードを簡単に設定します。
- (色調整): 現在の映像の明暗、コントラスト、彩度、色彩を調整します。 ボタンをクリックすると変更内容を全てキャンセルして元のイメージに戻ります。



本設定はIDIS centerプログラムの映像だけでなく、デバイスの映像にも適用されます。

- (イメージ効果): イメージ効果の処理ができます。

- (映像拡大): 映像を拡大します。
- (カメラの順次監視): カメラの順次監視を開始または停止します。
- / (リスニング/トーク): デバイスのオーディオを受信するかデバイスにオーディオを送信します(両方向オーディオ対応モデルに限る)。
- / (アラーム出力のオン/オフ): カメラデバイスと連携されたアラーム出力をオン/オフできます。連携アラーム出力デバイスは、当該カメラデバイスの修正ウィンドウで設定します。
- (テキストインビューア): テキストインビューア画面を表示します。テキストインイベント感知の際、該当するカメラのタイトルバーを青色で表示します。



テキストインイベントが感知された場合のみ

- (簡単再生): 録画情報のある区間に対して簡単再生機能を使用することができます。
- (緊急録画): 緊急録画を開始または停止します。緊急録画中にはカメラ画面の右上側上段に緊急録画アイコンを表示します。
- (Googleマップ): 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。
- (速度グラフ): 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。
- (自動車情報): 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。

監視画面のメニュー

カメラ画面を選択した後、マウスの右ボタンをクリックすると、画面のメニューが表示されます。画面のメニューを用いて選択したカメラを制御することができます。

魚眼映像歪み補正	▶
簡単再生	▶
再生履歴	▶
30 秒前再生	I
その他	▶
録画データの再生	
PTZ制御	
色調整	
映像拡大	▶
画像処理	▶
アラーム・アウト	▶
テキストインビューア	
リスニング	
トーク	
NVR リスニング	
NVR トーク	
オーディオファイルのリスト	
オーディオブロードキャスト	
緊急録画	
マルチストリーム	▶
ホットスポット	
イベントスポット	
マップイベントスポット	
映像分析表示	▶
モーション感知エリア出力	
画面レート	▶
停止画像	▶
ブラウザー	
ストリーム情報	Tab
削除	▶

- **魚眼映像歪み補正:** 魚眼カメラの映像の歪みを補正します。
- **簡単再生:** 録画情報のある区間に対して簡単再生機能を使用することができます。
- **再生履歴:** 簡易再生の履歴をカメラ装置当たり8個まで保存し、その履歴を再生します。
- **30秒/180秒前再生:** 30秒または180秒前の映像で簡単再生を開始します。

- **録画データの再生:** 選択した画面にあるカメラの録画映像を再生タブで表示します。
- **PTZ制御、カメラ簡単設定、色調整、映像拡大、画像処理、トーク、緊急録画:** 制御ツールバーの該当ボタンをクリックするのと同じように動作します。
- **カメラ順次監視:** カメラの順次監視項目の移動と開始、停止、一時停止、終了を使用することができます。(順次カメラの場合にのみ適用)。
- **画像処理:** イメージに効果の処理ができます。
- **アラーム・アウト:** アラーム出力のON/OFFをします。
- **テキストインビューア:** テキストインビューア画面を表示します。テキストインイベント感知の際、該当するカメラのタイトルバーを青色で表示します。



テキストインイベントが感知された場合のみ。

- **NVRリスニング/トーク:** NVR装置のオーディオを受信したり、NVR装置へオーディオを伝送したりします。
- **オーディオファイルリスト:** オーディオアラームファイルに対応するデバイスで動作する機能です。デバイスに含まれているオーディオファイルを制御(再生/停止)します。
- **オーディオブロードキャスト:** 現在の監視タブにある全てのデバイスにオーディオをブロードキャストします。
- **マルチストリーム:** 該当するデバイスでリアルタイム監視映像に対してマルチストリームモードが設定されている場合、希望するストリームを選択することができます。
- **ホットスポット:** 選択したカメラ画面をホットスポット画面 に設定します。
- **イベントスポット:** 選択したカメラ画面をイベントスポット画面に設定します。
- **マップイベントスポット:** 選択したカメラ画面をマップイベントスポット画面に設定します。
- **映像分析表示:** 映像分析データを監視映像の上に表示します。
- **モーション感知エリア出力:** 選択したカメラでモーション感知イベントが発生する場合、モーションが感知されるエリアを画面上に赤色のブロックで表示します。

☒ ネットワークビデオエンコーダーの場合にのみ対応

- **画面レート:** 映像の出力レートを設定します。
 - **画面に合わせる:** 画面比率と関係なくカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
 - **画面に合わせる(比率維持):** 画面比率を維持したままカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
 - **映像レートにあわせる:** 映像のオリジナルレートにカメラ画面のエリアをあわせて映像を出力します。
 - **半分サイズ(×0.5)~4倍サイズ(×4):** 映像のオリジナルサイズを基準にして該当メニューで指定したサイズにカメラ画面に映像を出力します。

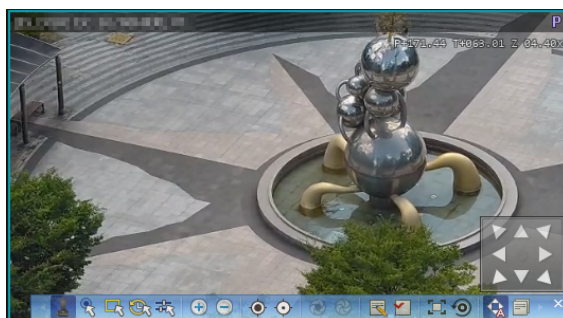
☒ カメラ画面が該当サイズで映像を出力できるエリアが確保された場合にのみメニューが選択できます。

☒ カメラ画面のサイズによって映像の上下左右が切れることがあります。映像拡大やホットスポット、イベントスポット、モーションブロック表示、機能の動作時、該当カメラ画面については本画面レートに対応せず、代わりに**映像比率に合わせる**が適用されます。

- **停止画像:** 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。
- **ブラウザー:** 選択した画面をブラウザ画面に設定します。
- **ストリーム情報:** 選択したカメラのストリーム情報を見ることができます。
- **デバイス情報:** 選択したカメラのデバイス情報をサブアイテムに表示します。
- **削除:** 現在の接続を解除します。

PTZ制御

制御ツールバーで  (PTZ制御) ボタンをクリックすると、PTZ制御ツールバーが表示され、各ボタンを用いてPTZを制御することができます。PTZカメラのモデルによっては一部の機能は動作しないことがあります。



- **人 (PTZ制御):**  (PTZ制御パネル)を表示したり非表示にします。PTZ制御パネルの矢印ボタンをクリックするか、カメラ画面上でマウスをドラッグしてPTZカメラの方向を調整します。
- **人 (ワンクリック移動):** 映像においてユーザーが指定した位置が中央に来ようPan-Tiltを制御することができます。

☒ ネットワークカメラの一部モデル接続時に限ります。

- **人 (領域拡大):** 映像で領域を指定して、その領域の拡大映像を表示します。マウスをドラッグして領域を指定し、ドラッグ領域に拡大倍率を表示します。
- **人 (領域拡大記録):** 以前に映像の領域を拡大した記録を表示することができます。
- **人 (PTZ手動制御):** パン、チルト、拡大、焦点の値を直接入力してカメラの位置を調整できます。
- **⊕ ⊖ (映像拡大/縮小):** 現在の映像を拡大または縮小します。
- **⊙ ⊙ (焦点を遠/近):** 遠くまたは近くにある映像にカメラの焦点をあ合わせます。
- **⊗ ⊗ (絞りを開く/閉じる):** カメラレンズの絞りを開いたり閉じます。
- **⚙️ ⚙️ (プリセット設定/表示):** プリセットの設定や確認ができます。
- **人 (自動焦点):** 映像の焦点がぼけた場合、ボタンをクリックすると焦点を自動的に調整します。

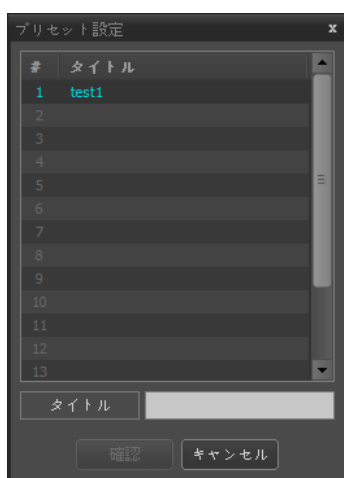
☒ ネットワークカメラの一部モデル接続時に限り
ます。

-  **(フォーカスのリセット/レンズのリセット/PTZのリセット):** カメラタイプによって焦点/レンズ/PTZの設定を初期化します。
-  **(オートラン(オン/オフ)):** 一定の周期ごとにカメラを設定したプリセット位置に移動します。
-  **(高機能メニュー):** 高機能メニュー画面が表示され、該当カメラがサポートする拡張機能を制御することができます。各拡張機能に関する詳しい内容は、該当PTZカメラのユーザーマニュアルを参照してください。
- **✕ (閉じる):** PTZモードを終了して制御ツールバーに移動します。

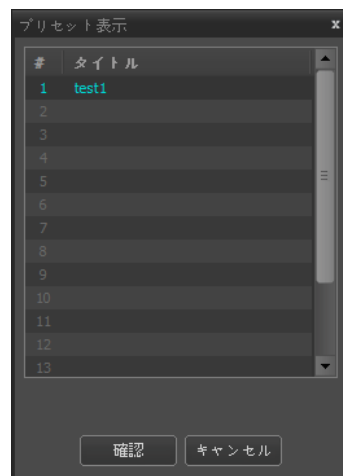
PTZプリセット制御

カメラの位置を**プリセット**で保存し、カメラを保存された位置にすぐ移動することができます。

- 1 カメラ画面でPTZカメラの方向を希望する位置に移動させます。
- 2 PTZ制御ツールバーで  (プリセット設定)ボタンをクリックすると、**プリセット設定**画面が表示されます。プリセットタイトルを入力した後**確認**ボタンをクリックすると現在位置が、入力されたプリセットタイトルで保存されます。



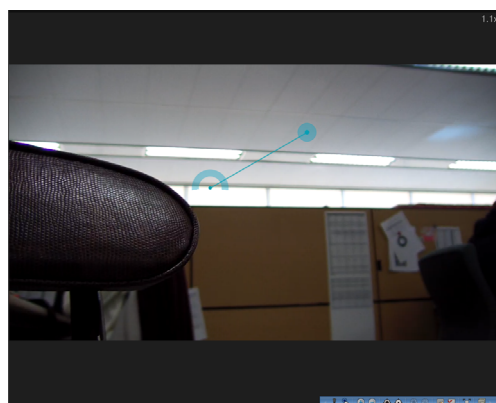
- 3 PTZ制御ツールバーで ☒ (プリセット表示)ボタンをクリックすると**プリセット表示**画面が表示されます。希望するプリセットを選択すると、PTZカメラの方向が該当プリセットの位置に移動します。



PTZ制御

特定の方向に制限されずより精密に Pan、Tilt、Zoom 動作を制御することができます。

- ☒ 本機能は一部のカメラでのみ対応しています。

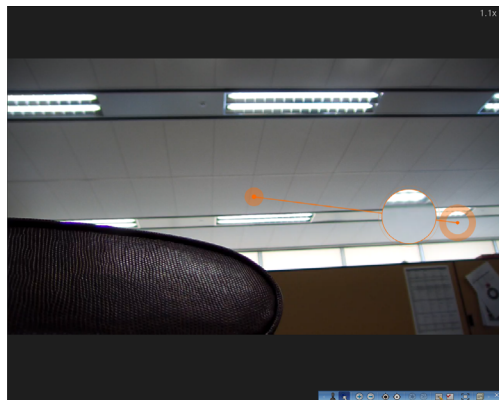


Pan, Tilt, Zoom 動作を実行します。マウスをドラッグする際、マウスカーソルのドラッグ量が動作速度を決定します。

- マウス左ボタンでドラッグ: 左/右 (Pan 制御)、上/下 (Tilt 制御)
- マウス右ボタンでドラッグ: Zoom 制御

PTZ ワンクリック移動制御

映像においてユーザーが指定した位置が中央に来るよう Pan-Tilt を制御することができます。最小限の入力でユーザーが望む位置に正確に移動することができます。

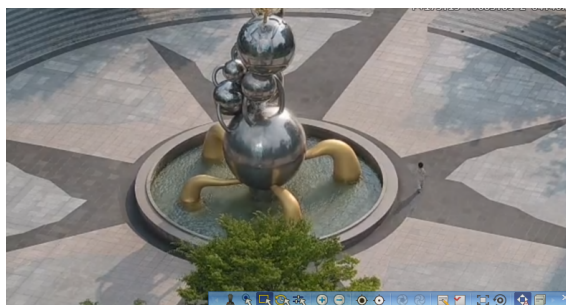
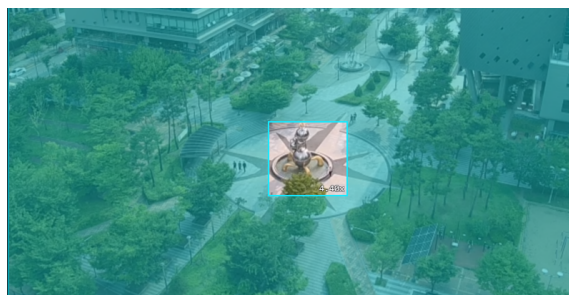


制御ツールバーから  (ワンクリック移動) ボタンをクリックし、PTZ 監視カメラペインの任意のポイントををクリックすると希望する位置に移動することができます。マウスドラッグすると、当該ポイントの映像が拡大表示されます。

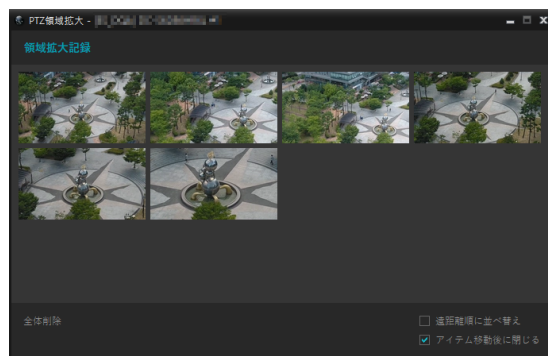
PTZ領域拡大/拡大記録

映像でユーザーが希望する領域をドラッグすると、その領域を拡大して表示することができます。領域拡大記録をサムネイルで確認できます。

制御ツールバーで  (領域拡大) ボタンをクリックして映像上でドラッグすると、ドラッグ領域に合わせて映像を拡大します。



以前に映像の領域を拡大した記録は、 (領域拡大記録) ボタンをクリックして以下の通りにサムネイルで確認できます。サムネイルアイテムをクリックすると、カメラをその位置に移動します。



アイテムにマウスオーバーすると、アイテムの上とその映像の拡大倍率値を表示します。

- **遠距離順に並べ替え:** アイテムを拡大倍率を基準に昇順ソートします。チェックを解除すると、最新順にソートします。
- **アイテム移動後に閉じる:** アイテムをクリックして、カメラの位置を移動した後に領域拡大記録ウィンドウが閉じられます。
- **全体削除:** すべてのアイテムを削除します。

PTZ手動制御

制御ツールバーで  (PTZ手動制御) ボタンをクリックすると、以下の設定画面が表示されパン、チルト、拡大、焦点の値をユーザーが直接入力してカメラの位置を制御します。特定カメラの位置をリストに保存し、リストでアイテムを選択してカメラの位置を移動することができます。



絶対位置

- (更新): 現在のカメラのパン、チルト、拡大、焦点の値をそれぞれ入力ウィンドウに表示します。
- **移動する**: 入力されたパン、チルト、拡大、焦点の値にカメラの位置を移動します。
- **ポジション取得**: 現在のカメラのパン、チルト、拡大、焦点の値をリストに追加します。
- **移動する**: リストで選択されたアイテムのパン、チルト、拡大、焦点の値にカメラを移動します。
- **編集**: リストで選択されたアイテムのネームまたはパン、チルト、拡大、焦点の値を設定します。

PTZ AI追跡制御

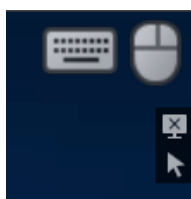
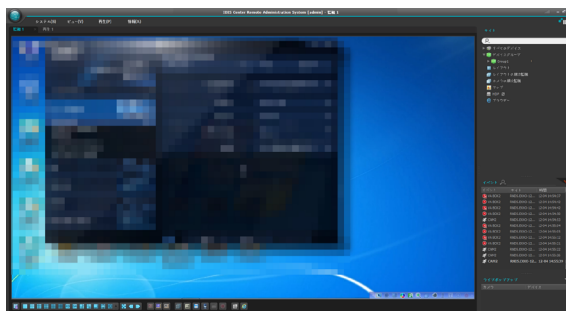
モーションが感知された場合、動く物体を追跡するか若しくは指定された物体を追跡します。

PTZ AI 追跡	オブジェクト選択モード
カメラ簡単設定	追跡停止
色調整	自動追跡オフ
映像拡大	自動追跡 即時実行

- **オブジェクト選択モード**: 支援されるタイプの物体を決めて追跡するように選択できます。
- **追跡中止**: 物体選択モードで、選択した物体の追跡を中止することができます。
- **自動追跡オン/オフ**: 映像内でモーションが感知された場合、動く物体を追跡します。
- **自動追跡即時実行**: 自動追跡オン/オフを実行して、即時追跡を開始します。

リモートコントロール

上端OSDに アイコンが表示される監視映像のコントロールツールバーで (リモートコントロール) ボタンをクリックするとリモート制御が有効にされ、制御関連のボタンが表示されます。映像右上のOSDを利用して状態を確認することができます。



- / (入力デバイスの状態): 活性化した入力デバイスを表示します。
- (リモートコントロール止める): リモートコントロールを 非活性化にする。
- (マウスカーソルの位置を初期化): マウスを左上に配置します。

魚眼映像の歪み補正

コントロールツールバーから  (魚眼映像の歪み補正) ボタンをクリックすると魚眼映像の歪み補正コントロールツールバーが表示され、各ボタンを利用して歪み補正機能を制御することができます。魚眼映像カメラのマウントの種類は、装置に設定されたマウントの種類が基本値として設定されます。



-  (マウントの種類): カメラの設置位置を設定します。この設定により設定可能な画面形態が変わります。
-  (イメージ比率): 映像出力画面の比率を設定します。
-  (レイアウト): メインビュー、メイン + 1~7 ペインビューモードを設定します。
-  (パノラマ): 映像のパノラマビューモードを設定します。
-  (選択モード): メインビュー映像でドラッグした領域を表示します。
-  (スポットモード): メインビュー映像に表示された歪み補正ファインダーを使って関心領域を移動、選択します。
-  (ドラッグアンドドロップ): メインビューとカメラペインを移動またはコピーすることができます。
-  (メイン PiP): メインビュー映像内部の領域指定を容易にする PiP ビューを実行します。



PIPとはPicture in Pictureの略語で、画面内に表示される小さい画面を指します。

-  (ePTZ): Pan, Tilt, Zoom 動作を実行します。マウスをドラッグする際、マウスカーソルのドラッグ量が動作速度を決定します。
 - マウス左ボタンでドラッグ: 左/右 (Pan 制御)、上/下 (Tilt 制御)
 - マウス右ボタンでドラッグ: Zoom 制御
-  (自動回転): 自動で回転するように設定します。+、-は方向を決定し、数字は速度を決定します。
-  (プリセット適用/保存): 保存された魚眼映像制御プリセットを読み込み、現在の魚眼映像制御をプリセットとして保存します。
-  (復元): 変更事項を全てキャンセルして、元のイメージに戻します。

スマートUXのクイックコントロール制御

映像のモニタリングでキーボードやマウスを組み合わせ、特定機能を選択する必要なく、すぐ映像拡大、歪み補正、PTZモードに切り替えられます。

- クイックズーム
 - Ctrl + マウス左側ボタンドラッグ (原本イメージ): マウスをドラッグして選択した範囲が拡大で表示されます。
 - Ctrl + マウス左側ボタンドラッグ: 拡大された領域がマウスドラッグ方向に移動します。
 - Ctrl + マウスホイールボタンクリック: 拡大された魚眼映像から原本映像に戻ります。
 - Ctrl + マウスホイールボタンスクロール: Zoom 制御
- クイック歪み補正
 - Ctrl + マウス左側ボタンドラッグ (原本イメージ): マウスをドラッグして選択した範囲が歪み補正で表示されます。
 - Ctrl + マウス左側ボタンドラッグ: マウスドラッグ方向にPan/ Tilt制御をします。
 - Ctrl + マウスホイールボタンクリック: 歪み補正された魚眼映像から原本映像に戻ります。
 - Ctrl + マウスホイールボタンスクロール: Zoom 制御
 - Ctrl + マウス右側ボタンドラッグ: Zoom制御

- クイック PTZ
 - Ctrl + マウス左側ボタンドラッグ: マウスドラッグ方向にPan/ Tilt制御をします。
 - Ctrl + マウスホイールボタンスクロール: Zoom制御
 - Ctrl + マウス右側ボタンドラッグ: Zoom制御
 - Ctrl + Shift + マウス左側ボタンクリック/ドラッグ: クリックした場所を中心にして、画像を移動したり、ドラッグをして、目的の場所に移動します。
- 簡単再生
 - ペイン選択後 I: 簡単再生を実行します。
 - ペイン選択後、Page Up/Down: 以前/次の再生エリアに移動します。
 - 簡単再生実行中に  または  の上でホイールスクロール: ホイールスクロールの入力方向によってジョグ再生を行います。
 - (Ctrl +) J: 再生速度を下げます。
 - (Ctrl +) K: 再生速度を初期化します。
 - (Ctrl +) L: 再生速度を上げます。
 - (Ctrl +) .: 高速逆方向再生を実行します。
 - (Ctrl +) ,: 高速順方向再生を実行します。
- タイムテーブルウィジェットでShift + ホイールスクロールすると、録画区間が左/右に移動します。
- タイムテーブルウィジェットでCtrl + ホイールスクロールすると、録画区間を拡大/縮小します。
- ショートカットキー
 - Ctrl + Space: 再生/中止を制御します。
 - Ctrl + Shift + Space: タブに含まれている全カメラの再生/中止を制御します。
 - Ctrl + T: 時間移動パネルのポップアップが表示されます。
 - Ctrl + Home: 映像の最初に移動します。
 - Ctrl + End: 映像の最後に移動します。
 - Ctrl + J: 再生速度を下げます。
 - Ctrl + K: 再生速度を初期化します。
 - Ctrl + L: 再生速度を上げます。
 - Ctrl + ,: 高速再生を実行します。
 - Ctrl + .: 高速逆方向再生を実行します。
 - Ctrl + キーボードの左/右ボタン: 前/次のフレームに移動します。
 - Shift + キーボードの左/右ボタン: 1分単位で前/次の映像に移動します。
 - Alt + キーボードの左/右ボタン: 10分単位で前/次の映像に移動します。

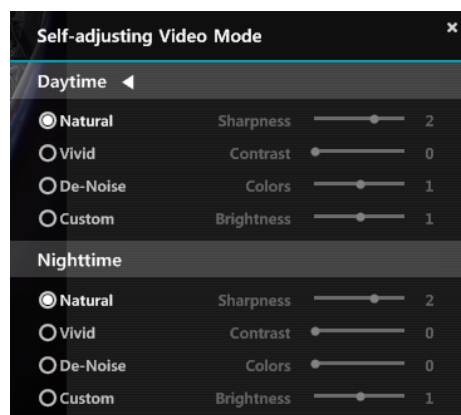
録画映像の再生制御

録画映像でキーボードとマウスを組み合わせると特定機能をモード切り替えることなく素早く録画映像の再生を制御できます。

- マウス
 - 前/次のフレームウィジェットでホイールスクロールしたとき、指定された時間の間隔分のみ前/次の映像に移動します。
 - 再生ボタンでホイールスクロールしたとき、ジョグ機能が動作します。
 - シャトルウィジェットでホイールスクロールしたとき、シャトルロック状態に再生が制御されます。
 - シャトルウィジェットでマウスの右クリックすると、再生が停止します。
 - シャトルウィジェットでマウスの中央ボタンをクリックすると、シャトルロックが解除され、再生が停止します。

カメラ簡単設定

映像モードを昼間、夜間でプリセット設定またはユーザー設定をすることができます。



- プリセットは、**Natural**(自然さ)、**Vivid**(鮮やかさ)、**De-Noise**(ノイズリダクション)があります。

- **Custom(カスタム)**は、手動でそれぞれの値を設定することができます。設定値は、**Sharpness** (鮮明度)、**Contrast(コントラスト)**、**Colors(色)**、**Brightness(明るさ)**があります。

映像拡大

制御ツールバーで  (映像拡大)ボタンをクリックすると、現在の映像を拡大することができます。



-  (スライダー): 拡大倍率を調整します。マウスホイールを用いて拡大倍率を調整することもできます。
-  (実サイズを表示): 実サイズ拡大モードに入ります。実サイズ拡大モードでは、カメラ画面のサイズまたは映像の拡大レートとは関係なく映像の実際のサイズを基準にして映像が拡大されます。
-  (拡大ファインダー): PIP画面を表示したり非表示にします。PIP画面の四角は拡大されたエリアを表示します。

☒ **PIP**とは**P**icture **i**n **P**ictureの略語で、画面内に表示される小さい画面を指します。

イメージ効果

制御ツールバーで  (**イメージ効果**)ボタンをクリックすると、イメージ効果の制御ツールバーが表示され、各ボタンを用いてイメージに効果を与えることができます。

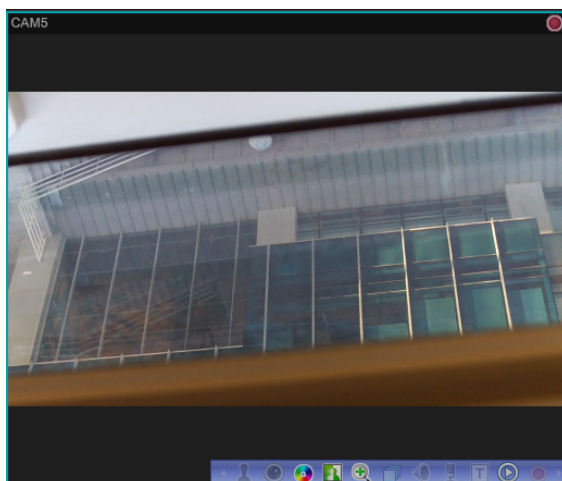


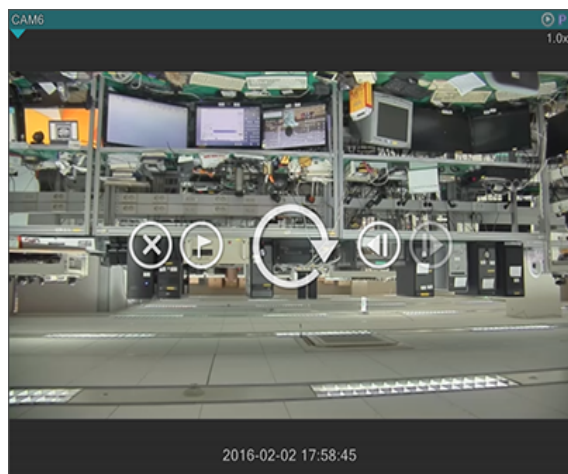
-  (柔軟): 映像をソフトにします。
-  (鮮明): 映像を鮮明にします。
-  (高域増強): 明度及び鮮明度を増加させます。
-  (ヒストグラムの平準化): 明度を均等にします。
-  (境界線の検出): 映像の輪郭を抽出します。
-  (原本): 変更事項を全てキャンセルして、元のイメージに戻します

☒ 本設定はIDIS centerプログラムの映像にのみ適用され、デバイスの映像には適用されません。

簡単再生

録画情報のある区間に対して簡単再生機能を使用することができます。コントロールツールバー  (簡単再生)のボタンをクリックした後、ポップアップメニューの再生時間を選択します。





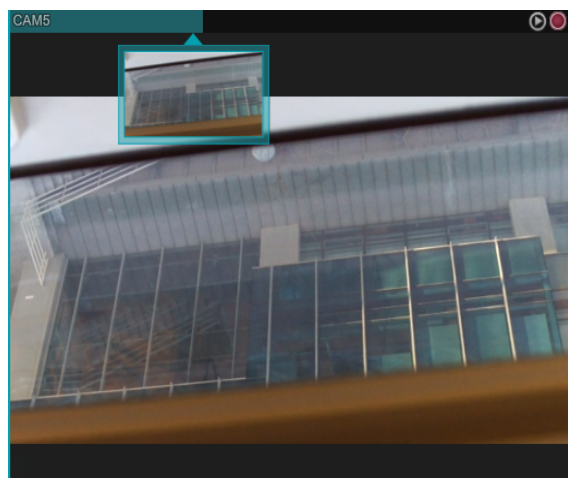
画面上にマウスを位置させると、終了、ブックマーク、再生、前後移動ボタンを使用することができます。

キーボードの左右ボタンおよびPageUp、PageDownを使用して再生位置を移動することができます。

映像のコンテキストメニューから、逆再生、低速再生を使用することができます。

ショートカットキー(Ctrl + ショートカットキーでも使用できます。)

- J / K / L :再生速度を下げ / 初期化 / 上げます。
- , : 高速逆方向再生機能を実行します。
- . : 高速再生機能を実行します。



再生の進行状況はカメラのタイトルバーに表示されます。

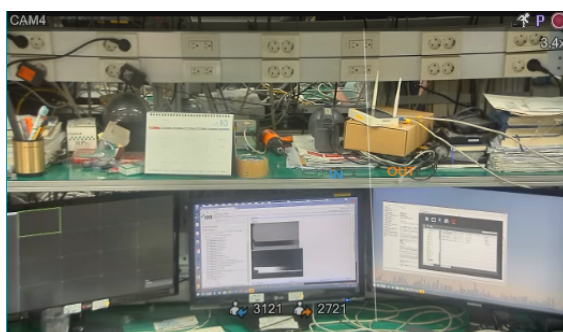
カメラタイトルバーの下部に表示される逆三角形のイメージをクリックすると、サムネイルイメージが表示されます。サムネイルイメージが活性化されている場合、カメラのタイトルバーの上にマウスを移動させると、当該地点のイメージが表示されます。

カメラのタイトルバーの特定の位置をクリックすると、当該地点に移動します。

映像分析

監視映像を選択した後、マウスの右ボタンをクリックすると画面メニューが表示されます。画面メニューから**映像分析表示**にマウスを当てると現在の映像分析の種類に合わせてメニューが活性化されます。

ピープルカウント



映像分析表示で**ピープルカウント**を選択すると、ピープルカウンティングのリアルタイム In/Outと占有人数情報が選択した映像の上に出力されます。

人数調整(People Counting Adjust)ウィンドウでIn/outを選択してボタンをクリックすると、In/outデータが増加します。

占有人数が設定された閾値を超えると、定員超過イベントを確認することができます。

キュー管理



映像分析表示で**キュー管理**を選択すると、領域別キュー情報(人数、待機時間)が選択した映像の上に出力されます。

キュー管理の場合、待機人数超過および待機時間超過イベントを確認することができます。

ヒートマップ



映像分析表示でヒートマップのライブの表示を選択すると、ヒートマップイメージが選択した映像の上に出力されます。

ヒートマップのライブの複数のオプションを選択してヒートマップイメージを使用者に合わせて変更することができます。(イメージスペクトルの色、透明度、イメージ保管の有無)

キューモニタリング/混雑検出/ソーシャルディスタンス違反/マスキュール違反



映像分析表示からキューモニタリング/混雑検出/ソーシャルディスタンス違反/マスキュール違反を選択すると、設定された映像分析領域が表示されます。

キューモニタリングの場合、最大5つの領域が表示されます。

設定された閾値を超えると、イベントが発生し違反オブジェクトの領域が強調されます。

ピクセルカウンター

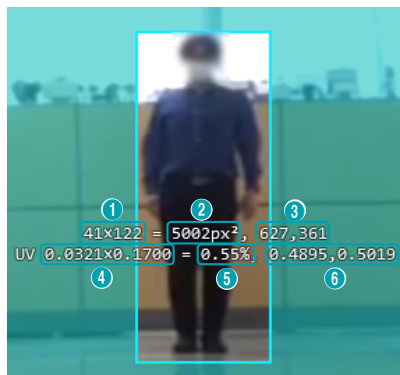
映像から選択した領域に該当するピクセル情報を表示します。サイズが一定のオブジェクトを利用して距離によるオブジェクトサイズのピクセル数を計算できます。特定のタイプのオブジェクトの領域を指定して該当するピクセルの密度、つまり単位長さあたりのピクセル数を測定してオブジェクトの認識に対する定量的な情報を提供します。ビューメニューで**ピクセルカウンター**を選択すると実行されます。



ピクセルカウンターを設定すると、下のような通知ポップアップを表示します。ピクセルカウンターの使用方法と素早い制御ショートカットキーを提供します。



ピクセルカウンターで提供する情報は以下のとおりです。



- ① 幅と高さのピクセル数
- ② 領域内の全ピクセル数
- ③ 領域左上のピクセル座標
- ④ ペインに対する領域幅、高さ比率 (UV座標)

⑤ ペインに対する領域幅比率

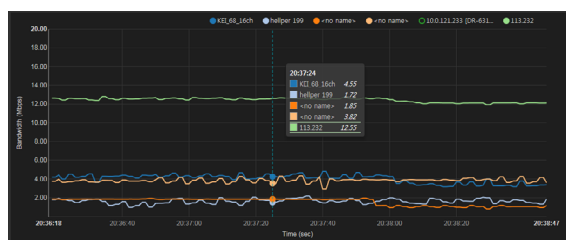
⑥ 領域左上のUV座標



UV座標は最小座標を0、最大座標を1と表現する座標です。左上を(0.0)、右下を(1.1)と示します。

ライブネットワークモニタ

各装置の帯域幅(ネットワーク伝送量)をリアルタイムで検知することができます。最大16個の装置までサポートされ、凡例の選択を通じて希望する装置だけを確認することができます。**ビューメニューでライブネットワークモニタ**を選択すると実行されます。



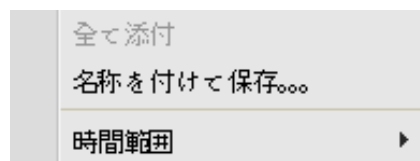
テキストインビューア

制御ツールバーで (テキストインビューア) ボタンをクリックすると、テキストインビューア画面が表示され、テキストインデータをリアルタイムで確認できます。

CAM1 テキストインビューア

CAM1				
14=====				
14 Candy	\$	0.25	6(s)	\$ 1.50
14 Pan cake	\$	3.15	10(s)	\$ 31.50
14=====				
14			total : \$	33.00
14Thank you--				
15=====				
15- 8) Sandwich		3.95	4	15.80
15-10) Pan cake		3.15	2	6.30
15- 2) Sprite		2.00	1	2.00
15- 1) Coke Light		2.45	7	17.15
15-14) Mint Gum		0.75	1	0.75
15- 6) Hotdog		3.50	2	7.00
15- 3) Fanta		2.20	10	22.00
15- 3) Fanta		2.20	5	11.00
15=====				
15			total : \$	82.00
15Thank you--				

テキストインビューア画面のタイトルバーをクリックすると、テキストインのポップアップメニューが表示されます。



- **全て添付:** それぞれのテキストインビューア画面を一つのパネルに集めます。
- **名前を付けて保存:** テキストインデータをテキストファイル(.txt)で保存します。
- **時間範囲:** テキストインイベント感知の際、該当テキストインデータの表示期間を設定します。テキストインデータはテキストインイベント発生後、設定した時間範囲内でテキストインビューア画面を通じて確認できます。



テキストインイベントが感知された場合のみ。

Googleマップ

制御ツールバーで  (Googleマップ)ボタンをクリックすると、Googleマップパネルを表示します。

☒ 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。



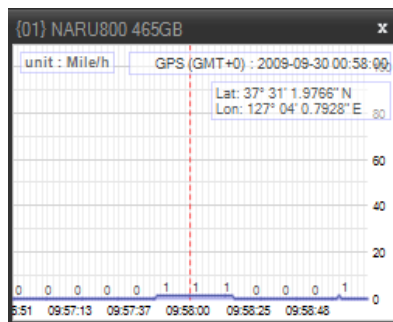
映像がGPS情報を持っている場合、Googleマップ上で、該当映像の自動車の位置 (📍)及び進行方向(➡)を表示します。**マップ**を表示、**衛星**を表示(地形表示する/しない)はGoogleマップから、支援する機能です。

☒ 車の位置及び進行方向を確認する際、該当時点の自動車が速度グレープパネルに連動して表示されます。

速度グラフ

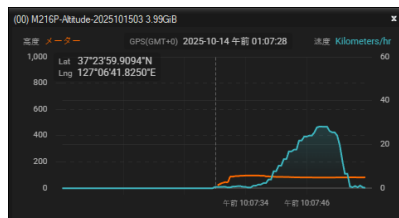
制御ツールバーで  (速度グラフ)ボタンをクリックすると、速度グラフパネルを表示します。

☒ 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。



映像がGPS情報を持っている場合、速度グラフ上で、該当映像の自動車スピードを表示します。車の速度がグラフの中央に表示されます。また、中央の赤い縦線は現在の位置を表します。

速度グラフパネルから、マウスの右ボタンをクリックする場合、グラフの形式、単位、GPS情報出力、高品質出力などが設定できます。



映像のGPS情報に高度データが含まれている場合、オレンジ色のラインが追加され、高度値を表示します。

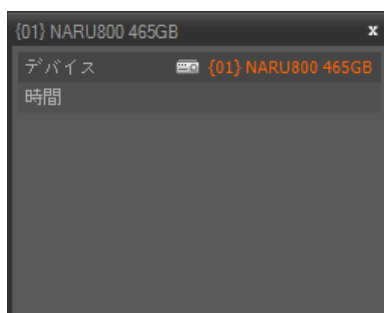
☒ 自動車速度を確認する際、該当時点の自動車位置及び進行方向がGoogleマップパネルに連動して表示されます。

自動車情報

制御ツールバーで (自動車情報) ボタンをクリックすると、自動車情報パネルを表示します。



本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。



映像が車の情報を持っている場合、該当映像の自動車情報を表示します。

ライブズームポップアップ

映像の関心領域(ROI)を別のポップアップで表示します。

監視メニューでライブズームポップアップを選択またはF9を押すと実行されます。

選択したペインと連携し、ポップアップの終了または別のカメラペインの選択時、前のカメラペインの状態が保存され、ポップアップの再指定時に復元されます。

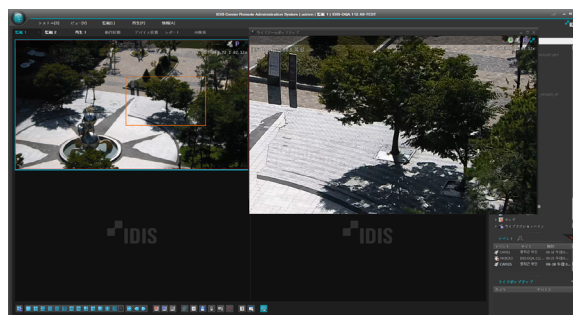
ズームイン・ズームアウト機能をサポートします。

魚眼カメラのデワープ機能(Client-Side Dewarping)をサポートします。魚眼カメラのデワープペインは、ズームポップアップが選択されている間、元の映像が表示されます。

● マウス操作

- マウスMボタン：ズームリセット(元の映像に切り替え)
- 元の映像でマウスポインタをドラッグ&リリース：ROIスポット実行

- マウスポインタのドラッグ：ROI移動
- マウスホイールスクロール：ズームイン/アウト制御
- マウスRボタンの上/下ドラッグ：魚眼映像デワープズームイン/アウト制御



マップの制御

制御ツールバー及び画面のメニューを利用してマップを制御することができます。

マップ制御ツールバー

マップを選択した後、マウスカーソルをマップ画面右下へ動かすと、制御ツールバーが表示されます。制御ツールバーを用いて選択したマップを制御することができます。マウスのカーソルを各ボタンの上に動かすと該当するボタンのツールチップが表示されます。



-   (以前のマップ、次のマップ): 現在マップにリンクされているマップに移動したかマップリスト

でマップを選択して現在のマップの画面にドラック&ドロップして他のマップへの接続が行われた場合、以前または次に接続されたマップに移動します。

- **AF (自動フォーカシング):** 指定したイベント発生するとマップでそのイベントが発生したデバイス領域を拡大して表示します。自動フォーカシングの設定に関する内容は

p. 50 マップ

部分を参照してください。

☒ 異なるデバイスでイベントが同時に発生した場合、そのデバイスがすべて見える範囲内でキャンバスを拡大します。異なるデバイスでイベントが連続して感知された場合、設定された時間が経ってから後で感知されたイベントに自動的にフォーカシングが移動します。

- **AF (フォーカシングイベント):** 自動フォーカシングを行うイベントを指定します。
- **実サイズ (実サイズ):** キャンバスの実際の大きさでマップを見せます。
- **拡大ファインダー:** PIP画面を表示したり非表示にします。PIP画面の四角は拡大されたエリアを表示します。自動に設定するとキャンバスが拡大された場合のみPIP画面を表示します。
- **拡大スライダー:** キャンバスの拡大倍率をを設定します。

拡大ファインダー設定

- **オフ**に設定された場合

マップ監視



イベントの発生



自動フォーカシング



- 自動またはオンに設定された場合

マップ監視



イベントの発生



自動フォーカシング



マップ画面のメニュー

マップ画面を選択した後、マウスの右ボタンをクリックすると、画面のメニューが表示されます。画面のメニューを用いて選択したマップを制御することができます。

以前～
次～
リスト
リロード
自動フォーカシング
フォーカシングイベント
フォーカシング期間
1倍サイズ (x1)
拡大ファインダー ▶
ズームイン ▶
静止画保存。。。
削除 ▶

- **以前へ、次へ、自動フォーカシング、1倍サイズ (x1)、拡大ファインダー、ズームイン:** 制御ツールの該当ボタンをクリックするのと同じように動作します。詳しい内容は、[p. 79 マップ制御ツール](#)の一部を参照してください。
- **マップリスト:** 以前または以後に接続されたマップのリストを表示します。リストでマップを選択するとそのマップに移動します。
- **リロード:** 現在のマップの接続を更新します。
- **フォーカシングイベント、フォーカシング期間:** 自動フォーカシングのフォーカシングイベントおよびフォーカシング期間を設定します。
- **停止画像:** 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。
- **削除:** 現在の接続を解除します。

ライブポップアップ

マップ監視時イベントが感知されたカメラのリアルタイム映像が監視できます。

- ☒ ライブポップアップリストにはIDIS centerプログラムで表示されたライブポップアップ画面のリストが表示されます。

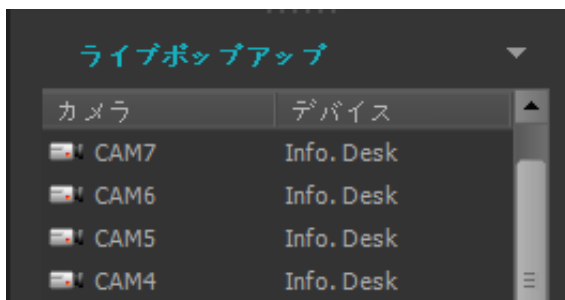
ポップアップ画面



画面を選択した後、マウスのカーソルを該当画面右下へ移動するとコントロールツールバーが表示されます。コントロールツールバーを利用して該当カメラをコントロールすることができます。マウスのカーソルを各ボタンの上にあてると該当ボタンのツールチップが表示されます。

ポップアップ画面でマウスを右クリックすると、ポップアップ画面のメニューが表示されます。メニューを利用してポップアップ画面設定を変更することや該当カメラをコントロールすることができます。カメラコントロールメニューの場合、監視画面メニューの機能と同一です。詳しい内容は、[p. 67 監視画面のメニュー](#)部分を参照してください。

ライブポップアップリスト



右上にある矢印ボタンをクリックすると、ライブポップアップメニューが表示されます。メニューを利用してポップアップ画面の設定を変更することができます。



- **レイアウト:** ポップアップ画面の画面分割を選択します。シングルポップアップ使用を選択すると、1つのポップアップのみ画面に表示されます。
- **モニター:** デュアルモニターを使用する場合、ポップアップ画面を出力するモニターを選択します。
- **ライブポップアップ無視:** 時間を選択すれば、マップエディターでイベント動作中のライブポップアップの持続時間と関係なく、選択した時間中にはライブポップアップが動作しません。
- **タイムアウト解除:** 設定されたポップアップ画面の持続時間と関係なく、ポップアップ画面を手動で閉じるときに選択します。
- **すべて削除:** すべてのリストを削除します。

インターコム

インターコムデバイスを接続して映像監視と通話を行い、出入口の開閉を制御することができます。

通話要求受信時の動作設定

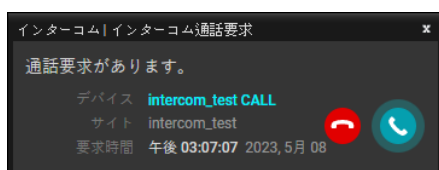
インターコム通話を受信した場合、イベントを感知した場合、**リアルタイムイベント > インターコム > 通話要求受信**の設定によってポップアップ画面が表示されます。



- **使用しない**：通話要求受信時の動作を指定しません。
- **通知**：インターコム通知ポップアップを表示します。
- **インターコムポップアップ**：インターコムポップアップを表示します。

インターコム通知ポップアップ

通話要求を受信するとポップアップが表示されます。デバイス名、地点（グループ）名、通話要求時間が表示されます。



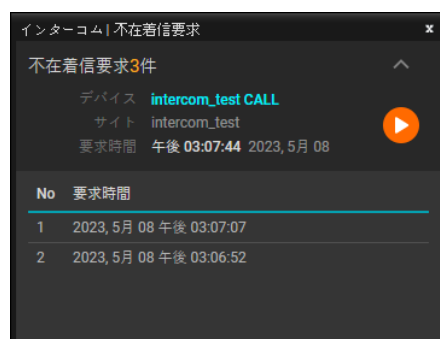
- **通話応答ボタンをクリック**：通知ポップアップを終了し、インターコム通話ポップアップが表示されます。
- **通話拒否ボタンをマウスの右ボタンクリック**：インターコム通知ポップアップを終了します。
- **通話拒否ボタンをマウスの中央/右ボタンクリック**：インターコム通知ポップアップを終了せずに通話要求を拒否します。



- 以下のような場合、ポップアップ自動終了機能が動作します。
 - 通話要求を受けた状態で通話要求時間をオーバーした場合
 - 通話要求を受けた状態で通話要求キャンセルを受信した場合、10秒後
 - VOIP通話占有による通話要求終了を受信した場合、1分後
- 自動終了カウントが開始された場合、ポップアップをクリックするとカウントがキャンセルされます。

インターコム不在中の通話要求通知ポップアップ

不在中の通話要求イベントを受信するとポップアップが表示されます。デバイス名、地点（グループ）名、通話要求時間が表示されます。



- **録画映像再生ボタン（リストの再生ボタンを含む）をクリック**：不在中の通話要求時間の録画映像を再生します。
- **録画映像再生ボタン/再生リスト項目をドラッグしてカメラペインにドロップ**：不在中の通話要求時間の録画映像を再生します。
- **一般/拡張モード切替ボタンをクリック**：不在中の通話要求履歴が複数ある場合、モードを切り替えて、不在中の通話要求履歴リストを見ることができます。

インターコム通話ポップアップ

監視タブに接続しているインターコムカメラペインのホバーツールバー通話許可ボタン、あるいはコンテキストメニューの通話項目から順方向通話モードのポップアップを実行することができます。

<通話前>



<通話中>



①**デバイス名**：デバイス名が表示されます。

②**地点/グループ名**：地点あるいはグループの名前が表示されます。

③**ボリューム調整コントロール**：オーディオ入出力デバイスのシステムボリュームおよびミュートを調節することができます。

④**ロック解除ボタン**：長押しでクリックして接続されている出入口のロックを解除します。

⑤**通話拒否ボタン**

- マウス左ボタンをクリック：通話を中断し、ポップアップを終了します。
- マウス右/中央ボタンをクリック：通話を中断します。

⑥**通話応答/通話ボタン**：インターコム通話要求に応答したり、通話を要求したりします。

⑦**通話時間**：通話時の経過した通話時間が表示されます。

⑧**通話終了ボタン**

- マウス左ボタンをクリック：通話を中断し、ポップアップを終了します。
- マウス右/中央ボタンをクリック：通話を中断します。

● **終了/拒否ボタン**：インターコム通話を終了または拒否し、ポップアップを終了します。（マウスの右/中央ボタンをクリックすると、ポップアップが終了しません。）

● **ロック解除ボタン**：長押しでクリックして接続されている出入口のロックを解除します。



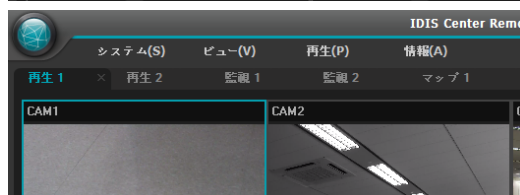
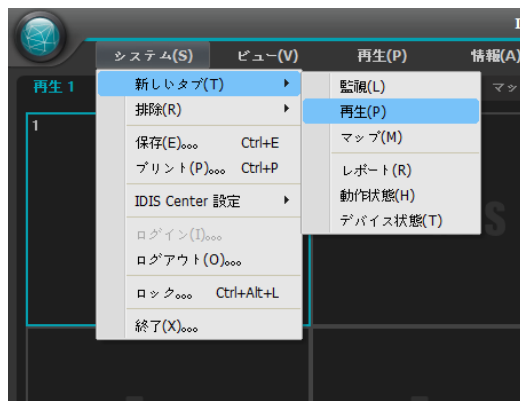
• 次のようにポップアップの自動終了機能が動作します。

- 通話要求を受けた状態で通話要求時間をオーバーした場合、10秒後
- 通話要求を受けた状態で通話要求キャンセルを受信した場合、10秒後
- VOIP通話占有による通話要求終了を受信した場合、1分後
- インターコム通話機能占有時に、5分周期で表示されるタイムアウト会話ボックスの確認ボタンをクリックしなかった場合、10秒後
- 自動終了カウントが開始された場合、ポップアップをクリックするとカウントがキャンセルされます。

録画映像再生

録画映像を検索して再生したりUSB保存デバイスに動画ファイルで保存することができます。

- 1 デバイス及びIDIS centerシステムに録画された映像再生及び動画で保存は再生パネル(最大4つ)でサポートします。パネルタブに再生タブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**再生**をクリックしてタブを追加します。



- 2 パネルタブで**再生**タブをクリックします。

- 3 **サイト**リストで接続するサイトを選択した後、再生画面にマウスでドラッグ&ドロップします。

- 4 各カメラの録画映像が画面に表示されます。



- 現在再生しているカメラ画面を選択した後、マウスでドラッグ&ドロップすると、再生を停止せず該当カメラ画面を再生画面の希望する位置に移動することができます。
- レイアウトが登録されている場合、レイアウトリストで希望するレイアウトを選択した後、再生画面にドラッグ&ドロップして該当するレイアウトに映像を再生することができます。
- 低仕様パソコンで同時に複数の高解像映像をライブ監視又は再生するとIDIS centerシステムの性能が落ちることがあります。

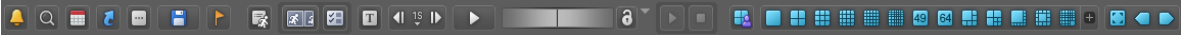
- 5 パネルのツールバー、タイムテーブル、制御ツールバー及び画面のメニューを用いて録画映像を再生します。

パネルのツールバー

パネルの下段にあるツールバーを用いて録画映像を検索して該当する映像を再生することができます。

☒

連結されたデバイスのモデル及びバージョンによってツールバーが異なることがあり、一部の機能がサポートされない場合もあります。



- / **(イベント検索/タイムラプス検索)**: イベント検索とタイムラプス検索の検索モードを変更します。
- **(検索条件)**: イベント検索のための検索条件を設定します。検索条件に関する詳しい内容は、DVRの使用マニュアルを参照してください。
- **(カレンダー)**: 特定日の映像を検索します。日付を選択すると、タイムテーブルに該当日の録画データが表示されます。カレンダーに録画映像がある日は活性化されて表示されます。
- **(移動)**: 特定時点の映像を検索します。
 - **移動**: 録画映像の時間を入力し、該当する時間の映像に移動します。**隣接のフレーム検索**を選択すると、該当の時間に映像がない場合、一番近い時間の映像に移動します。
 - **最初へ移動**: タイムテーブルに表示された録画データの中で最初に録画された映像に移動します。
 - **最後へ移動**: タイムテーブルに表示された録画データの中で最後に録画された映像に移動します。
- **(その他メニュー)**: メニューが表示されます。
 - **データソース**: 検索する録画画像の位置を選択します。

ローカル検索	DVRのメイン保存装置の録画画像を検索します。
アーカイブ検索	DVRのアーカイブ保存装置の録画画像を検索します。
外付け検索	DVRにつながっている他のシステムで録画された保存デバイスの録画映像を検索します。 ☒ 仕様及び、バージョンにより、使用できない場合があります。

- **上書き保護**: デバイスで上書き保護が設定された録画映像を確認することができます。
- **ブックマーク追加**: 録画映像のブックマークが可能です。
- **遠隔地点パネル**: フローティングされたパネル又は全体画面でサイトリストを表示、または非表示することができます。本機能は一部パネルのみ対応します。
- **セグメント選択**: DVRの時間が過去に変更され、時間重複現象により、同一時間帯に一つ以上の映像が存在する場合、希望の区間を選択します。

☒

 時間単位のタイムテーブルを提供するDVRの場合にのみ対応。

- **(動画の保存)**: 録画映像を専用ビューアーファイル(.exe)またはAVIファイル(.avi)で保存します。
 - **静止画保存**: 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。
 - **イメージを保存/出力**: 現在の画面に表示されたイメージを保存または印刷します。
 - **パノラマスクリーン保存**: 全てのパネルにあるイメージを保存します。
- **(ブックマーク)**: 録画映像のブックマークが可能です。詳しい内容は

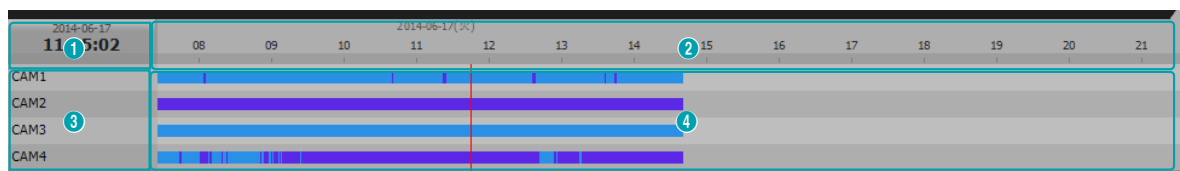
p. 90

ブックマーク(Bookmark)部分を参照ください。

- **(再生中のイベント):** 録画映像の再生時にイベント録画映像があると、該当イベントのリストを表示します。イベントリストでイベントをダブルクリックすると、該当イベントの録画映像が表示されます。
- **(サムネイル検索):** イベントベース録画(イベント及びプリイベント)中に録画された映像の停止映像を再生パネルに表示します。
- **(フィルター設定):** 検索フィルターを設定します。イベント検索、タイムラプス検索、メタフィルタリング検索に対応します。
- **(テキスト-インパネル):** テキスト-インパネルを表示します。テキスト-インパネルはテキスト-インイベント録画されたデータを表示します。
- **(ステップ再生):** フレームまたは時間単位で前または次の映像に移動します。◀ および ▶ ボタンの間にある矢印をクリックして映像の移動間隔を設定することができます。
- **(高速逆再生/高速再生):** 録画映像を高速で逆再生または再生します。
- **(停止/再生):** 選択したデバイスの録画映像再生を中止または開始します。
- **(ジョグシャトル):** 再生方法および速度を調整することができます。ジョグシャトルの縦線は現在の再生方向及び速度を示します。縦線が中央から左にあると、映像を逆再生し、右側にあると正再生します。中央から遠いほど再生速度が速くなります。縦線をクリックしてジョグシャトルの希望する位置にマウスでドラッグした後、マウスのボタンをそのまま押していると、該当する速度で映像を再生します。マウスボタンから手を離すと縦線が中央に戻り、映像再生が止まります。🔒(ロック)ボタンをクリックした後、縦線をドラッグ&ドロップすると、移動した位置に縦線を固定させます。
- **(ジョグシャトル):** 再生速度を調整することができます。ジョグシャトルの縦線は現在の再生速度を示します。
- **(再生 (タブ)/一時停止 (タブ)):** 現在の画面に表示されたすべての録画映像再生を中止または開始します。
- **(ユーザーのレイアウト登録):** 現在の画面の分割を保存します。
- **(画面分割):** 画面分割を変更します。+ ボタンをクリックしてより多様な画面分割を選択することができます。◀または▶ボタンをクリックすると前または次のカメラグループに移動します。

タイムテーブル/イベントリスト

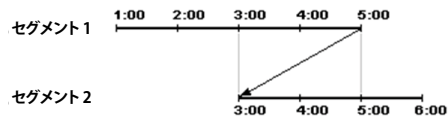
タイムラプス検索モードの場合、画面の下段にあるタイムテーブルはカメラ別の録画情報を表示します。タイムテーブルの右上段にある ▲ ボタンをクリックすると、画面にあるすべてのカメラの録画情報を表示し ▼ ボタンをクリックすると再生画面から選択したカメラの録画情報のみを表示します。



接続されたデバイスのモデルによって、タイムテーブルが異なることがあります。

①	現在の再生日/ 時間	タイムテーブルで映像の現在の再生時点を表示します。マウスの左ボタンをクリックして、日付時刻ウィンドウを開くことができます。										
②	録画期間	録画映像の日付及び時間区間を表示します。任意の位置をクリックしたまま左または右にドラッグするか、キーボードのShiftキーを押したままマウスホイールを動かすと、前または後の日付および時刻に移動します。キーボードのCtrlキーを押したまま、マウスホイールを動かすと時間区間を拡大して表示することができます。										
③	カメラ名	カメラカメラの名前を表示します。										
④	録画データ	録画情報を分単位または時間単位で表示します。 ● 秒単位、分単位タイムテーブル(一部のDVRモデルを除いた全てのデバイス) - 赤色の縦線: タイムテーブルで映像の現在の再生時点を表示します。マウスで望みの時間をクリックすると、該当時間帯の最初の録画映像が表示されます。 - 黄色の区分線: 時間重複現象が発生した場合、セグメントを区分します。その場合、タイムテーブルで右側に表示されるほど最新のデータです。再生パネルの  (カレンダー) ボタンをクリックすると、望みのセグメントにすぐ移動できます。 - バーの色: 録画モードを表示します。 <table><tr><td>青色 </td><td>タイムラプス録画</td></tr><tr><td>紫色 </td><td>イベント録画</td></tr><tr><td>黄色 </td><td>プリイベント録画</td></tr><tr><td>赤色 </td><td>緊急録画</td></tr><tr><td>緑色 </td><td>デバイス接続の一時中断による非正常録画</td></tr></table> - タイムテーブルの拡大によって1秒～1分単位で録画映像を移動します。 ● 時間単位タイムテーブル(一部のDVRモデル) - 黄色のバー: タイムテーブルで映像の現在の再生時点を表示しします。 - ピンク色のバー/灰色のバー: 時間重複現象が発生した場合、現在の画面に出力された映像のセグメントはピンク色のバーで、現在の画面に出力されていない映像のセグメントは灰色のバーで表示されます。灰色のバーで表示されたセグメントの映像は再生できません。再生パネルの  (その他メニュー) ボタンをクリックして画面に出力するセグメントを変更できます。	青色 	タイムラプス録画	紫色 	イベント録画	黄色 	プリイベント録画	赤色 	緊急録画	緑色 	デバイス接続の一時中断による非正常録画
青色 	タイムラプス録画											
紫色 	イベント録画											
黄色 	プリイベント録画											
赤色 	緊急録画											
緑色 	デバイス接続の一時中断による非正常録画											

☒ IDIS centerシステムまたはデバイスの時間が過去に変更されて録画された場合、同一の時間帯に一つ以上の録画映像が存在する可能性があります(時間重複現象)。この場合、重なった時間の録画映像はセグメントを区分して再生する必要があります。



例えば、1時から5時までの録画映像が存在し、使用者がシステム時間を5時から3時に変更した後に6時まで録画を行うと3時から5時までの録画映像が二つ存在することになります。この場合に3時から5時までの時間帯には二つのセグメントは発生します。

イベントリスト

イベント検索モードの場合、画面下段にイベントリストが表示されます。SD(SDHC)メモリーカード検索時にはSD(SDHC)メモリーカードの録画機能が設定されている間に発生したイベントのみが検索されます。

イベント	イベント発生	デバイス	日時/時間
モーション検知	CAM1	CAM1	2015-12-01 16:22:22
モーション検知	CAM1	CAM1	2015-12-01 16:22:22
モーション検知	CAM2	CAM2	2015-12-01 16:22:23
モーション検知	CAM1	CAM1	2015-12-01 16:22:23
モーション検知	CAM3	CAM3	2015-12-01 16:22:22

イベント録画映像がある場合、リストでイベントをクリックすると、画面に該当イベントの録画映像が表示されます。イベントリスト右上の 🔍 ボタンをクリックすると次の結果が表示されます。 ⚙ ボタンをクリックして時間を設定すると、イベント選択時に、イベント時間より設定された時間の分だけ以前の録画映像に移動します。

制御ツールバー

カメラ画面を選択した後、マウスカーソルを該当カメラ画面右下へ動かすと、制御ツールバーが表示されます。マウスのカーソルを各ボタンの上に動かすと、該当するボタンのツールチップが表示されます。



- **(魚眼映像の歪み補正):** 魚眼カメラの映像の歪みを補正します。
- **(オブジェクト/モーション検索):** デバイスの録画映像またはIDIS centerシステムの緊急録画映像で、オブジェクトまたはモーションの変化が検索できます。
- **(映像拡大):** 現在の映像を拡大します。

- **(色調整):** 現在の映像の明暗、コントラスト、彩度、色彩を調整します。 🌈 ボタンをクリックすると、変更内容をすべてキャンセルして元のイメージに復元します。



本設定はIDIS centerプログラムの映像のみに適用され、デバイスの映像には適用されません。

- **(イメージ効果):** イメージに効果を与えます。
- **(オーディオ再生):** オーディオが録音された場合、映像再生時に録音されたオーディオと一緒に再生されます。



1×1分割画面でのみ機能します。

- **(Googleマップ):** 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。
- **(速度グラフ):** 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。
- **(自動車情報):** 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。

再生画面のメニュー

カメラ画面を選択した後、マウスの右ボタンをクリックすると、画面のメニューが表示されます。



- **魚眼映像の歪み補正:** 魚眼カメラの映像の歪みを補正します。
- **映像拡大:** 制御ツールバーの該当ボタンをクリックするのと同じように動作します。
- **画像処理:** イメージ効果の処理ができます。
- **物体/モーション検索:** デバイスの録画映像またはIDIS centerシステムの緊急録画映像で、オブジェクトまたはモーションの変化が検索できます。

- **映像分析表示:** 映像分析データを再生映像の上に表示します。
 - **画面レート:** 映像の出力レートを設定します。
 - **画面に合わせる:** 画面比率と関係なくカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
 - **画面に合わせる(比率維持):** 画面比率を維持したままカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
- ☒ カメラ画面のサイズによって映像の上下左右が切れることがあります。映像拡大機能の動作時、該当カメラ画面については本画面レートに対応せず、代わりに**映像比率に合わせる**が適用されます。
- **映像レートにあわせる:** 映像のオリジナルレートにカメラ画面のエリアをあわせて映像を出力します。
 - **半分サイズ(×0.5)~4倍サイズ(×4):** 映像のオリジナルサイズを基準にして該当メニューで指定したサイズでカメラ画面に映像を出力します。例えば、実際のサイズ(×1)を選ぶと、オリジナル映像の実際のサイズで出力します。
- ☒ カメラの画面が指定したサイズで映像を出力できるだけのスペースが確保されていないと、メニューが活性化しません。
- **停止画像:** 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。
 - **ストリーム情報:** 選択したカメラのストリーム情報を見ることができます。
 - **サムネイル検索:** イベントベース録画(イベント及びプリイベント)中に録画された映像の停止映像を再生パネルに表示します。
 - **削除:** 接続を解除します。

ブックマーク(Bookmark)

カメラ画面を選択した後、パネルツールバーから  (ブックマーク) ボタンをクリックすると、該当録画映像をブックマークすることができます。



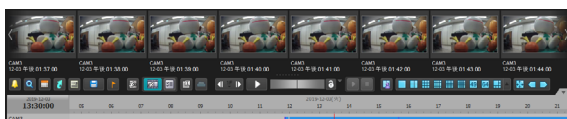
1  **(ブックマーク追加)**ボタンをクリックします。

2 ブックマーク名及び説明を入力します。**追加**ボタンをクリックすると該当録画映像がブックマークされます。

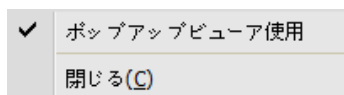
3 ブックマークリストで、ブックマークを選択すると下の欄に該当ブックマーク情報が表示されます。 **(録画データ再生)**ボタンをクリックすると再生画面に該当ブックマーク映像が表示されます。 **(ブックマーク削除)**ボタンをクリックすると該当ブックマークを削除します。

サムネイル検索

パネルツールバーで  **(サムネイル検索)**ボタンをクリックすると、検索フィルタに対応する録画された映像の停止映像を再生パネルに表示します。矢印ボタンまたはマウスホイールのスクロールを利用して、前/次のスチールイメージに移動することができます。



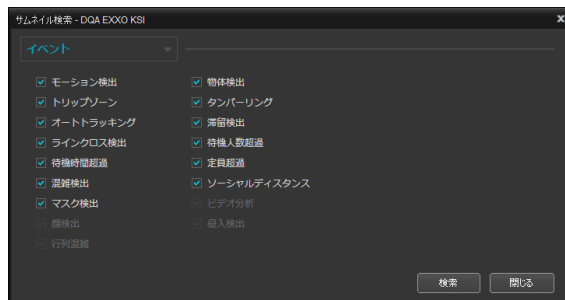
マウスのカーソルを停止映像上に置くと、ポップアップビューア画面が該当停止映像の上段に表示されます。タイムラプス検索モードでは、選択されたイメージをもう一度クリックすると、サムネイルの時間間隔が短縮されます。時間の間隔が1秒である場合には、時間の間隔が選択できるポップアップメニューを表示します。



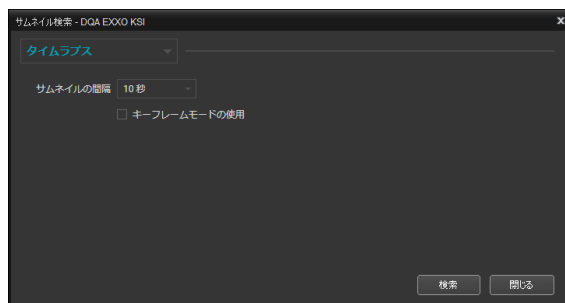
● **ポップアップビューア使用:** ポップアップビューア画面に対応します。

フィルター設定

 **(フィルター設定)**ボタンを押して検索フィルターを設定します。イベント検索、タイムラプス検索、メタフィルタリング検索に対応します。



● **イベント検索:** 一つ以上のイベントを選択して当該イベントが発生した時点の映像イメージを表示します。



● **タイムラプス検索:** 設定した時間の間隔(4時間、1時間、10分、1分、30秒、10秒、1秒)で当該映像のイメージを表示します。**Use KeyFrame Mode** (キーフレームモード有効)を選択すると、キーフレーム映像のイメージのみリストに表示されます。



● **メタフィルタリング検索:** メタデータがある映像で特定条件のデータが含まれている映像のイメージを表示します。メタデータはオブジェクトタイプ、精度、個数、カラー、方向を設定することができ、“AND”や“OR”で複数の条件を組み合わせ検索します。

オブジェクト/モーション検索

制御ツールバーで  (オブジェクト/モーション検索) ボタンをクリックすると、下段にオブジェクト/モーション検索パネルが表示され、デバイスの録画映像またはIDIS centerシステムの緊急録画映像でオブジェクトまたはモーションの変化が検索できます。



- **(検索領域指定):** マウスドラッグを利用して、カメラ画面にオブジェクトまたはモーションの変化を検索する領域を設定します。
- **(検索領域削除):** マウスドラッグを利用して、カメラ画面に設定された検索領域を削除します。
- **(参照イメージ設定):** カメラ画面に現在表示されたイメージを、オブジェクトの変化を感知するための参照イメージに設定します。
- **(参照イメージ表示):** 参照イメージをPIP画面に表示したり隠します。



参照イメージ設定および確認は、オブジェクト検索のみ該当します。



- **クエリー方法:** クエリー方法を選択します。
 - **モーション検索:** 連続した2つの録画映像を比較して検索領域で変化が発生した場合その映像を検索します(例: モーションがあった場合)。

- **オブジェクト検索:** 参照イメージと比較して検索領域で変化が発生し設定時間変化が持続される場合その映像を検索します(例: 物体がなくなった場合)。

- **感度:** 変化感知の感度を設定します。値が大きい方がより敏感に感知します。
- **検索ブロック数:** 変化感知最小ブロックを選択します。設定されたブロック数より少ない変化は、変化と見なしません。



モーション検索のみ該当します。

- **参照映像に対する変化率:** 変化感知の最小比率を選択します。設定された比率より少ない変化は、変化と見なしません。



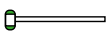
オブジェクト検索のみ該当します。

- **有効時間:** 変化感知時、変化が発生したと感知するまでの時間を設定します。変化が感知されてから指定された時間持続しないと変化と見なしません。

映像拡大

制御ツールバーで  (映像拡大) ボタンをクリックすると、現在の映像を拡大することができます。



-  (スライダー): 拡大倍率を調整します。マウスホイールを用いて、拡大倍率を調整することもできます。
-  (実際のサイズを表示): 実際サイズ拡大モードに入ります。実際サイズ拡大モードではカメラ画面のサイズまたは映像の拡大レートとは関係なく映像の実際のサイズを基準にして映像が拡大されます。
-  (拡大ファインダ): PIP画面を表示したり非表示にします。

☒ PIP画面の四角は拡大されたエリアを表示します。

イメージ効果

制御ツールバーで  (イメージ効果) ボタンをクリックすると、イメージ効果の制御ツールバーが表示され、各ボタンを用いてイメージに効果を与えることができます。

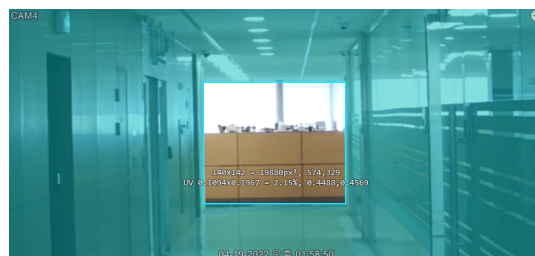
☒ この設定は録画映像には適用されません。



-  (柔軟): 映像をソフトにします。
-  (鮮明): 映像を鮮明にします。
-  (高域増強): 明度及び鮮明度を増加させます。
-  (ヒストグラムの平準化): 明度を均等にします。
-  (境界線の検出): 映像の輪郭を抽出します。
-  (原本): 変更事項を全てキャンセルして、元のイメージに戻します。

ピクセルカウンター

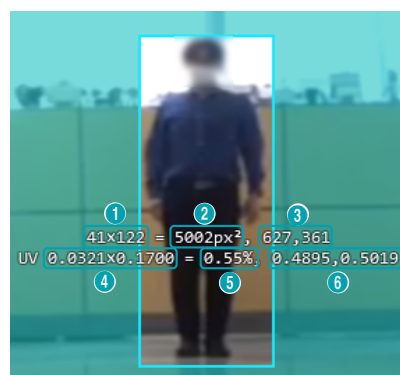
映像から選択した領域に該当するピクセル情報を表示します。サイズが一定のオブジェクトを利用して距離によるオブジェクトサイズのピクセル数を計算できます。特定のタイプのオブジェクトの領域を指定して該当するピクセルの密度、つまり単位長さあたりのピクセル数を測定してオブジェクトの認識に対する定量的な情報を提供します。ビューメニューで**ピクセルカウンター**を選択すると実行されます。



☒ ピクセルカウンターを設定すると、下のような通知ポップアップを表示します。ピクセルカウンターの使用方法と素早い制御ショートカットキーを提供します。



☒ ピクセルカウンターで提供する情報は以下のとおりです。



- ① 幅と高さのピクセル数
- ② 領域内の全ピクセル数
- ③ 領域左上のピクセル座標
- ④ ペインに対する領域幅、高さ比率 (UV座標)

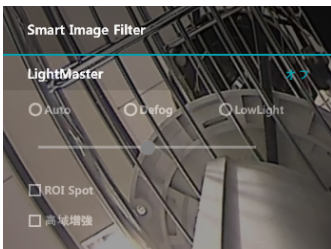
⑤ ペインに対する領域幅比率

⑥ 領域左上のUV座標

- ☒ UV座標は最小座標を0、最大座標を1と表現する座標です。左上を (0.0)、右下を (1.1) と示します。

スマートイメージフィルタ

録画映像の左下から  (スマートイメージフィルタ) ボタンをクリックすると、画像の状態や目的に合わせて画像にフィルタを適用することができます。

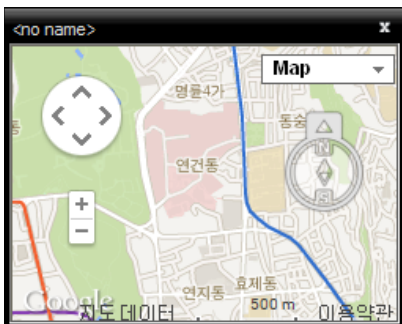


- 自動、霧除去、暗い照明フィルタを適用して、値を設定します。
- **エリア指定:** 画面の特定の領域のみをフィルタを適用します。
- **高域増強:** 高域増強フィルタを適用します。

Googleマップ

制御ツールバーで  (Googleマップ) ボタンをクリックすると、Googleマップパネルを表示します。

- ☒ 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。



映像がGPS情報を持っている場合、Googleマップ上で、該当映像の自動車の位置(📍)、進行方向(👉)及び移動経路(赤線 - “HDP”地点のデバイスのみ該当)が検索できます。“マップ”を表示、“衛星”を表示(“地形”表示する/しない)はGoogleマップから、支援する機能です。

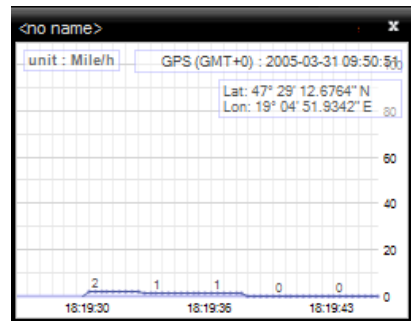
Googleマップ上で、自動車の移動経路(赤線)をクリックするか、自動車位置(📍)アイコンをクリックした後、マウスでドラック&ドロップすると該当位置の録画映像を画面に見せます(“HDP”地点のデバイスのみ対応)。

- ☒ 車の位置及び進行方向を確認する際、該当時点の自動車が速度グレープパネルに連動して表示されません。

速度グラフ

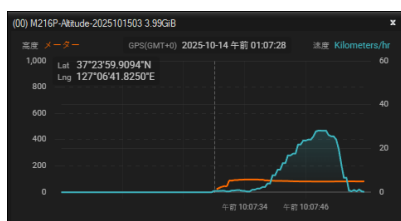
制御ツールバーで  (Googleマップ) ボタンをクリックすると、Googleマップパネルを表示します。

- ☒ 本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。



映像がGPS情報を持っている場合、Googleマップ上で、該当映像の自動車の位置、進行方向及び移動経路(赤線-HDP地点のデバイスのみ該当)が検索できます。**マップ**を表示、**衛星**を表示(地形表示する/しない)はGoogleマップから、支援する機能です。

Googleマップ上で、自動車の移動経路(赤線)をクリックするか、自動車位置アイコンをクリックした後、マウスでドラック&ドロップすると該当位置の録画映像が画面に表示されます(HDP地点のデバイスのみ対応)。



映像のGPS情報に高度データが含まれている場合、オレンジ色のラインが追加され、高度値を表示します。



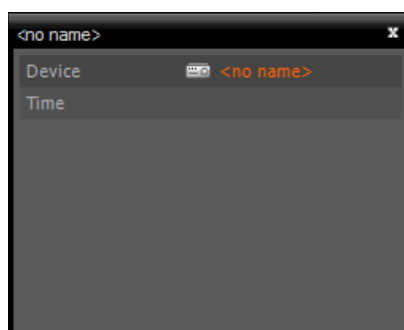
自動車速度を確認する際、該当時点の自動車位置及び進行方向がGoogleマップパネルに連動して表示されます。

自動車情報

制御ツールバーで  (自動車情報)ボタンをクリックすると、自動車情報パネルを表示します。



本機能は、車載専用のDVR/NVRのみ対応します。



映像が車の情報を持っている場合、該当映像の自動車情報を表示します。

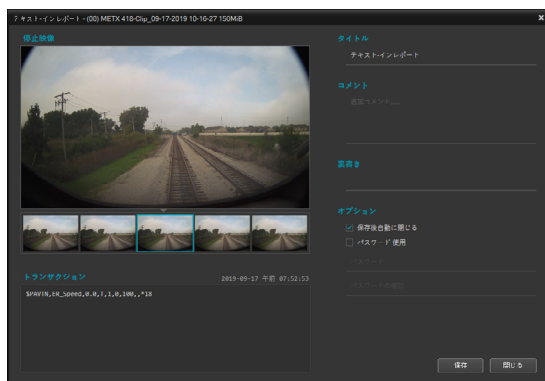
テキストインのレポート

テキストインの検索結果をレポートタイプのPDFファイルに保存します。再生パネル下部のツールバーにある **Q**(検索)をクリックして、ポップアップウィンドウから**テキストイン**を選択します。

イベント	イベント発生	トランザクション	日時/時間
テキストイン デバ...	Text-In 1	0202 Item Unit price Qty ...	2019-03-29 18:30:45
テキストイン デバ...	Text-In 1	0101 Item Unit price Qty ...	2019-03-29 18:30:44
テキストイン デバ...	Text-In 1	1616 Item Unit price Qty ...	2019-03-29 18:30:43
テキストイン デバ...	Text-In 1	1515 Item Unit price Qty ...	2019-03-29 18:30:42

Q(検索条件)でテキストインを検索すると、上記のようにイベント検索モードに切り替わります。検索が完了されると、**R**(テキストインのレポート)をクリックしたり再生タブのテキストインデータがある録画映像をダブルクリックして1x1レイアウトに拡大します。マウス右側ボタンをクリックして**テキストインレポート保存...**をクリックすると、下記のポップアップが表示されます。

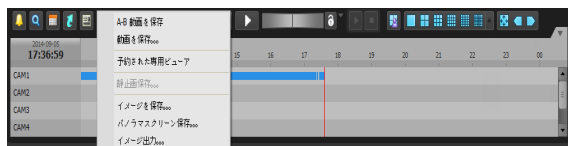
テキストインの情報を作成して**保存**を押すと、テキストインのレポートがPDFファイルに保存されます。



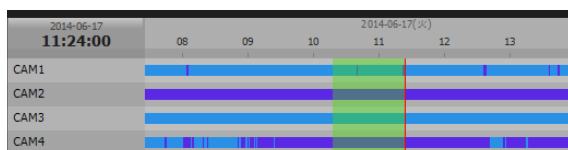
- スナップショット：レポートに含むイメージを選択します。テキストインイベントの時点から-2秒～+2秒の区間、すなわち12枚の画像の中から1枚を選択します。リスト下部の横スクロール操作で左右に移動でき、マウスホイールでもコントロールできます。
- トランザクション：レポートに入るテキストインのデータを表示します。
- タイトル、コメント、裏書き：レポートのタイトル、コメント、フッターを入力します。
- 保存後自動に閉じる：保存完了と同時にテキストインのレポートポップアップが閉じられます。
- パスワード使用：入力したパスワードを含み、テキストインのレポートをPDFファイルに保存します。

録画映像を動画で保存

録画映像をUSB保存デバイスに動画ファイルで保存することができます。再生パネルの下段にあるツールバーで  (保存) ボタンをクリックすると動画保存メニューが表示されます。



- **A-B動画を保存:** 動画で保存する映像の区間をタイムテーブルを用いて設定します。保存メニューで、**A-B動画を保存**を選択した後、タイムテーブルで保存する映像の開始点と終了点をクリックして、ゾーンを指定します。**動画を保存**画面が表示されたら、該当区間の映像を専用のビューアーファイル(.exe)またはAVIファイル(.avi)で保存することができます。



- **動画を保存:** 動画で保存する映像の区間を直接入力して設定します。保存メニューで、**動画を保存**を選択します。**動画を保存**画面が表示されたら、該当する区間の映像を専用ビューアーファイル(.exe)またはAVIファイル(.avi)で保存することができます。
- **テキストインデータ保存:** 保存するテキストインデータのセクションを直接入力して設定します。テキストインデータをテキストファイル(.txt) に保存します。
- **予約された専用ビューア:** 予約された動画保存状態をリアルタイムで確認することができます。予約リストから**サイト**を選択した後、**即時開始**、**削除**ボタンをクリックすると、その機能を使用することができます。また、**リロード**ボタンをクリックし、予約された動画保存状態をリロードすることができます。
- **静止画保存:** 画面に出力された現在の映像を実際のサイズのイメージファイルで保存します。

- **イメージを保存/イメージ出力:** 現在の画面に表示されたイメージを保存または印刷します。
- **パノラマスクリーン保存:** 全てのパネルにあるイメージを保存します。

専用のビューアーファイルで保存

録画映像を専用ビューアーファイル(.exe)で保存します。



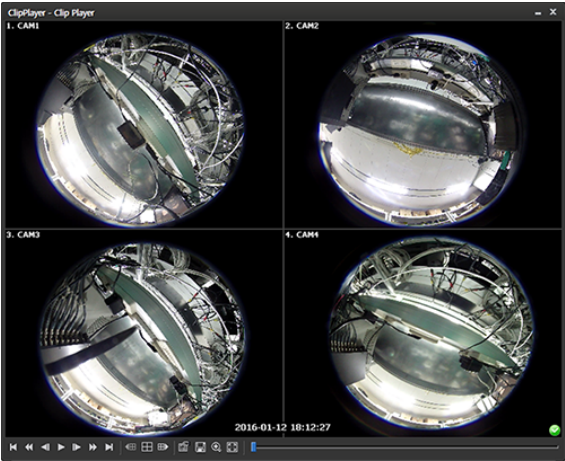
- **開始時刻、終了時刻:** 動画で保存する映像の日付及び時間を入力します。
 - 最初の映像オプションを選択すると、一番最初に録画された映像の日付及び時間に設定します。
 - 最後の映像オプションを選択すると、一番最後に録画された映像の日付及び時間に設定します。
 - 1分、3分、10分、30分または1時間ボタンをクリックすると、タイムテーブルで現在選択された時間を基準に該当する間隔の分、時間をスタート時刻及び終了時刻に増減します。
- **専用ビューアー、AVI:** 専用ビューアーを選択します。
- **分割ファイルサイズ:** 録画映像ファイルが設定した分割ファイルサイズを超えると、ファイルを分割して保存します。

- **パスワード保存:** 動画を再生するためのパスワードを設定します。パスワードを設定すると再生プログラムを実行する時、パスワード入力を要求します。
 - **キーフレームのみ保存:** 設定された周期にしたがってキーフレームのみ保存します。
 - **テキストインデータ/ANPR/VAメタデータ/イベント含む:** その録画映像にそれぞれのデータがある場合、そのデータを映像と一緒に保存します。
 - **透かしを含める:** 指定したウォーターマーク（テキストあるいはテキストパターン）をビデオと一緒に保存します。
 - **プレーヤー未包含:** セルフプレーヤープログラムを除いて録画映像のみ保存します。
- ☒
- この場合、ファイルサイズ及び保存時間が減少しますが保存されたファイルを再生するためにはIDIS centerソフトウェアのプログラムが設置されたフォルダ(¥Client¥selfplayer)で提供されるセルフプレーヤープログラム(ClipPlayer.exe)を実行する必要があります。
 - デバイスの仕様及びバージョンによっては該当機能は支援されない場合があります。
- **オーディオデータを除く:** オーディオデータを除いて映像を保存します。
 - **予約:** 動画保存機能を予約することができます。予約時間を設定すると、設定された時刻に動画保存が実行されます。
 - **クリップ測定使用:** クリップサイズを事前に測定して容量を確認してください。

- ☒
- 保存中である録画映像の容量がデバイスに応じて2GBまたは4GBに達するとファイルを分割して保存し続けるか確認するメッセージを表示します。
 - 保存中にネットワーク障害や接続解除が発生すると、予約した専用ビューアーにリストで表示されます。ネットワークが正常に復旧すると、保存が完了した時点から再開を試みます。
 - 保存中に保存をしばらく中止するには、**中止**ボタンを押して**予約した専用ビューアーに追加**を選択した後、**はい**をクリックします。ビデオ保存ファイルは、予約した専用ビューアーリストに表示され、ポップアップメニューの**開始**を押して再開を試みます。

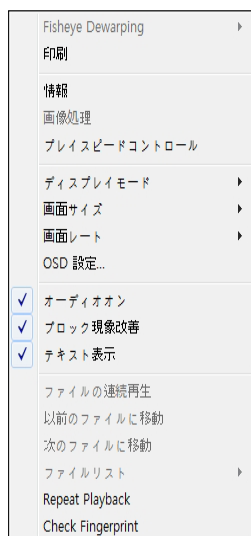
専用ビューアーファイルの再生

専用ビューアーファイルは、ファイル自体が再生プログラム(クリッププレーヤー)を含んでいるため、再生のための別のソフトウェアをインストールする必要がありません。該当ファイルをダブルクリックすると、再生プログラムがすぐ実行され、画面に映像が表示されます。再生プログラムの下段のスクロールバーを動かして希望する時刻の映像にすぐ移動することができます。 ボタンをクリックすると再生プログラムを終了します。



	最初に移動		高速巻き戻し
	最後に移動		一倍速再生
	一画面ずつ逆再生		高速再生
	一画面ずつ再生		

- : 現在の分割画面を基準にして以前のカメラグループに保存された映像がある場合、以前のカメラグループに移動します。
- : 画面分割が4 → 8 → 9 → 16 → 20 → 25 → 分割に順に変更されます。
- : 現在の分割画面を基準にして次のカメラグループに保存された映像がある場合、次のカメラグループに移動します。
- : 再生プログラムの属性を設定することができます。



- **Fisheye Dewarping:** 魚眼映像デ・ワーピング機能を制御することができます。詳しい機能は下記のデ・ワーブ機能メニューを参照してください。

- **印刷:** 現在の映像を印刷します。

- **情報:** 現在の映像画面の番号、カメラ名、録画時間、録画モード、ファイルのサイズ、解像度などの情報を表示します。

- **画像処理:** 映像の明るさを調整したり、イメージフィルターを適用します。

 1×1分割画面でのみ機能します。

- **プレイスPEEDコントロール:** 再生及び FF/RW(高速再生/逆再生)速度を変更します。
- **ディスプレイモード:** ディスプレイモードを選択します。画面が表示されなかったり、異常に表示される場合、ディスプレイモードを変更します。

- **画面サイズ:** 再生プログラムの画面サイズを選択します。
- **画面レート:** 画面に表示される映像の出力レートを変更します。
- **OSD 設定:** 画面に表示される基本設定を変更します。
- **オーディオオン:** 該当映像を録画した時、オーディオも一緒に録音すると、再生時にオーディオが出力されます。

 1×1分割画面再生時にのみ機能します。

- **ブロック現象改善:** 拡大映像の階段(ブロック)現象を改善して出力します。使用するPCのCPUの仕様が低く再生が遅い場合、設定を解除すると、遅くなる現象を少し改善することができます。

- **テキスト表示:** 映像にテキスト入力情報がある場合テキスト入力情報を表示します。単一画面モードではテキスト入力情報が映像と一緒に表示されます。

- **ファイル連続再生:** 分割して保存されたファイルを再生する際、各ファイルを自動で連続再生します。例えば、録画映像がabc_01.exe、abc_02.exe、abc_03.exeに分割して保存された場合、各ファイルを実行する必要はありません。abc_01.exeファイルを実行するとabc_01.exe、abc_02.exe、abc_03.exeのファイルが連続で再生されます。

- **以前のファイルに移動:** 分割して保存されたファイルを再生する際、現在再生中もしくは再生待機中の以前のファイルに移動します。

- **次のファイルに移動:** 分割して保存されたファイルを再生する際、現在再生中もしくは再生待機中の次のファイルに移動します。

- **ファイルリスト:** 分割して保存されたファイルを再生する際、連続で再生ができるファイルのリストです。ファイルを選択すると、該当ファイルに移動します。

- **Repeat Playback:** 録画したファイルを再生した後、再び再生します。

- **Check Fingerprint:** ファイルの全区間に対し、有効性を検査します。
- : 現在の映像を保存することができます。



- **現在映像の保存:** 現在画面をイメージファイルで保存します。
- **現在映像の保存(1倍サイズ):** 現在画面を1倍サイズのイメージファイルで保存します。



1×1分割画面でのみ機能します。

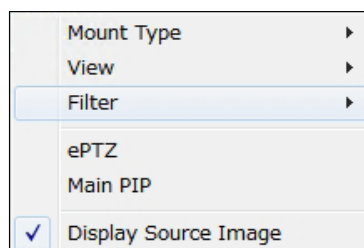
- **クリップコピー保存:** 映像の特定区間を実行ファイルで保存します。
- **動画保存:** 映像の特定区間をAVIファイル(.avi)で保存します。
- **クリップコピーログ:** クリップコピーのログ情報をテキストファイルで保存します。クリッププレーヤーの映像をクリップコピーする時、ログ上の使用者情報はInternal-Copyと表記されます。
- **Save Frame Info:** フレーム情報をCSVファイルの形式で保存します。
- : 画面を拡大して見るか、1倍サイズで見ることができます。画面を拡大した場合、拡大された画面上でマウスをクリックした後、カーソルを動かして拡大された画面の位置を変更することができます。



1×1分割画面でのみ機能します。

- : 映像を全体画面で見ることができます。
- 、: 再生プログラムの右下段に表示されます。映像が改竄されなかったことが確認されたら  アイコンが出力され、映像が改竄されると  アイコンが出力されて再生を停止します。

- Fisheye Dewarping



- **Mount Type:** カメラの設置位置を設定します。Auto、Wall、Ceiling、Desktopのいずれかを選択することができます。この設定により設定可能な画面形態が変わります。
- **View:** 元の魚眼映像を表示します。Single、Quad、Mosaic 3x2、パノラマのいずれかを選択することができます。ePTZ機能がオンになっている場合、マウスの右・左ボタンをクリックし、Pan、Tilt、Zoomを制御することができます。メインPiPが基本的に選択されます。
- **Filter:** 画質改善のためのフィルタを設定します。Nearest、Linear、CubicそしてLinear、NN OnPTZのいずれかを選択することができます。
- **ePTZ:** Pan、Tilt、Zoom 動作を実行します。マウスをドラッグする際、マウスカーソルのドラッグ量が動作速度を決定します。マウスの左ボタンドラッグは左右（Pan制御）、上下（Tilt制御）を制御し、マウスの右ボタンドラッグはZoomを制御します。
- **Main PIP:** メインビュー映像内部の領域指定を容易にする PiP (Picture in Picture)ビューを実行します。
- **Display Source Image:** 変更事項を全てキャンセルして、元のイメージに復元します。



- 再生プログラムを実行させるためのPCのCPUの最低仕様は、Intel Pentium Dual Core 2.2GHzです。CPUの仕様が低い場合、高画質と最高速度で録画された映像は、多少ゆっくり再生されます。また、プログラムを正常に実行させるためにはバージョン9.0以上のDirectXをインストールする必要がある、16MB以上のビデオメモリーを備えたVGAカードの使用を推奨します。
- 使用PCのディスプレイ設定によって映像が正常に表示されないことがあります。その場合、デスクトップ画面でマウスの右ボタンをクリックして、**ディスプレイの登録情報>設定**タブに移動して**色の品質を32ビット**に設定した後、**詳細>トラブルシューティング**を選択して、**ハードウェアアクセラレータを最大**に設定してください。問題が解決しない場合、**スタート>ファイル名を指定して実行...**を選択して、**dxdiag**を入力しエンターボタンを押して出るDirectX診断ツール画面で、DirectXバージョンが9.0以上なのかを確認してください。ディスプレイのタブに移動して**DirectDrawアクセラレータ**が使用可能になっているかを確認してください。Microsoft® Windows® XPの場合、**DirectのDrawテスト**ボタンを押してテストしてください。VGAカードのドライババージョンを確認して最新バージョンではない場合は最新バージョンにアップデートしてください。すべての事項が確認された後も映像が正常に見えない場合は、ビデオカードを変更してください。ATIチップセットを使用したビデオカードを推奨します。

- 録画映像を保存する際**プレーヤー未包含**オプションを選択した場合保存されているファイルを再生するためにはIDIS centerプログラムが設置されたフォルダ(¥Client¥selfplayer)で提供されるセルフプレーヤープログラム(ClipPlayer.exe)を実行する必要があります。
- 魚眼映像デ・ワーピング機能はWindow Vista以上のOSに対応しています。魚眼映像デ・ワーピング機能はレイアウト1x1分割モードのみに対応します。スクリーンでマウスの右クリックをすると、魚眼映像デ・ワーピング制御が可能になります。

AVIファイルで保存

録画映像をAVIファイル(.avi)で保存します。



- **開始時刻、終了時刻:** 動画で保存する映像の日付及び時刻を入力します。
 - **最初の映像:** 一番最初に録画された映像の日付及び時間に設定します。
 - **最後の映像:** 一番最後に録画された映像の日付及び時間に設定します。
 - **1分、3分、10分、30分、1時間:** タイムテーブルで現在選択された時間を基準に該当する間隔の分、時間をスタート時刻及び終了時刻に増減します。
- **専用ビューアー、AVI:** AVIを選択します。
- **魚眼映像デワーピング:** 現在の画面に表示されるデワーピング状態で映像が保存されます。デワーピング機能が有効になった単一カメラでのみ機能が有効になります。映像をパノラマまたはVRモードで保存できます。

- **オーディオデータ含む:** オーディオと一緒に保存された映像の場合、一つのチャンネルのみサポートします。



映像を1 ips程度で録画した場合はオーディオデータが正常に保存できない場合があります。

- **コーデック、ビットレート、画質:** 映像を圧縮するために適切な値を設定します。
 - **ビットレートを基準でエンコーディング:** ビットレートを基準として映像をエンコーディングします。
 - **ビデオの品質を基準でエンコーディング:** ビデオの品質を基準として映像をエンコーディングします。
- **サイズ:** 映像を圧縮するためのファイルの大きさを設定してから圧縮映像の出力比率を選択します。
 - **映像レートにあわせる:** 映像のオリジナルレートにカメラ画面のエリアをあわせて映像を出力します。
 - **画面に合わせる:** 画面比率と関係なくカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。
 - **画面に合わせる(比率維持):** 画面比率を維持したままカメラ画面のエリアにあわせて映像を出力します。



但し、カメラ画面のサイズによって映像の上下左右が切れることがあります。映像拡大機能の動作時、該当カメラ画面については本画面レートに対応せず、代わりに**映像比率に合わせる**が適用されます。

- **ブロックノイズを排除:** 拡大映像で発生する階段(ブロック)現象を排除し、画面上に表示される映像の画質を向上させることができます。
- **キーフレーム:** 映像を圧縮するためのキーフレームを設定します。
- **最大ファイル容量:** ファイルの最大サイズを設定します。
- **ファイル分割:** 保存中の録画映像のサイズが上で設定した**最大ファイルサイズ**になると、保存中の録画映像を最大ファイル容量に分割して保存します。



本オプションが選択されていない場合、最大ファイルサイズを保存します。

- **作業進行フレーム表示:** 保存時、現在保存中の映像をポップアップ画面に表示します。

AVIファイルの再生

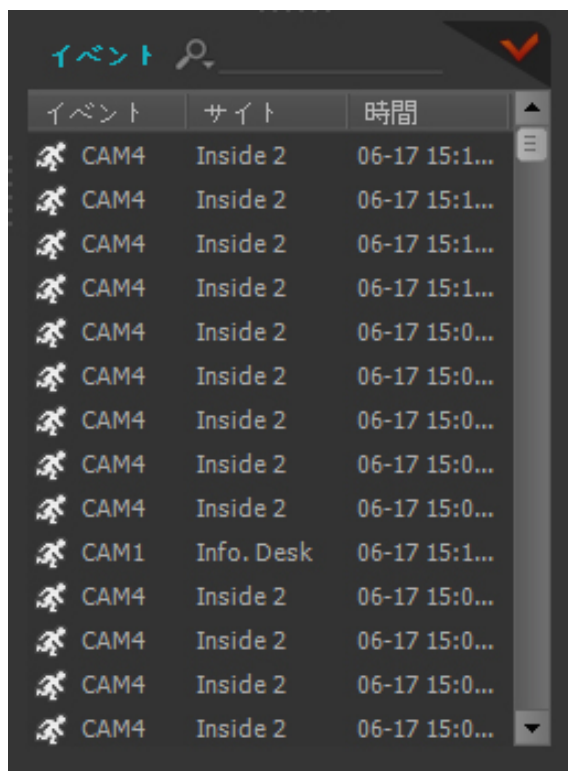
動画の再生プログラムを実行した後、AVIファイルを読み込みます。



AVIファイル保存時に選択した圧縮方式のコーデックがインストールされていない場合、該当するコーデックを手動でインストールしなければなりません。

イベント処理

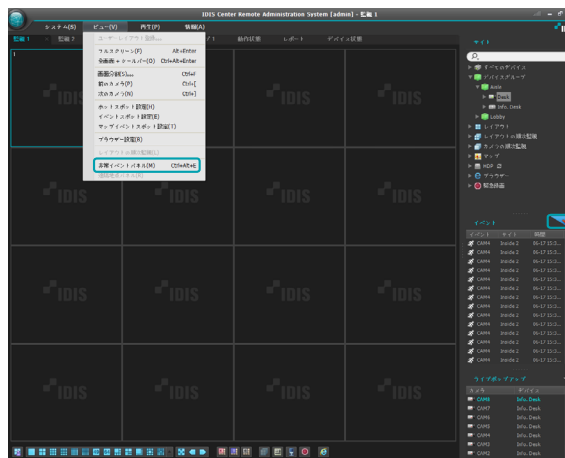
イベントが感知されたカメラの映像をリアルタイムで監視することができ、該当するイベント感知映像が録画されていれば映像を再生することができます。



登録されているデバイスでリアルタイムイベントが感知された場合、そのイベントがイベントリストに表示されます。

登録されたデバイスでコールバックイベントが感知された場合、**非常イベント**パネルが自動的に表示されるか、下記のように手動で非常イベントパネルを表示させることができます。

ビューメニューに移動した後、**緊急イベント**パネルをクリックするか、イベントリスト  ボタンをクリックします。



緊急イベントパネルが表示されます。



非常イベントを感知すると、イベントのリストが表示されます。

- **自動ポップアップ**: クライアントシステムで非常イベントを感知した場合、自動的に緊急イベントマネージャーパネルが表示されます。
- **イベント個数**: 表示された非常イベント件数の合計を示します。
- **最後のイベント**: 最後に発生した非常イベントの情報を表示します。

 コールバックイベントは、デバイスでコールバック機能が設定されているときだけに表示されます。**設定>レポート**からイベントリスト表示オプションを変更することができます。詳細は [p.46 レポート](#) を参照ください。

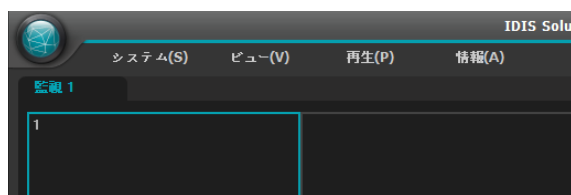
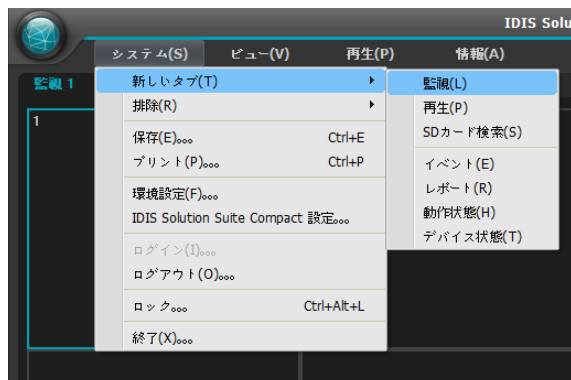
イベントリストに表示されるイベントアイコン

	モーション感知		システム動作
	映像信号非表示		システム再起動
	映像信号なし		システム終了
	テロ感知		録画機能異常あり
	映像分析感知		ディスクフル
	トリップゾーン		ディスクフル警告
	タンパーリング		ディスクの不良セクタ
	テキスト入力		ディスク設定変更
	アラームイン感知/解除		S.M.A.R.T.感知結果ディスク異常あり
	アラーム入力異常あり/なし		S.M.A.R.T.感知結果ディスクが高温
	外部保存デバイス挿入/取り外し		緊急録画開始/終了
	デバイス接続/解除		ファン異常あり/解除
	システムスタート		顔感知
	待機人数超過検知/解除		待機時間超過検知/解除
	VA 損失あり/解除		PIR 検知/解除
	ANPR 検知/解除		オートトラッキング検知/解除
	メインストリーム録画/異常		サブストリーム録画/異常
	アラームボックス損失あり/オフ		定員制限/解除
	混雑検出/解除		ソーシャルディスタンス違反検知/解除
	マスクルール違反検知/解除		キューモニタリング検知/解除

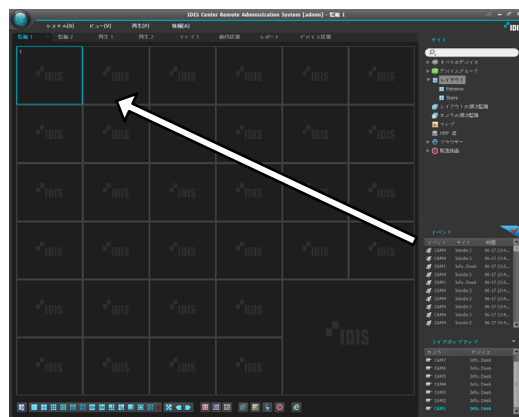
デバイスの仕様及びバージョンによって一部イベントのアイコンがサポートされないことがあります。

映像監視

イベント感知カメラの映像監視は、監視パネル(最大4つ)でサポートします。パネルタブに監視タブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**監視**をクリックしてタブを追加します。

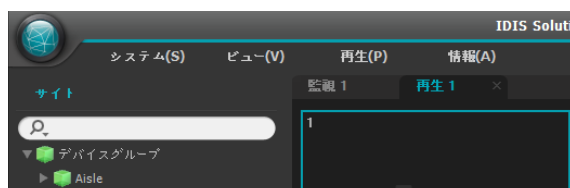
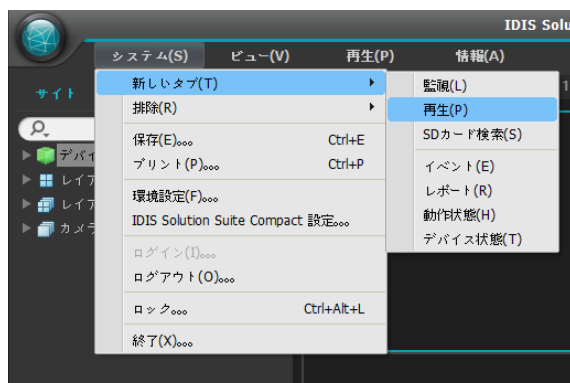


- 1 パネルタブで**監視**タブをクリックします。
- 2 リアルタイムのイベントのリストで希望するイベントを選択した後、監視画面にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したイベントが感知されたカメラのリアルタイム映像が画面に表示されます。



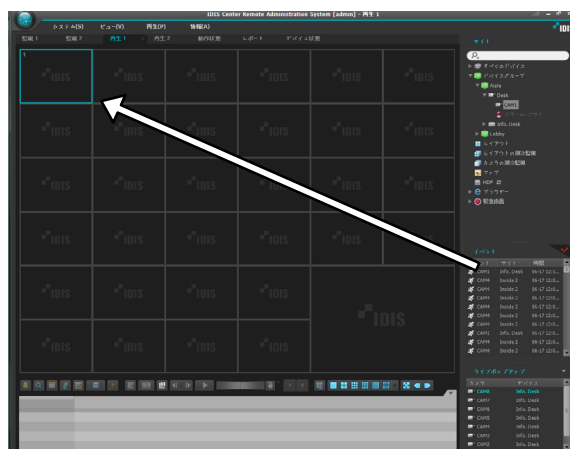
映像再生

イベント録画映像の再生は、再生パネルでサポートします。パネルタブに再生タブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**再生**をクリックしてタブを追加します。



1 パネルタブで**再生**タブをクリックします。

2 リアルタイムのイベントのリストで希望するイベントを選択した後、再生画面にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したイベントの録画映像が画面に表示されます。



システムの動作状態の監視

システムの動作状態の監視は、動作状態のパネルでサポートします。

パネルタブに動作状態のタブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**動作状態**をクリックしてタブを追加します。



動作状態のタブが追加されると、自動的に動作状態の監視結果を表示します。



● **要約リスト:** デバイスグループに追加されたすべてのデバイスに対する動作状態を要約して表示します。

- **トータル:** すべてのデバイスグループに追加されたデバイスの個数を表示します。
- **問題発生:** 問題が発生したデバイスの個数を表示します。
- **接続されていません:** 接続されていないデバイスの個数を表示します。
- **正常に動作:** 問題発生が感知されず正常に動作しているデバイスの個数を表示します。

- **詳細リスト:** 各デバイスの状態情報を詳しく表示します (装置製品に基づいて状態が表示されないことがあります)。

- **動作状態:** 下表の状態を表示します。

正常に動作	問題を感知していない
問題発生	ビデオロスイベント感知、アラームインデバイスエラーまたは録画エラー
接続されていません	デバイスが接続されていない

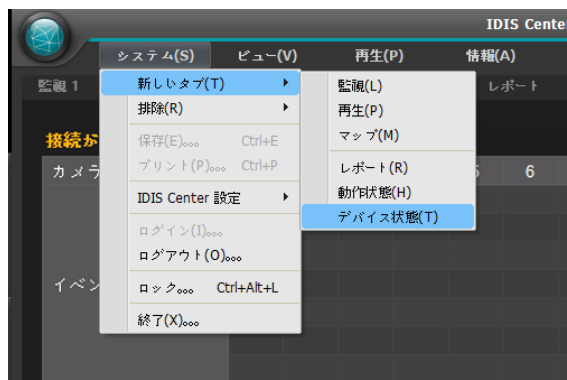
- **問題発生:** 問題発生の原因を詳しく表示します。
- **グループ:** デバイスが属したデバイスグループを表示します。
- **サイト:** デバイスの名前を表示します。
- **アドレス:** デバイスのIPアドレスを表示します。
- **MAC:** デバイスのMACアドレスを表示します。
- **バージョン:** デバイスのバージョンを表示します。
- **カメラ:** デバイスで使用中のカメラの状態を表示します。
- **アラームイン:** デバイスで使用中のアラームインデバイスの状態を表示します。
- **Fan:** ファンの状態を表示します。
- **録画:** 録画の状態を表示します。
- **レコードチェック:** 録画検査の状態を表示します。
- **録画期間:** 録画期間を表示します。

● 機能ボタン

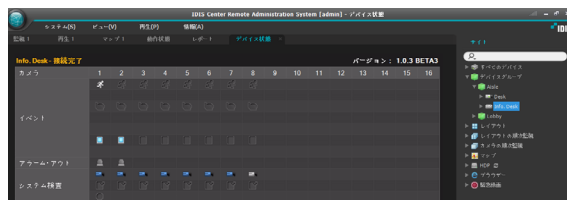
-  **(更新):** 動作状態のパネルの情報を最新の情報に更新します。
-  **(イベント条件):** 表示するイベントの条件を設定します。選択した項目に該当する動作状態結果を画面に表示します。
-  **(保存):** 動作状態のパネルのデータを.txt、.csv、.html、.pdfファイルで保存します。
-  **(フルスクリーン):** 動作状態のパネルを全体画面で表示します。

デバイス状態の監視

デバイス状態の監視はデバイス状態パネルで対応します。パネルタブにデバイス状態タブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**デバイス状態**をクリックしてタブを追加します。



サイトリストで希望するデバイスを選択した後、デバイス状態パネルにマウスをドラッグ&ドロップします。該当デバイスの状態が表示されます。



- **状態表示画面:** 状態をアイコンで表示します。

- **バージョン:** システムのバージョン情報を表示します。
- **チャンネル:** カメラ番号を表示します。
- **イベント:** イベント感知状態を表示し、イベント感知時にイベントアイコンにカラー表示されます。マウスカーソルをアイコン上にあてると該当イベントの種類がツールチップで表示されます。
- **アラーム・アウト:** アラーム出力状態を表示します。
- **システム検査:** デバイス及び録画機能の動作状態を表示します。

● 機能ボタン

-  **(削除)**: デバイス状態パネルの現在の接続を解除します。
-  **(緊急録画オン)**: デバイスの緊急録画を遠隔で開始または中止します。

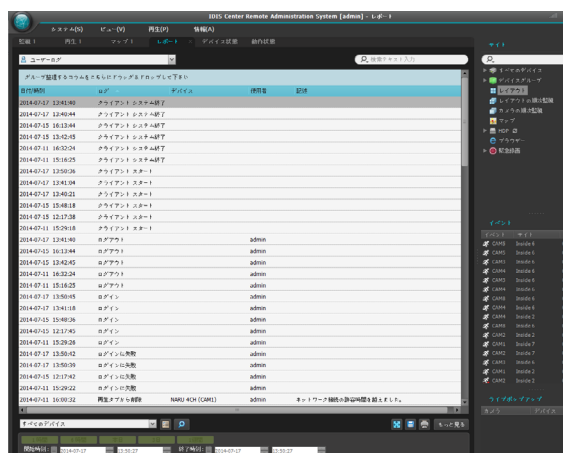
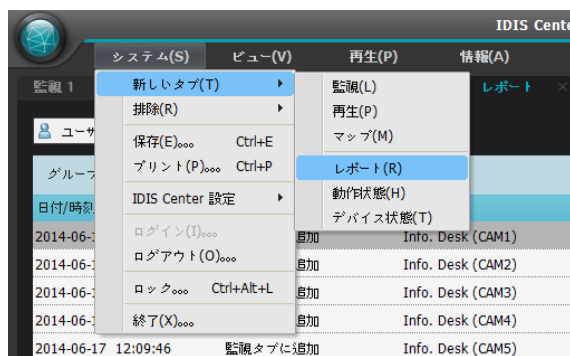
 緊急録画機能に対応するDVRの場合にのみ対応

- **録画開始/終了**: 録画期間を表示します。
- **動作状態**: デバイスの録画、再生、アーカイブ、クリップコピーの状態を表示します。
-  **(フルスクリーン)**: デバイス状態パネルを全体画面で表示します。

ログ検索

IDIS centerプログラム及びデバイスのログを検索することができます。

ログ検索は、レポートのパネルでサポートします。パネルタブにレポートタブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**レポート**をクリックしてタブを追加します。



様々な種類のログリストが表示されます。コラムタイトルでマウスを右クリックすると表示されるメニューを利用して、データを自由に分類できます。

● ログの種類: リストで検索するログの種類を選択します。

- **ユーザーログ**: IDIS centerプログラムのログを表示します。
- **動作状態ログ**: 登録されたデバイスの動作状態ログを表示します。
- **デバイスシステムログ**: デバイスのシステムログを表示します。
- **デバイスイベントログ**: デバイスのイベントログを表示します。ネットワークカメラ及びネットワークビデオエンコーダーの場合、SD(SDHC)メモリーカード録画機能が設定されている間に発生したイベントのログのみを表示します。
- **管理サービスログ**: 管理サービスのログを表示します。
- **モニタリングサービスログ**: モニタリングサービスのログを表示します。詳しい内容は、IDIS centerソフトウェアの入手先にお問い合わせください。

● (検索): ログを検索します。

レポートのツールバー

パネルの下段にあるツールバーを用いて特定のログを検索することができます。



- **開始時刻、終了時刻:** 検索するログの日付及び時間を入力します。特定の日付及び時間を入力したり**最初の映像**または**最後の映像**のオプションを選択して設定することができます。



- **1時間、6時間、本日、3日または1週間**ボタンをクリックすると、**開始時刻**と**終了時刻**の時間間隔を該当する間隔の分調整します。
- **最初の映像**または**最後の映像**のオプションを選択すると一番最初に発生したログからまたは一番最後に発生したログまで検索します。

- **(条件):** 検索するログの種類を選択します。
- **(検索):** 検索条件によって検索を開始します。
- **(フルスクリーン):** レポートパネルを全体画面で表示します。
- **(保存):** 検索結果をテキストファイル(.txt)、CSVファイル(.csv)またはPDFファイル(.pdf)で保存します。

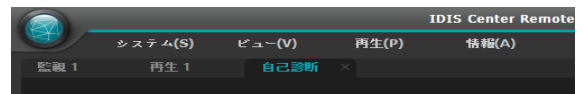
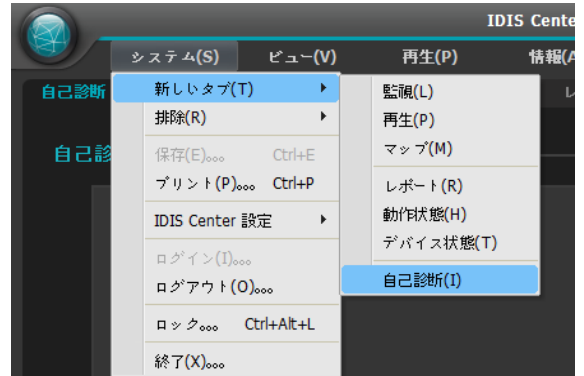


システム及びサービスログの場合、暗号化されたHTMLファイル(.html)で保存することができます。HTMLファイルを確認するためには暗号入力が必要です。

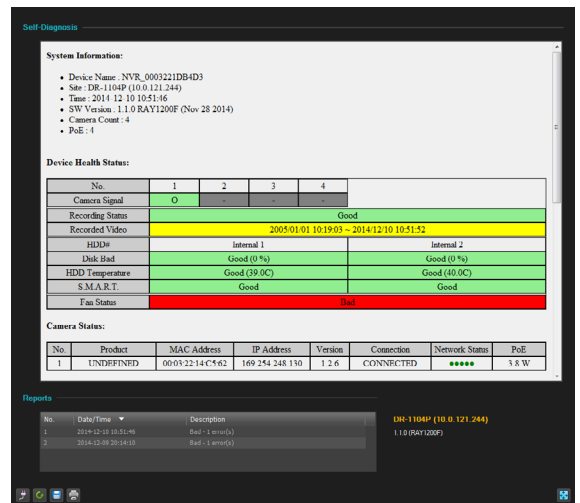
- **(印刷):** 検索結果をプリントします。
- **もっと見る:** 次の結果を表示します。

自己診断

登録されているデバイスのシステム自己診断の結果を確認することができます(自己診断機能に対応するデバイスのみ)。自己診断は自己診断パネルで対応します。パネルタブに自己診断タブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**デバイス状態**をクリックしてタブを追加します。



サイトリストで希望するデバイスを選択した後、自己診断パネルにマウスをドラッグ&ドロップします。該当デバイスの自己診断の結果が表示されます。



- **自己診断:** 状態をレポート形式で表示します。
- **レポート:** 自己診断の結果に関する簡略な情報を表示します。

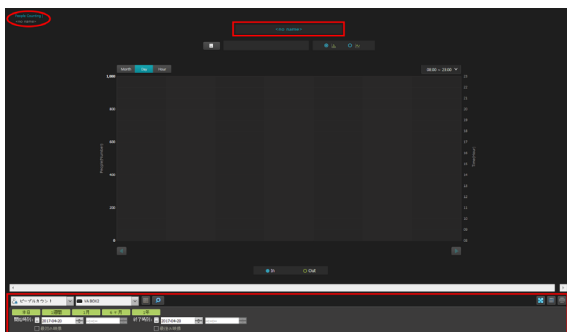
- **(削除)**: 自己診断パネルの現在の接続を解除します。
- **(リロード)**: 自己診断の結果を更新します。
- **(自己診断結果の保存)**: 自己診断の結果をHTMLファイル(.html)に保存します。
- **(印刷)**: 自己診断結果をプリントします。
- **(フルスクリーン)**: 自己診断パネルを全体画面で表示します。

映像分析レポート(VA Box)

VAボックスが接続された装置を利用して映像分析された情報を検索し、グラフとイメージを利用して分析することができます。映像分析レポートは、VAボックスパネル(最大3個)でサポートされます。パネルタブにVAボックスタブがない場合、**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**VA Box**をクリックしてタブを追加します。

接続および検索

- 1 **サイトリスト**から VA Boxが接続されている装置のうち、希望する装置を選択した後、VA Boxパネルにマウスをドラッグ&ドロップします。接続すると、当該装置の名前がパネル左上段と中央上段に表示され、左下段の時間検索、VA機能選択および装置選択ウィンドウが活性化されます。



- 2 左下段のコンボボックスを利用して希望するVA機能 (People Counting、Queue Management、Heat Map)を選択します。

- 3 希望するVA装置および時間範囲を選択して検索ボタン(**P**)を押して映像分析データをグラフおよびイメージとして表示します。
- 4 装置を変更するには、他の装置をVA Boxパネルにマウスをドラッグ&ドロップします。装置を解除するためには、**システムメニュー**の**ログアウト**を選択します。

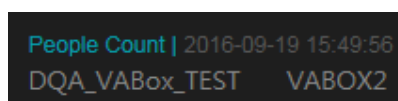
レポートのツールバー

パネルの下段にあるツールバーを用いて特定のVAレポートを検索することができます。



- **開始時刻、終了時刻**: 検索するVAレポートの日付および時間を設定します。特定の日付および時間を入力したり、**最初の映像**または**最後の映像**オプションを選択して設定することができます。**本日**、**1週間**、**1 month**、**6ヶ月**、**1 year**ボタンをクリックすると、**開始時刻**と**終了時刻**の時間間隔を該当する間隔の分調整します。
- **ピープルカウント** (VA 機能): 希望するVA機能のページを選択します。
- **VABOX1** (VA 装置選択): 希望するVA Box装置を選択します。
- **(フルスクリーン)**: レポートパネルを全体画面で表示します。
- **(保存)**: レポートページのデータをエクセル(.csv)または画像形式で保存します。

ページ情報

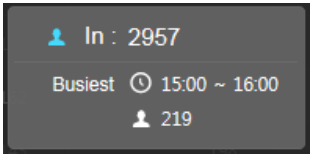


- 現在のVAページの種類
- 現在表示されているVAレポートの検索時間
- VA Boxが接続された装置の名前
- VA Box装置の名前

ピープルカウント



- ・ **全体 入る / 全体 出る**: 現在のページに表示されている期間の総 In/Out人数を表します。
- ・ **日**: カレンダーから希望する日付を選択します。
- ・ **検索期間**: 現在のページに表示される期間を表します。
- ・ **バーとライングラフ**: バーとライングラフの中からひとつを選択します。
- ・ **月 日 時**: グラフのx軸の基準値(月、日、時)を選択することができます。時間単位の場合、15分、30分、1時間の中から選択することができます。
- ・ **08:00 ~ 20:00**: **08~23時**、**24時間**、**午前**、**午後**を選択してその時間帯の人数を時間単位に合わせてバーまたはライングラフで表します。そして、時間帯別の人数をグラフに数字で表示します。
- ・ **人(数)**: 左側の y軸はバー、ライングラフの値を表します。
- ・ **時間(時)**: 右側の y軸の値は、グラフに表示された数字の時間帯を表します。
- ・ **◀ ▶**: 検索期間単位によって、月は1年、日は1週間、時は1日単位で以前に移動します。
- ・ **▶ ▶**: 検索期間単位によって、月は1年、日は1週間、時は1日単位で以後に移動します。
- ・ **入る 出る**: **入る**、**出る**を選択して各データを表示します。
- ・ **グラフツールチップ**: バー、ライングラフにマウスを当てるとツールチップ情報を確認することができます。



- **In : 2957**: 選択されたデータの人数です。
- **Busiest 15:00 ~ 16:00**: 選択したデータの最も混雑する時間です。
- **219**: 選択されたデータの最も混雑する時間の人数です。

キューマネジメント

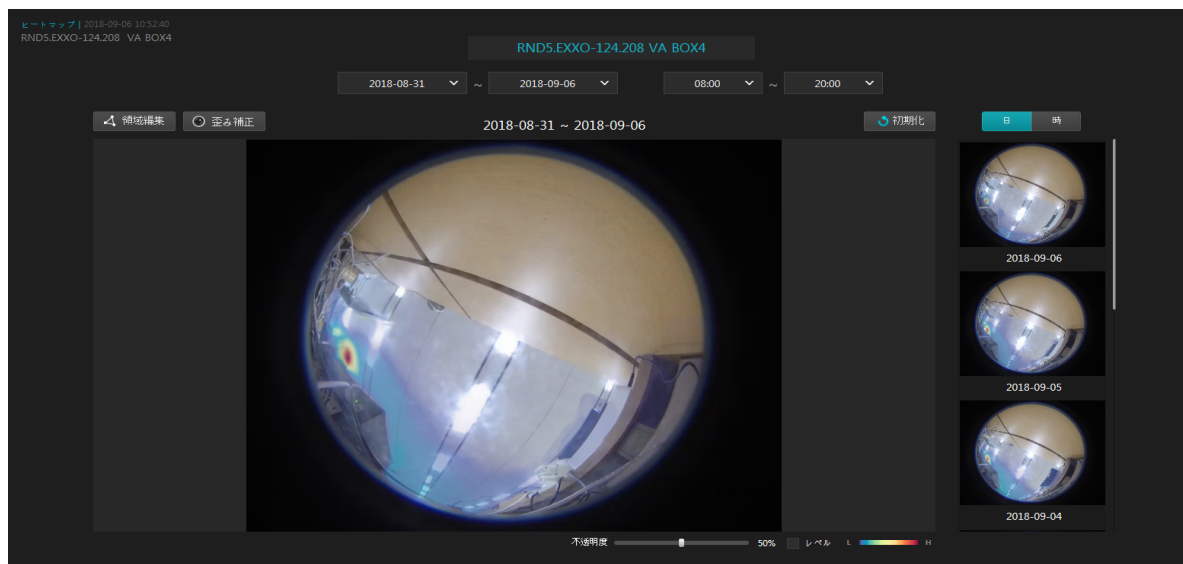


- ・ **日** : カレンダーから希望する日付を選択します。
- ・ **◀** : 以前のデータがある日付に移動します。
- ・ **▶** : 以後のデータがある日付に移動します。
- ・ **検索期間**: 現在のページに表示される期間を表します。
- ・ **08:00 ~ 20:00** : 開始時間と終了時間を選択してその時間帯のグラフを表示します。
- ・ **棒** **線** : バーとライングラフの中からひとつを選択します。
- ・ **日** **時** : データを表示する単位を選択します。
- ・ **最大 待機 時間** : **最大待機時間**と**合計待機時間**のいずれかを選択して表示します。
- ・ **区域1** **区域2** **区域3** : 希望する領域を選択してデータを表示することができます。
- ・ **グラフツールチップ**: バー、ライングラフにマウスを当てるとツールチップ情報を確認することができます。

🕒 13:00 ~ 14:00	🕒 11:00 ~ 12:00
Zone 1 4 👤	Zone 1 08m 00s ⌚
Zone 2 3 👤	Zone 2 04m 00s ⌚
Zone 3 4 👤	Zone 3 02m 00s ⌚

- **🕒 13:00 ~ 14:00** : 選択されたデータの時間帯を表示します。
- **4 👤 / 08m 00s ⌚** : 選択された人数および待機時間のデータを領域別に表示します。

ヒートマップ



- ・ **特定の日付および時間の検索:** 開始の日付および最後の日付と開始時間および終了時間を選択して期間に合ったヒートマップイメージを停止イメージとサムネイルイメージの上に表示します。
- ・ **領域編集:** ヒートマップ領域を編集します。マウスクリックで領域を指定することができます。停止イメージの上でマウス左ボタンで領域を指定し、最初のポイントを押すかマウスの右ボタンを押すと領域指定が完了します。領域を描く途中で一つ前の地点をキャンセルしたい場合はDeleteキーを押し、全体をキャンセルしたい場合には Escキーを押します。
- ・ **歪み補正:** 静止画が魚眼映像であればボタンが有効になります。ボタンをクリックして、静止画で魚眼映像 dewarping をします。Dewarpingが無効になっている場合、Ctrl + マウスボタンでクイックコントロールを使用できます。
- ・ **初期化:** 停止イメージを日付/時刻のナビゲーションに表示された領域のデータで初期化させ、NVRに設定された領域に変更します。
- ・ **日 時:** サムネイル1枚の単位を表します。
- ・ **停止イメージ:** 選択されたVA Boxが接続されているカメラの最新イメージを表示します。
- ・ **サムネイルのイメージ:** 上段の選択された日付と時間の区間を一定の時間単位に分けて表示します。サムネイルを選択すると、サムネイル画像を停止イメージとして大きく表示します。停止イメージを再指定した時間範囲に変更するには、時間の単位を変更したり、初期化(Reset)ボタンをクリックします。静止画を再指定した時間範囲に変更するには、選択したサムネイルをクリックします。
- ・ **不透明度:** ヒートマップの透明度を設定します。
- ・ **レベル:** ヒートマップイメージに等高線の形で値を表示します。
- ・ **カラースキーマ:** ヒートマップのカラースキーマを表示します。4つのカラースキーマを選択することができます。

VAダッシュボード

VAデバイスで検出された違反事項及び発生イベント情報をダッシュボードの形に表示します。最大4ポイントを一度に検索でき、結果を表示することができます。**システムメニュー**で**新しいタブ**を選択した後、**VAダッシュボード**をクリックしてタブを追加します。

画面構成



①	ページ名	現在のページ名を表示します。 (編集) ボタンまたはダブルクリックでページ名を修正します。設定したページ名は、次のログイン時にも維持されます。
②	検索区間設定及びメニュー	プリセットまたはユーザー設定で検索区間を設定します。 (メニュー) ボタンを用いて現在のページに関連する動作を行います。
③	違反セクション	検索範囲内の違反項目情報と違反推移を可視化したグラフを表示します。
④	イベントセクション	検索範囲内で発生したイベントと項目をグラフやリストで表示します。
⑤	サイトパネルのタイトルバー	登録したサイト名やサイトパネルの設定ボタンが表示されます。サイトパネルがクローズの場合、違反要約情報が表示されます。



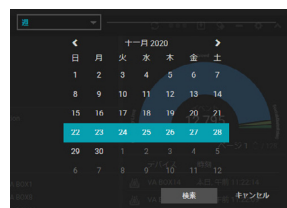
違反セクションとイベントデータセクションの間のサイズ調整バーでセクションのサイズを調整できます。

検索範囲

現在の時点から特定期間を選択するプリセットモードと検索区間をユーザーが直接選択するカスタムモードで検索区間を設定します。



- ・ **本日** : 本日の日付のデータを検索します。
- ・ **今週** : 本日の日付が属する週のデータを検索します。開始曜日は、**システム > IDIS Center設定 > システム**の日付/時刻で設定します。
- ・ **今月** : 本日の日付が属する月のデータを検索します。
- ・ **カスタム** : 検索範囲をユーザーが選択します。日、週、月単位でカレンダーから選択するか、開始範囲と終了範囲を入力して検索区間を指定します。



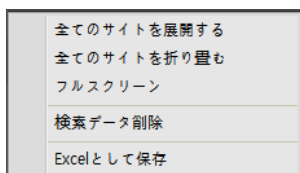
週単位の範囲検索



開始範囲/終了範囲指定検索

ページメニュー

ページまたはサイトパネル全体に適用される機能を提供します。



- ・ **全てのサイトを展開する** : 全サイトパネルをオープンします。
- ・ **全てのサイトを折り畳む** : 全サイトパネルをクローズします。
- ・ **フルスクリーン** : 現在のページを全画面で表示します。
- ・ **検索データ削除** : 全サイトパネルの検索結果を削除します。
- ・ **Excelとして保存** : 全サイトパネルの違反及びイベントデータをエクセルファイルで保存します。

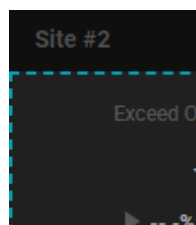
サイトパネルのツールバー

サイトパネルの動作及び設定を制御します。

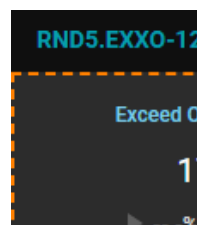
- ・ (更新) : サイトパネルのデータを再検索します。
- ・ (検索停止) : データ検索を中止します。中止する前までの検索結果がパネルに反映されます。
- ・ (Excelとして保存) : 違反及びイベントデータをエクセルファイルで保存します。
- ・ (検索データ削除) : サイトパネルに表示されているすべての検索結果を削除します。
- ・ (サイト登録解除) : 登録されているサイトを登録解除します。
- ・ (設定) : サイトパネルの設定を変更します。
- ・ (クローズ/オープン) : サイトパネルをクローズしたり、オープンします。

登録及び検索

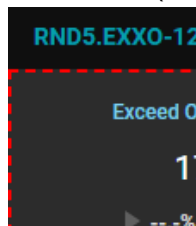
- 1 **サイトリスト**でデバイスを選択した後、デバイスのサイトパネルにドラッグします。サイト登録可能状況によってサイトパネルに以下のように枠の色が表示されます。



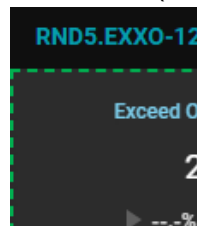
登録できるサイト(新規)



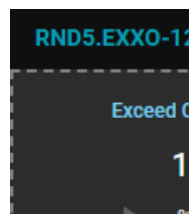
登録できるサイト(変更)



登録できないサイト



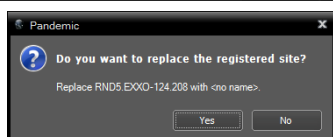
検索中のサイト登録



同じサイトまたは登録済みのサイト登録

- 2 登録できないサイトをドロップすると、登録不可メッセージをサイトパネルに表示します。既にサイトが登録されているパネルに登録できるサイトをドロップすると、サイト変更メッセージウィンドウが表示されます。

☒ パネルが検索中だったり、同じサイトの登録を試みる場合、動作が無視されます。



- 3 サイトパネルにサイトが登録されると、そのサイト名が表示され  (サイト登録解除) ボタン及び  (設定) ボタンが有効になります。

☒ 使用できるサイトが一つ以上の場合、検索セクションが有効になります。

- 4 検索範囲を選択してデータ検索を開始します。検索範囲は**本日**、**今週**、**今月**のボタンを選択するか、**カスタム**ボタンをクリックして区間を選択した後、検索ボタンをクリックします。設定された検索範囲は左側に表示されます。検索区間に保存されているデータがない場合、「映像分析データがありません。」というメッセージがサイトパネルに表示されます。

- 5 検索が完了したら、違反項目/イベント情報と違反推移を可視化したグラフを表示します。

- 6  (サイト登録解除) ボタンを押して登録されたデバイスをサイトパネルで登録解除します。

サイトパネル設定

サイトパネルの設定を変更します。サイトパネルのツールバーで  (設定) をクリックすると、設定ウィンドウがポップアップされます。



カテゴリー

画像解析装置



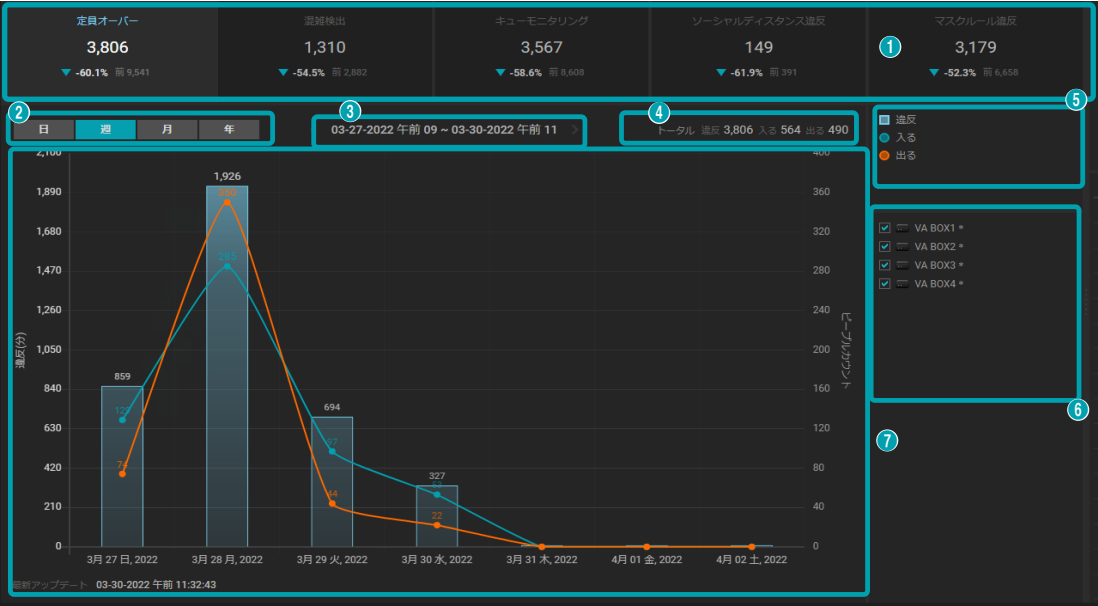
営業時間

キューモニタリング

- ・ **カテゴリー:** ダッシュボードに表示するデータを選択します。
- ・ **画像解析装置:** データを検索する映像分析デバイスを選択します。
- ・ **営業時間:** データが表示される時間範囲を設定します。曜日別を選択すると、曜日別の時間範囲を選択することができます。曜日別の設定で閉店を選択すると、その曜日は非表示になります。
- ・ **キューモニタリング:** キューモニタリングの中間あるいは高い混雑度レベルを設定します。リモート設定の使用を有効にすると、録画機に設定された中間あるいは高い混雑度レベルを使用します。

違反

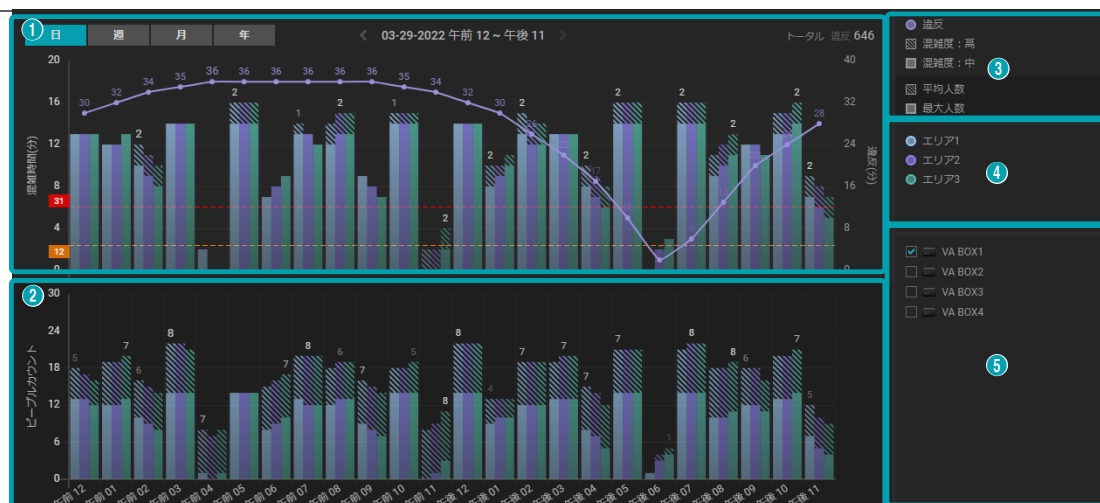
違反項目(定員オーバー、混雑検出、キューモニタリング、ソーシャルディスタンス違反、マスク規定違反)の検索結果を表示します。



1	違反データ項目	検索された違反情報を項目別に表示します。各項目をクリックすると、その違反推移がグラフに表示され、選択された項目をもう一度クリックすると全項目の違反推移がグラフに表示されます。
2	時間単位	グラフx軸の基準値を選択します。 - 日: 一日分のデータを表示します。1時間単位で最大24時間を表示します。 - 週: 一週間分のデータを表示します。1日単位で最大7日を表示します。 - 月: 一ヶ月分のデータを表示します。1日単位で最大31日を表示します。 - 年: 一年分のデータを表示します。1ヶ月単位で12ヶ月を表示します。
3	グラフ時間範囲	グラフに表示されているデータの時間範囲を表示します。時間範囲をクリックしてグラフの日付/時間を変更します。
4	全データの値	グラフに表示される値の合計を項目別に表示します。
5	凡例	グラフに反映されたデータを表示します。クリックして表示するかどうかを選択します。 ☒ 混雑検出、ソーシャルディスタンス違反、マスク規定違反は凡例値が1つであるため、凡例が表示されません。
6	映像分析デバイスリスト	選択された映像分析デバイスのデータがグラフに表示されます。
7	グラフ	違反データと違反項目の付属データを棒グラフまたは折れ線グラフで表示します。 ☒ 上図は以下の違反データです。 - Exceed Occupancy Limit (定員オーバー): In/Out, 占有人数

キューモニタリンググラフ

キューモニタリングは混雑度グラフとピープルカウントグラフを同時に表示します。



①	混雑度グラフ	設定した混雑度レベルを超える時間を表示します。 – 普通の棒：中間の混雑時間を示します。 – 斜線棒：高い混雑時間を示します。 – 線：違反時間を示します。 – オレンジ色/赤色の点線：中間/高い混雑度レベルを示します。グラフの 設定 > キューモニタリングの混雑度設定 で リモート設定使用 をチェックした場合、点線が表示されません。 – 棒の上の値：同時刻における高混雑時間が最大のエリアの値を表示します。高混雑度が無効の場合は中混雑度の値です。
②	ピープルカウントグラフ	ピープルカウントデータを表示します。 – 普通の棒：最大人数を示します。 – 斜線棒：平均人数を示します。 – 棒の上の値：同時刻のエリアにおける平均人数が最も大きい値を示します。平均人数が無効になっている場合、最大人数が最も大きい値を示します。
③	混雑度/ピープルカウントの凡例	混雑度/ピープルカウントグラフの凡例を表示します。クリックしてそれぞれの項目を表示するかどうかを選択します。
④	エリアの凡例	混雑度/ピープルカウントグラフを表示するエリアを示す凡例です。クリックしてグラフに表示するエリアを選択します。
⑤	映像分析デバイスリスト	映像分析デバイスのうち1つを選択して、そのデバイスのデータをグラフに表示します。

違反データ項目

違反データに関する情報を表示します。

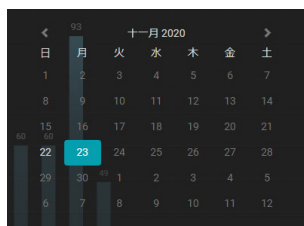


- ・ **タイプ** : 違反タイプ名を表示します。
- ・ **違反値** : 検索範囲内の違反値を表示します。違反値は違反が発生した時間で、分単位で表示されます。
- ・ **以前の値** : 以前に発生した違反値を表示します。以前の値の範囲は現在の検索範囲と同じです。
- ・ **増減率** : 以前の値に対する現在値の増加または減少率を表示します。

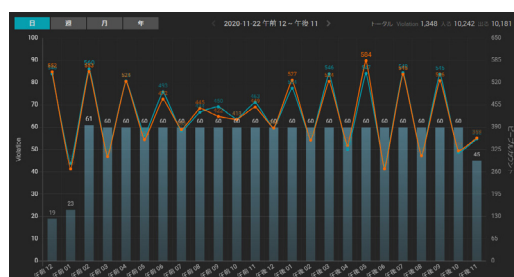
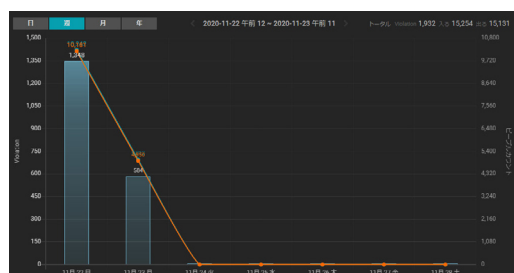
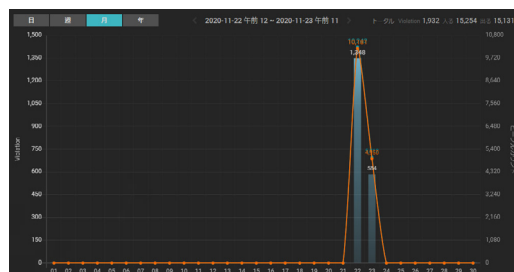
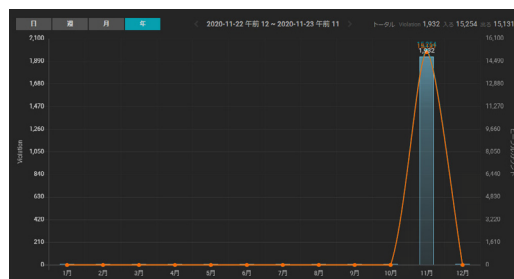
☒ 検索範囲が**ユーザー指定**の範囲の場合、以前の値と**増減率**は表示しません。

グラフの時間移動

◀ 2020-11-22 午前 12 ~ 2020-11-23 午前 11 ▶



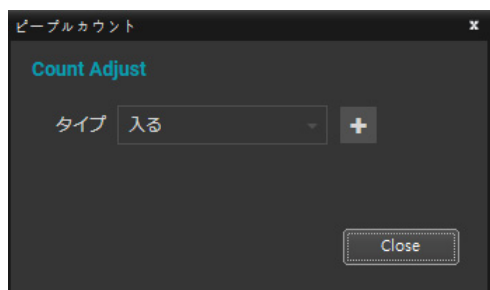
- ・ 時間範囲の左右またはグラフ右下の ◀ / ▶ (前/次) ボタンを押すと、グラフは時間単位に合わせて前または次の時間を表示します。
- ・ 時間範囲をクリックするとカレンダーが表示され、選択した日のデータがグラフに表示されます。
- ・ カレンダーは時間単位(日、週、月、年)によって選択範囲が異なります。
- ・ 棒グラフまたは折れ線グラフをクリックすると、以下のように動作します。
 - マウス左クリック: 一段階狭い範囲の時間単位でグラフを表示します。クリックした棒グラフまたは折れ線グラフの時間が含まれたグラフが表示されます。
 - マウス右クリック: 一段階広い範囲の時間単位でグラフを表示します。現在のグラフが表示する範囲を含めるグラフが表示されます。



グラフをマウス左クリック(年-月-週-日)

☒ グラフをマウス右クリックすると、時間単位が日-週-月-年の順に変更されます。

人数調整 (People Counting Adjust)



- 映像分析表示で人数調整を選択すると、映像上に表示されるIn/Out情報を変更することができます。詳しい内容は、[p. 75 ピープルカウント](#)部分を参照してください。
- 人数調整ウィンドウでIn/outを選択して **+** ボタンをクリックすると、In/outデータが増加します。

イベント

違反イベントをグラフとリストに表示します。

イベントチャート



- 発生した違反イベント回数を違反タイプ別に表示します。
- 特定の違反タイプイベントをクリックすると、その違反チャートが有効になり、リストにその違反タイプのイベント項目が表示されます。
- 選択された違反タイプイベントをクリックすると、リストに全違反イベント項目が表示されます。
- チャートの真ん中には選択された違反イベント回数または全イベント回数が表示されます。
- 最大イベント件数は10万件です。

イベントリスト

デバイス	時刻
VA BOX14	本日, 午前 11:22:14
VA BOX14	本日, 午前 11:22:09
VA BOX14	本日, 午前 11:22:05
VA BOX14	本日, 午前 11:22:00
VA BOX14	本日, 午前 11:21:49

- 検索範囲内で発生した違反イベント項目をリストに表示します。(最大10万件まで表示します。)
- リストページ当たり最大100件のイベント項目を表示します。
- リスト上部に現在のページ/合計ページを表示します。
- 現在のページの右側のスピンボタンをクリックしてページを移動します。
- 現在のページのボタンをクリックすると、ページリストが表示されます。ページ項目に表示されている時間は、ページの最初のイベントが発生した時間です。ページ項目をクリックすると、そのページに移動します。

イベントリストのツールチップ

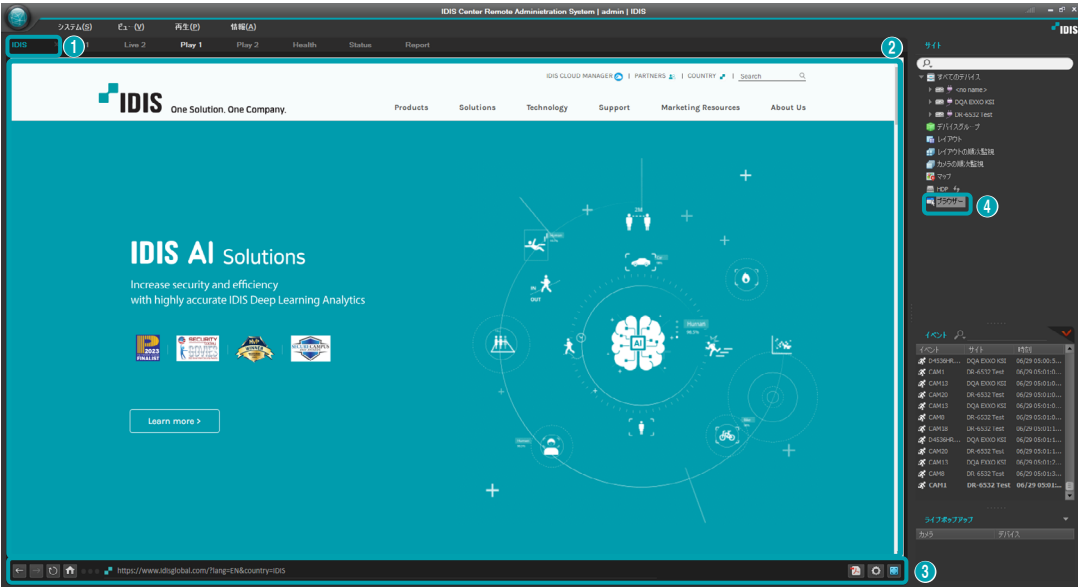
Crowd Detections	
デバイス	VA BOX14
録画時刻	2020-11-23 午前 11:36:27
カメラ	なし

- イベントタイプ**：イベントの違反タイプを表示します。
- デバイス**：イベントが発生した映像分析デバイスを表示します。
- 録画時刻**：そのイベントが発生した時間を表示します。
- カメラ**：そのイベントが発生した映像分析デバイスに関連するカメラデバイスです。

ブラウザ

ウェブブラウザ機能を使用できます。ブラウザはブラウザパネルでサポートされ、パネルは最大8つまで作成されます。

ブラウザ画面構成



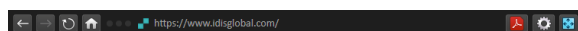
①	ブラウザパネル名	各ブラウザパネル名が表示されます。設定したパネル名は次のログイン時にも維持され、ユーザーによって別々に設定されます。
②	ブラウザページ	ウェブページを表示します。空のアドレスでは、基本ページを表示します。
③	ブラウザツールバー	ブラウザの基本機能を実行します。
④	ブラウザデバイス	システム > IDIS Center設定 > デバイスからサイトにあるブラウザをクリックして、ブラウザデバイスを追加します。ブラウザページにドラッグアンドドロップすると、設定されたアドレスに移動します。

基本ページ



- 1 開始ページを設定していないブラウザタブを作成すると、基本ページが表示されます。
- 2 アドレスバーに空白のURLを入力してエンターキーを押すと、基本ページに移動します。開始ページが設定されている状態で基本ページに移動すると、"**URLを入力してください**"というメッセージが表示されます。
- 3 基本ページにある**ブラウザの設定...**を押すと、開始ページを設定できるブラウザ設定ウィンドウが表示されます。

ブラウザツールバー



- / (前/次のページ): 前/次のページに移動します。
- (更新): 現在のページを再ロードします。
- (中止): ロード中のページを中止します。
- (開始ページ): 設定した開始ページに移動します。
- (URL入力): 移動するアドレスを入力します。エンターキーを押すと、そのアドレスに移動します。
- (PDFに保存): 現在のページをPDFファイルで保存します。
- (ブラウザ設定): 現在のブラウザのパネル情報を設定します。
- (全画面): ブラウザパネルを全画面表示します。

ブラウザ設定

現在のブラウザパネルに関する環境を設定します。ブラウザ設定は、ユーザー別に管理されるため再ログインする時に、この設定は維持されます。

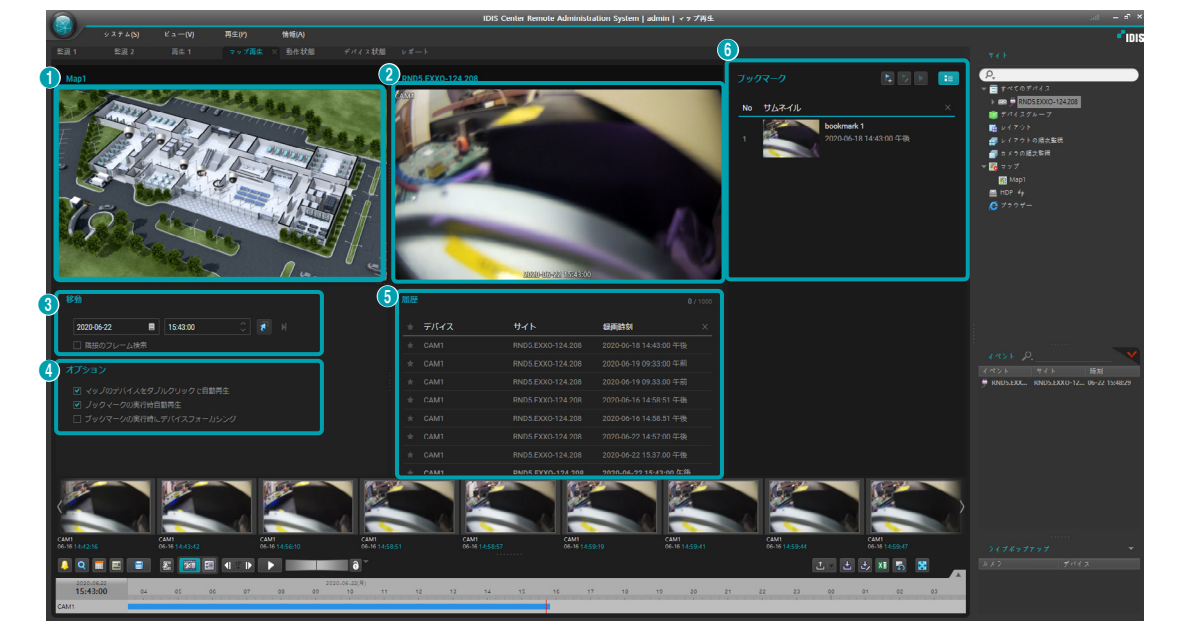


- **タブ名**: ブラウザパネル名を設定します。
- **開始ページ**: ブラウザパネルの開始ページを設定します。空白のURLを入力すると、基本ページが表示されます。(現在のページ)ボタンを押すと、現在のページのURLが開始ページに設定されます。
- **ポップアップ許可**: ブラウザページのポップアップウィンドウを許可します。選択解除すると、ポップアップは表示されません。
- **ユーザーURLスキーム許可**: ユーザーURLスキームの入力を許可します。

マップ再生

特定オブジェクトの録画映像を検索して再生したり、マップを利用して再生映像デバイスの位置を確認します。ブックマーク機能でシナリオを構成して対象のモーションや移動動線を効率的に追跡します。マップ再生は、マップ再生パネルでサポートされます。**システムメニュー**から**タブ作成**を選択した後、**マップ再生**をクリックしてタブを追加します。

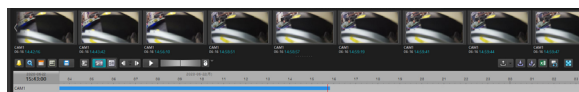
マップ再生画面構成



①	マップ	登録されているデバイスの状態をマップで監視します。
②	再生画面	マップ再生に関するすべての録画映像を検索して再生します。
③	移動	特定時点の映像を検索します。
④	オプション	マップまたは再生に関する便利機能を設定します。
⑤	履歴	再生画面での表示履歴を示します。
⑥	ブックマーク	特定時点のマップと再生映像をブックマークの形で保存します。

☒ それぞれのセクションの端をドラッグしてセクションのサイズを調整することができます。

マップ再生ツールバー



- (マップ再生ファイルを開く): マップ再生のデータファイルを読み込みます。このデータファイルのマップ再生状態が適用されます。矢印ボタンを押すと、最近読み込んだマップ再生ファイル履歴が表示されます。
- (マップ再生ファイル保存): 現在のマップ再生状態を保存します。
- (マップ再生ファイルに名前を付けて保存): 既に保存されているファイルとは別に現在のマップ再生状態を名前を付けてまたは新しい位置にファイルで保存します。
- (Excelとして保存): ブックマークデータをエクセルファイルで保存します。
- (マップ再生ファイルを閉じる): すべてのデータがリセットされます。
- (フルスクリーン): マップ再生パネルを全画面表示します。

デバイス接続および録画映像再生

サイトツリーのマップデバイスをマップセクションにドラッグ&ドロップしてマップを登録します。再生スクリーンはマップに登録されているカメラデバイスだけではなく、サイトツリーに登録されているデバイスをドラッグ&ドロップして接続することができます。またはマップ再生パネルが有効になっている状態でサイトツリーのマップまたはカメラデバイスをダブルクリックすると、簡単にデバイスを登録することができます。

マップ

登録されているデバイスの状態や位置を確認して対象の動線を追跡します。モニタリングのイベントアクションを除く **p. 64 マップ監視**および**p. 79 マップの制御**のすべての機能をサポートします。デバイスをダブルクリックすると、再生スクリーンにそのデバイスの録画映像を表示します。

- ブックマークまたは履歴を実行すると、そのデバイスの背景が点滅する効果が実行されます。



デバイスコンテキストメニュー

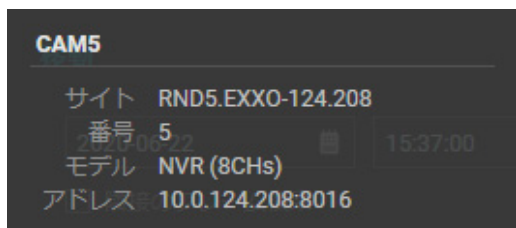
デバイスにコンテキストメニューを利用して再生またはデバイスの状態を確認することができます。



- **録画データの再生:** デバイスの録画映像を再生スクリーンに表示します。
- **インスタントビューアー:** リアルタイム監視映像をポップアップに表示します。
- **情報:** このデバイスの状態情報を表示します。

デバイスツールチップ

デバイスの上にマウスカーソルを置くと、マップセクションの下部に簡略なデバイス情報をツールチップで表示します。



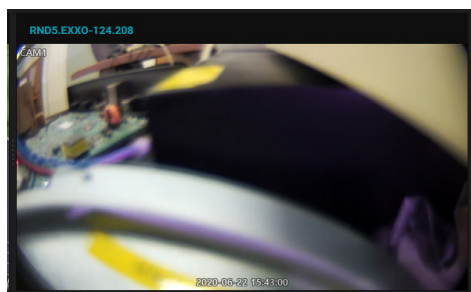
- **デバイス名:** デバイス名を表示します。
- **サイト:** サイトツリーでそのデバイスを含む最上位のデバイス名を表示します。
- **番号:** デバイスのチャンネル番号を表示します。
- **モデル:** サイトデバイスのモデルタイプまたは名前を表示します。
- **アドレス:** サイトデバイスのアドレスおよびポート番号を表示します。

再生スクリーン

録画映像を再生します。コントロールツールバーを利用して **p. 85 録画映像再生** 機能を使用することができます。再生スクリーンをダブルクリックすると、1x1分割画面に切り替わります。

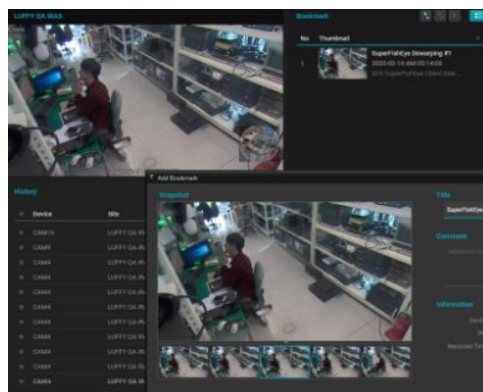


- 同じデバイスを再生パネルやマップ再生パネルで同時に接続することはできません。
- コンテキストメニューを利用して直接履歴およびブックマークを追加することができます。



ROI連動

再生スクリーンに登録されているカメラ映像の関心領域 (ROI) を連動して機能を実行します。



魚眼カメラの場合、デワーピング機能(Client-Side Dewarping)によるePTZが実行中の場合は表示されている画面がROIとなります。一般カメラの場合、ダイナミックズーム機能が実行中は表示されている画面がROIとなります。

履歴/ブックマーク保存した時にROIが保存され、実行する時に復元されたROIで再生スクリーンに表示されます。デワーピング映像のブックマークのスナップショットおよびサムネイルは、ROI画像で保存されます。デワーピングモードが選択またはスポットモードの場合、選択されたROIペインがブックマーク画像に使用されます。

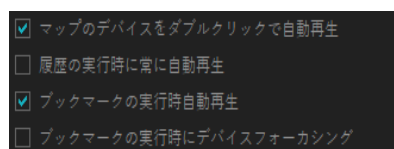


- ROI連動は魚眼カメラの映像やUHDのような高解像度の映像で有効です。

移動&オプション

オプション

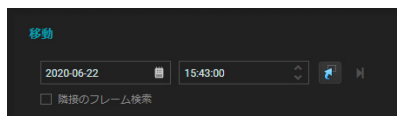
マップ再生およびマップに関する便利機能を設定します。



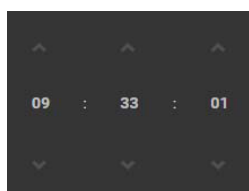
- **マップのデバイスをダブルクリックで自動再生:** マップに登録されているデバイスをダブルクリックすると、録画映像が再生スクリーンに登録されると同時に映像が再生されます。
- **履歴の実行時に常に自動再生:** 記録を実行すると、録画映像が再生スクリーンに登録されると同時に映像が再生されます。
- **ブックマークの実行時自動再生:** ブックマークを実行すると、録画映像が再生スクリーンに登録されると同時に映像が再生されます。
- **ブックマークの実行時にデバイスフォーカシング:** ブックマークを実行すると、該当するデバイスがマップでフォーカシングされます。

移動

再生スクリーンの録画映像を指定日時へ移動します。



<カレンダー>



<時間>

-  (時間移動): 再生スクリーンの録画映像が日付/時間の入力ウィンドウに設定された時間に移動します。
-  (最後へ移動): 録画データの中で最後に録画された映像へ移動します。
- **隣接フレーム検索:** 該当時間に映像がない場合、近接する時間の映像に移動します。
- **日付/時間:** 移動する時点の日付や時間を設定します。日付/時間設定はマウスホイール、キーボードの数字および方向キーで入力することができます。日付入力ウィンドウの  ボタンをクリックするか、マウスの右ボタンをクリックするとカレンダーウィジェットが実行され、時間入力ウィンドウでマウスの右ボタンをクリックすると時間入力ウィジェットが実行されます。

履歴

再生スクリーンにカメラデバイスを登録したり、録画時点を移動すると記録セクションにその記録が追加されます。記録セクションを利用して過去の検索履歴を追跡してブックマークに登録することができます。

履歴リスト



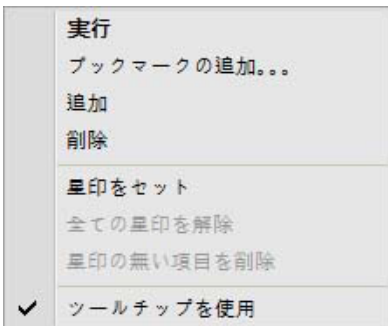
★ デバイス	サイト	録画時刻	×
★ CAM1	RND5.EXXO-124.208	2020-06-18 14:43:00 午後	
★ CAM1	RND5.EXXO-124.208	2020-06-19 09:33:00 午前	
★ CAM1	RND5.EXXO-124.208	2020-06-19 09:33:00 午前	
★ CAM1	RND5.EXXO-124.208	2020-06-16 14:58:51 午後	
★ CAM1	RND5.EXXO-124.208	2020-06-16 14:58:51 午後	

移動セクションの時間移動実行およびタイムテーブル移動時に記録リストに記録項目が追加されます。サムネイル検索またはイベント検索の結果項目を実行すると、記録リストに記録項目が追加されます。

記録項目は一番下に追加され、追加された項目に自動スクロールされます。例外的に選択した項目が画面に表示されている場合、自動スクロールされません。

右上に記録項目の現在数と最大数が表示され、最大数(1000個)を超過すると最も古い項目から自動削除されます。アクセス権限がないデバイスまたはデバイスを使用しない(無効)デバイスは暗く表示され、実行することができません。

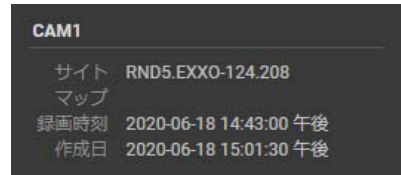
コンテキストメニュー



- **実行:** 履歴に保存されているデバイスの録画映像を再生スクリーンに読み込みます。
- **ブックマークの追加:** 履歴をブックマークに追加します。
- **追加:** 現在の再生映像日時を選択した項目の次に追加します。

- **削除:** 履歴項目を削除します。
- **星印をセット:** 履歴項目の星印アイコンを有効にします。
- **全て星印を解除:** 履歴リストの星印アイコンをすべて無効にします。
- **星印の無い項目を削除:** 星印アイコンが無効になった項目をすべて削除します。
- **ツールチップを使用:** 履歴リストのツールチップを使用するかどうか選択します。

履歴リストツールチップ



- **デバイス名:** デバイス名を表示します。
- **サイト:** サイトツリーでそのデバイスを含む最上位のデバイス名を表示します。
- **マップ:** このデバイスと連動しているマップデバイスを表示します。
- **録画時刻:** このデバイスの録画映像の日時を表示します。
- **作成日:** 履歴項目が追加された日時を表示します。

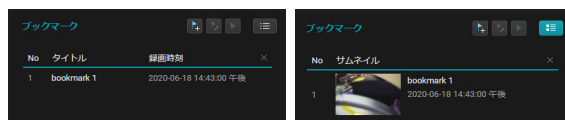
リスト項目の制御

- **履歴追加:** 再生スクリーンのコンテキストメニューから履歴の追加または履歴リストのコンテキストメニューから追加項目を選択すると、現在の再生スクリーンの状態や再生時点を基準に履歴を追加します。再生スクリーンのデバイスが登録されているマップデバイスと連動している場合、マップデバイスの情報も共に保存されます。基本的に履歴項目を最下部に追加し、選択した項目がある場合、選択した項目の下に追加します。リスト左上に**星印で整列**が適用されている状態で選択した項目がある場合、ユーザーが手動で履歴を追加すると星印が無効になった履歴項目が追加されます。
- **履歴削除:** 履歴項目の **X**(削除)ボタンまたはコンテキストメニューから**削除**を選択して履歴項目を削除します。履歴項目にマウスカーソルを置くと、この項目の右側に **X**(削除)ボタンが表示されます。リストの右上にある  ボタンを押すと、すべての履歴項目が削除されます。

- **履歴実行:** 履歴項目をダブルクリックするか、コンテキストメニューの**実行**を選択して履歴を実行します。履歴を実行すると、そのカメラデバイスが再生スクリーンに登録されて該当時点に移動します。マップデバイス情報が保存されている履歴項目の場合、マップセクションにこのマップデバイスが登録されます。**オプションセクションにあるマップデバイスをダブルクリックで自動再生**が有効になっている状態でマップのデバイスをダブルクリックするか、コンテキストメニューの**録画データの再生**を実行して作成された履歴項目は履歴を実行すると、録画映像が自動再生されます。
- **星印機能:** 履歴項目の中で主要な履歴を管理するために提供されている機能です。各項目の左側にある★をクリックして設定/解除することができます。履歴リスト上部の★(星印で整列)をクリックすると、星印が指定された項目(★)のみフィルタリングされます。履歴リストのコンテキストメニューを利用して: **星印をセット**, **全て星印を削除**, **星印の無い項目を削除**。

ブックマーク

マップ再生の現在の状態または履歴をブックマークします。対象の録画映像や経路をブックマークしてシナリオを構成します。ブックマークをエクセルファイル形式で保存することができます。



<リストモード>

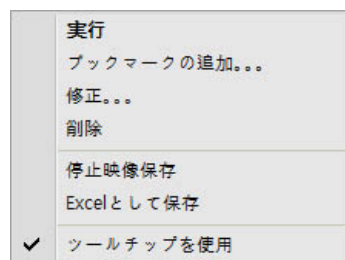
<サムネイルモード>

- (ブックマーク追加): 現在のマップ再生状態をブックマークに登録します。
- (ブックマーク修正): ブックマーク情報を編集します。
- (ブックマーク実行): 選択したブックマークに保存されているマップや録画映像を画面に表示します。
- (サムネイルリスト): ブックマークリストにサムネイルを含めて表示します。

☒ アクセス権限がないデバイスまたはデバイスを使用しない(無効)デバイスは暗く表示され、実行することができません。

コンテキストメニュー

ブックマークリスト関連機能を提供します。

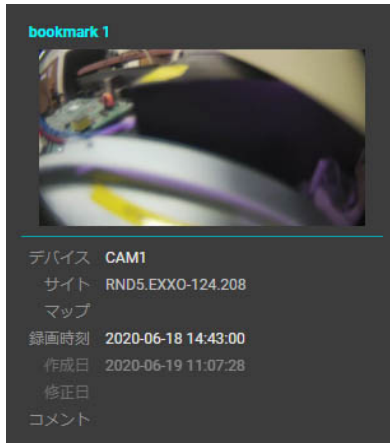


- **実行:** 選択したブックマークに保存されているマップや録画映像を画面に表示します。
- **ブックマークの追加:** 現在のマップ再生状態をブックマークに追加します。
- **修正:** 選択したブックマーク情報を修正します。
- **削除:** ブックマーク項目を削除します。
- **停止映像保存:** ブックマークに保存されているサムネイルをファイルで保存します。
- **Excelとして保存:** ブックマークリストの情報をエクセルファイルで保存します。

- **ツールチップを使用:** ブックマークリストのツールチップを使用するかどうか選択します。

ブックマークリストツールチップ

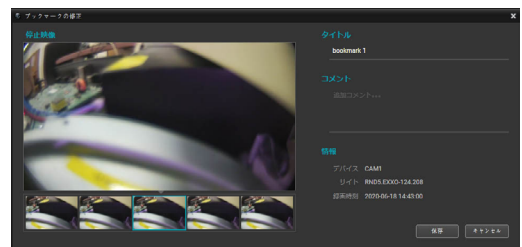
ブックマーク項目の上にマウスカーソルを置くと、項目の情報をツールチップに表示します。



- **タイトル:** ユーザーが設定したブックマーク名を表示します。
- **サムネイル画像:** ブックマーク追加時点の再生スクリーンの停止映像(± 2秒)を表示します。
- **デバイス:** ブックマーク追加時点に再生スクリーンに登録されていたデバイス名を表示します。
- **サイト:** サイトツリーでそのデバイスを含む最上位のデバイス名を表示します。
- **マップ:** ブックマーク追加時点に登録されていたマップデバイスを表示します。
- **録画時刻:** デバイスの録画映像時点を表示します。
- **作成日:** ブックマークが追加された日付を表示します。
- **修正日:** 直近にブックマーク情報が修正された日付を表示します。
- **コメント:** ユーザーが設定したブックマークの説明を表示します。

リスト項目の制御

- **ブックマーク追加:** ブックマークリスト上部の  (ブックマーク追加)ボタン、ブックマークリストコンテキストメニューの**追加**または再生スクリーンのコンテキストメニューの**ブックマーク追加**を選択して現在のマップや再生スクリーン状態をブックマークに追加します。履歴リストのコンテキストメニューの**ブックマーク追加**または履歴項目をブックマークリストにドラッグ&ドロップして履歴に保存されている状態をブックマークに追加します(最大1000個まで登録可能)。ブックマークを追加する場合、下記のようなブックマーク構成ウィンドウが表示されます。ブックマーク設定を完了すると、ブックマークリストに項目が追加されます。



- 停止映像: サムネイルリストで選択された画像を表示します。サムネイルは録画された映像時点から-2秒、-1秒、0秒、+1秒、+2秒時点の画像を表示します。
- タイトル: ブックマークのタイトルを入力します(最大64文字)。
- コメント: ブックマークの説明を入力します(最大256文字)。
- 情報: このブックマークのデバイス、サイトおよび録画時刻を表示します。
- **ブックマーク実行:** ブックマークリスト上部の  (ブックマーク実行)ボタンまたはブックマークリストコンテキストメニューの**実行**を選択するか、項目をダブルクリックして、そのブックマークのマップや録画映像情報を画面に読み込みます。ブックマークを実行する際に、オプションセクションの**ブックマークの実行時自動再生**が設定されている場合、再生スクリーンにデバイスを登録してから自動再生されます。ブックマークを実行する際に、オプションセクションの**ブックマークの実行時に自動フォーカシング**が設定されていて、マップの再生スクリーンに登録されているデバイスと連動しているデバイスがある場合、このデバイスが自動フォーカシングされます。ブックマークリスト項目を再生スクリーンにドラッグ&ドロップすると、ブックマークに該当するデバイスが登録され、該当録画映像時点に移動します。

FENサービス利用規約への同意機能

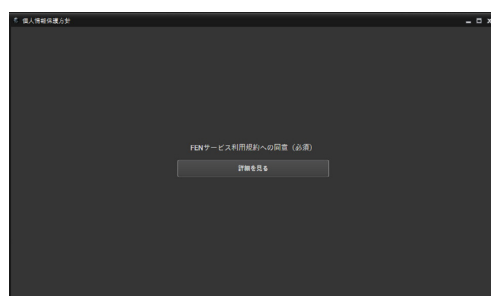
GDPR (General Data Protection Regulation)とCCPA (California Consumer Privacy Act)の個人情報保護方針に基づいて、FENサービスを利用するためのIDISの個人情報保護方針(<https://www.idisglobal.com/index/privacy>)に同意する必要があります。

情報メニューで**プライバシーポリシー**を選択した後、デバイス別にFENサービス利用に同意するかどうかを選択します。

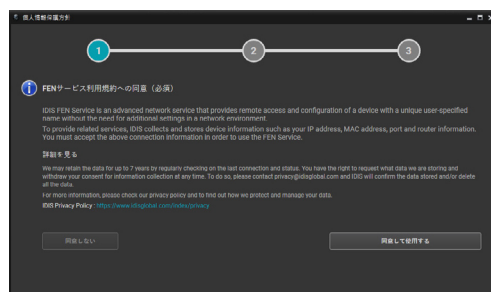
FENサービス利用同意

IDISの個人情報保護方針に同意します。FENサービスに登録されたデバイスについて個別に同意することができます。同意したデバイスは、FENサービスを利用できます。

- 1 情報メニューで**プライバシーポリシー**を選択します。
- 2 以下のウィンドウが表示されたら、**詳細を見る**をクリックしてください。



- 3 FENサービス利用規約を確認して、**同意して使用する**ボタンをクリックしてください。IDISのプライバシーポリシーを確認するには、当該規約の下記リンクをクリックしてください。



- **ブックマーク修正:** ブックマークを選択してリスト上部の  (ブックマーク修正)ボタンまたはブックマークリストコンテキストメニューの**修正...**を選択してブックマーク情報を修正します。ブックマークを修正する場合、ブックマーク構成ウィンドウを表示して設定を完了するとブックマーク情報が修正されます。
- **ブックマーク削除:** ブックマーク項目の**X**(削除)ボタンまたはコンテキストメニューから**削除**を選択してブックマーク項目を削除します。ブックマーク項目にマウスカーソルを置くと、その項目の右側に**X**(削除)ボタンが表示されます。ブックマーク項目を削除する際に削除ウィンドウが表示され、Shiftを押して削除ボタンを押すと削除ウィンドウが表示されずに、すぐに項目が削除されます。リストの右上にある  ボタンを押すと、すべてのブックマーク項目が削除されます。
- **ブックマークリストの順序制御:** ブックマークリスト項目をドラッグしてブックマークリストのエリア内にドロップすると、その位置に項目が移動します。Ctrlボタンを押してブックマーク項目をドラッグしてブックマークリストのエリア内にドロップすると、その位置にある項目と位置が変更されます。ブックマークリスト上部にある項目名をクリックすると、その項目を基準に昇順または降順で並び替えます。
- **ブックマークのエクセルファイル保存:** ブックマークリスト情報をエクセルファイルで保存します。マップ再生ツールバーの  (Excelとして保存)ボタンをクリックするか、ブックマークリストのコンテキストメニューの**Excelとして保存**を選択して、この機能を実行します。

No	Snapshot	Title	Recorded Time	Site
1		Thumbnail List Mode Test	2019-12-03 AM 11:50:25	LUFFY QA IRAS
2		Delete Test	2019-12-05 AM 10:54:06	RND5.EXOX-124.208

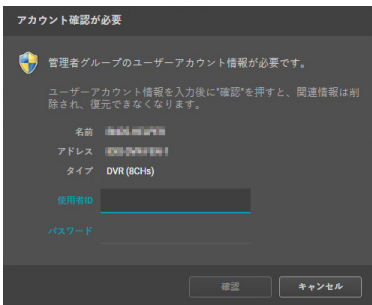
- 4 FENサービス使用に同意するデバイスをチェックして、**同意**ボタンをクリックしてください。



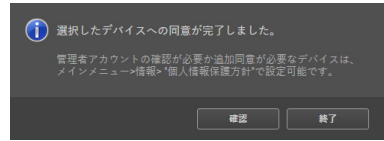
- 5 同意に成功したデバイスは**動作状態**に**完了**と表示されます。同意に失敗したデバイスは**動作状態**および**理由**項目に表示されます。



- 6 デバイスが管理者アカウントでログインに失敗した場合、**動作状態**に**アカウント確認が必要**と表示され、以下のようにアカウント確認が必要ウィンドウが表示されます。当該デバイスを同意するには、デバイスの管理者アカウントを入力して**確認**ボタンをクリックしてください。



- 7 完了したデバイスがある場合、同意完了メッセージが表示され**確認**ボタンをクリックすると追加の同意作業ができます。**終了**ボタンをクリックすると、プライバシーポリシーウィンドウが閉じられます。

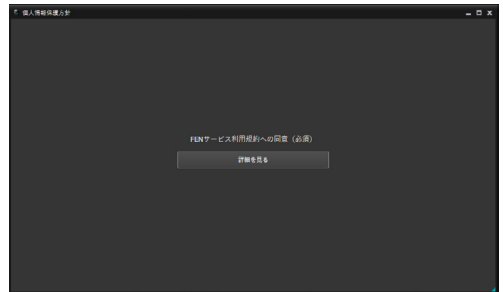


- 8 **確認**ボタンをクリックして **(更新)**ボタンをクリックしたり、**終了**後、プライバシーポリシーウィンドウを再実行すると、同意したデバイスはリストに表示されません。

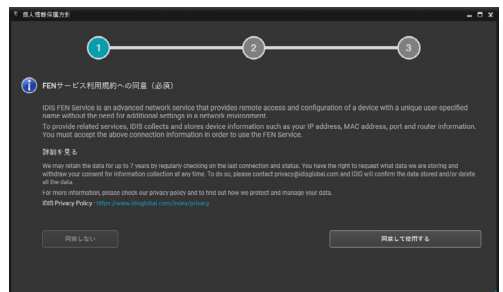
FENサービスを使用しない

FENサービスに登録されたデバイスを使用しません。FENサービスを使用しないデバイスは、個別に選択できます。

- 1 情報メニューで**プライバシーポリシー**を選択します。
- 2 以下のウィンドウが表示されたら、**詳細を見る**をクリックしてください。



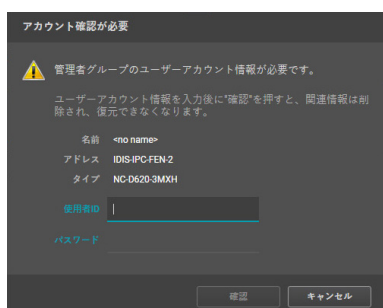
- 3 FENサービス利用規約を確認して、**同意しない**ボタンをクリックしてください。IDISのプライバシーポリシーを確認するには、当該規約の下記リンクをクリックしてください。



- 4 FENサービスを使用しないデバイスをチェックして、**使用しない**ボタンをクリックします。**戻る**をクリックすると、FENサービス利用規約ページに移動します。



- 5 FENサービスを使用しない場合、各デバイスの管理者アカウントをアカウント確認が必要ウィンドウに入力して**確認**ボタンを押してください。管理者アカウントを知らない場合、**スキップ**ボタンをクリックして次のデバイスに移動します。



- 6 使用しない設定が完了されたデバイスがある場合、FENサービスの関連情報削除メッセージが表示されます。**確認**ボタンをクリックすると、追加の使用しないための作業ができます。**終了**ボタンをクリックすると、プライバシーポリシーウィンドウが閉じられます。



- 7 **確認**ボタンをクリックして  (更新)ボタンをクリックしたり、**終了**後、プライバシーポリシーウィンドウを再実行すると、削除されたデバイスはリストに表示されません。

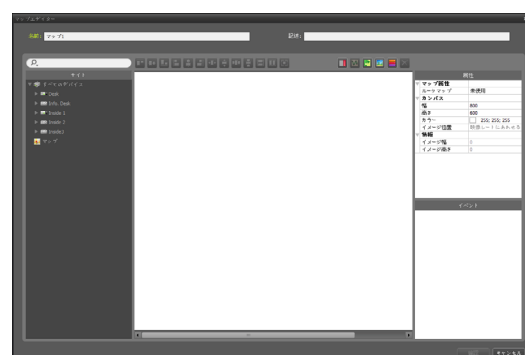
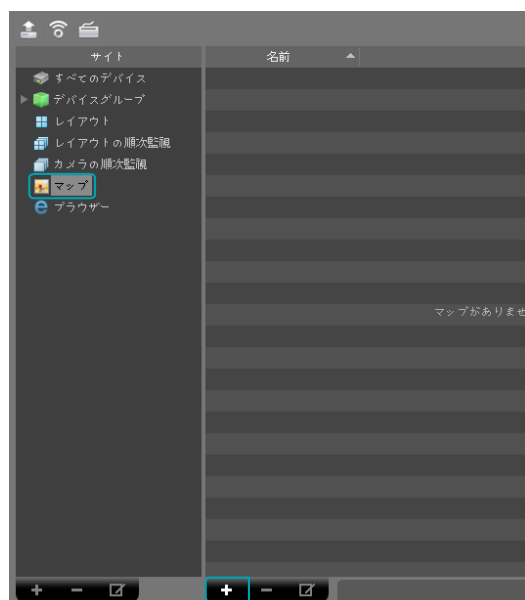
マップエディター

マップを登録してカメラ映像、イベント感知、接続された入/出力デバイスの状態をマップで監視することができます。

マップの登録

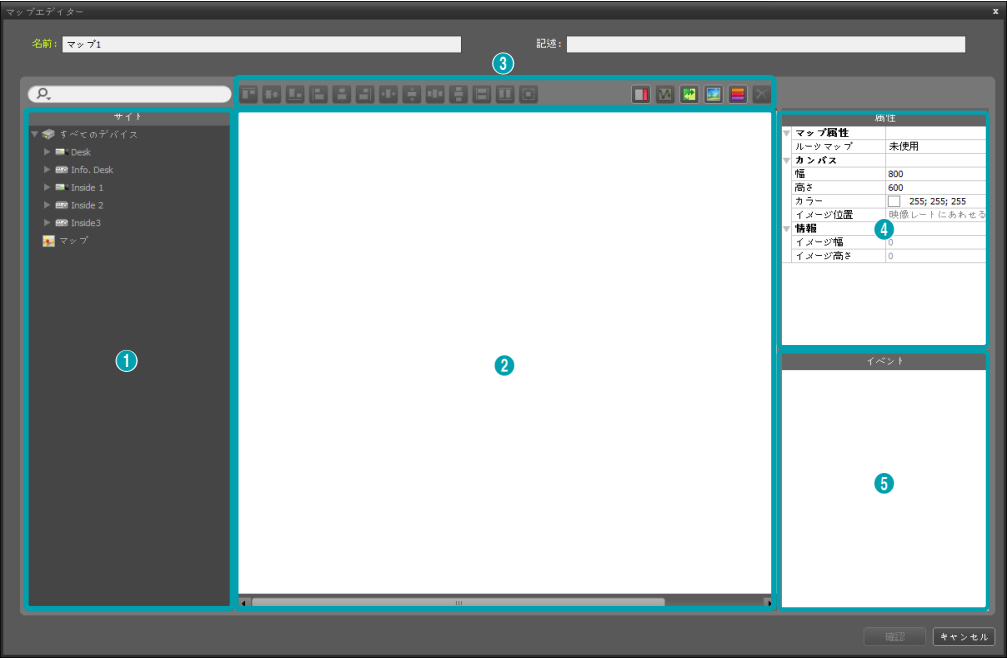
- 1 システムメニューで**IDIS center設定**を選択した後**デバイスメニュー**を選択します。

- 2 **サイト**パネルで**マップ**をクリックした後、右側のサイトリストのパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。**マップエディター**画面が表示されます。



- 3
- サイトパネルでデバイスに接続された入/出力デバイスおよび下位マップを選択しキャンバスでご希望の所にマウスをドラック&ドロップします。
- 4
- マップを設定します。
- 5
- マップ名を入力してから確認ボタンをクリックしてマップの登録を終了します。
- 6
- サイトパネルでマップをクリックした後、左側のサイトリストパネルの下端にある+ボタンをクリックしてマップグループを作成することができます。

マップ設定



1	サイト	登録されたデバイス及びマップリストを表示します。🔍ボタンの横に検索語を入力して登録されたデバイス及びマップを検索することができます。検索語を入力すると、その結果を表示します。
2	キャンバス	マップの背景イメージを挿入してからサイトリストで希望の入/出力デバイスアイコンおよびマップリンクを配置してマップを構成します。

③	設定ボタン	マップを設定します。 ● 整列: カンバスに配置された入/出力デバイスのアイコンまたはマップリンクを使用者の好みで整列します。 ●  (テキストボックス): テキストを入力できるテキストボックスを挿入します。 ●  (経路順次監視): 順次監視経路を設定します。 ●  (マップオブジェクト名の同期化): デバイスの設定によって入/出力デバイスの名前を同期化します。 ●  (背景イメージ投入): カンバスに希望の背景イメージを入れます。 ●  (状態カラー): マップにイベント感知および入/出力デバイスの状態を固有の色で表示するように設定することができます。 ●  (削除): カンバスで入/出力デバイスのアイコンまたはマップリンクを選択してからクリックボタンをクリックすると選択した入/出力デバイスアイコンまたはマップリンクをカンバスから削除します。
④	属性	マップ、マップのキャンバスまたはキャンバスに配置された入/出力デバイスアイコンおよびマップリンクの属性を設定します。
⑤	イベント動作	カンバスに配置された入/出力デバイスアイコンのイベント動作を設定します。マップ監視時イベントが発生すると設定した通りにイベント発生を通知します。

アイコンの整列

1つ以上の入/出力デバイスアイコンおよびマップリンクを選択してから整列ボタンをクリックしてカンバスでの配置および大きさを一括に修正することができます。



-  /  (位置調節): 1つ以上のアイコンに対して選択したアイコンを背景イメージの縦/横の中央整列します。
-  / 、 /  (位置調節): 2つ以上のアイコンに対して選択したすべてのアイコンを一番後で選択したアイコンを基準に上段/下段、縦/横の中央または左/右に整列します。
-  (間隔調節): 3つ以上のアイコンに対して選択したデバイスの間をすべて同じに整列します。
-  /  /  (大きさ調節): 2つ以上のアイコンに対して選択したアイコンの幅/高さ/大きさをすべて同じく調節します(幅および高さの比率が異なる同じアイコンのみ該当)

属性

カンバスまたはキャンバスに配置された入/出力デバイスアイコンおよびマップリンクの属性を設定することができます。カンバスまたはアイコン、マップリンクを選択してから属性の各項目を選択して希望の値を直接入力したりドロップダウンメニューで希望の値を選択します。

属性	
マップ属性	
ルーツマップ	未使用
キャンバス	
幅	1920
高さ	1080
カラー	<input type="color"/> 255; 255; 255
イメージ位置	映像レートにあわせる
イメージ幅	1920
イメージ高さ	1080

- **マップ属性:** マップの属性を設定します。ルートマップを使用に設定すると、マップ監視時マップパネルの右側にマップに登録されているデバイスのリストを表示します。



マップパネルである場合のみ該当

- **キャンバス:** キャンバスおよびキャンバスに入れた背景イメージの属性を設定します。
 - **幅、高さ、カラー:** キャンバスの幅、高さ、カラーを選択します。
 - **イメージ 位置:** キャンバスに入れた背景イメージの位置を設定します。
 - **情報:** キャンバスに入れた背景のイメージの幅および高さの情報を表示します。

属性	
一般	
名前	CAM1
アイコン	カメラ
倍率	75
X 座標	130
Y 座標	289
幅	48
高さ	48
ハロー効果	未使用
カメラビュー	未使用
情報	
名前	CAM1
サイト	<no name>
IP アドレス	NVR_WAN_00032260D5A
番号	1

- **デバイス:** 選択した入/出力デバイスアイコンの属性を設定します。
 - **名前:** デバイスアイコンの名前を設定します。
 - **アイコン、倍率:** デバイスアイコンの模様および倍率を設定します。
 - **X座標/ Y座標、幅/高さ:** デバイスアイコンの位置および大きさを設定します。キャンバスでアイコンをマウスのドラッグ&ドロップして設定することもできます。
 - **連動カメラ:** デバイスにカメラを連動することができます。カメラを連動するとそのイベント感知時連動したカメラの映像を監視することができます。また、アラームイン装置でマップリンクを指定することができます。



アラームインまたはオーディオ入力のデバイスである場合のみ有効です。

- **ハロー効果:** アイコンの背景にカラーを設定してマップでそのデバイスを簡単に探せます。
- **カメラビュー:** 画角、パン、距離などを設定します。



該当デバイスがカメラに限り対応

- **情報:** デバイスの情報を表示します。

属性	
一般	
名前	Map1
X 座標	113
Y 座標	190
幅	128
高さ	32
満たす	使用
アイコン	使用
フォントのサイズ	8
フォントスタイル	通常
テキストカラー	255; 255; 255
背景カラー	85; 110; 215
不透明度	80
文字整列	左
情報	
名前	Map1

- **マップリンク:** 選択したマップリンクの属性を設定します。
 - **名前:** マップリンクの名前を設定します。設定した名前がマップリンクに表示されます。
 - **X座標/ Y座標、幅/高さ:** マップリンクの位置および大きさを設定します。キャンバスでマップリンクをマウスのドラッグ&ドロップで設定することもできます。
 - **テキストカラー、背景カラー:** マップリンクのテキストカラーおよび背景カラーを設定します。
 - **不透明度:** マップリンクの背景カラーの不透明度を設定します。
 - **文字整列:** マップリンクの文字を整列します。
 - **情報:** マップの名前を表示します。

経路順次監視

順次監視経路を設定してマップ監視する時、多数のカメラの映像を同一のカメラ画面で順次監視することができます。経路順次監視のためには、キャンバスで各カメラに順次監視経路が設定されてある必要があります。

- 1  (経路順次監視)ボタンをクリックします。
- 2 キャンバスで各カメラアイコンを監視しようとする順番でクリックします。
- 3 マウス右側ボタンをクリックして設定を終了します。経路設定が終わったら経路を選択してから経路の属性を設定します。

属性	
▼ 一般	
名前	Path Sequence 1
▼ 経路順次監視	
カラー	 5; 159; 175
不透明度	80
幅	5
形	楕円
背景カラー	 0; 241; 252
不透明度	65
方向転換	
▶ マージン	4; 4; 4; 4
▼ 連動デバイス	
▼ CAM1	接続終了
持続時間	20
▼ CAM2	
持続時間	20

属性	
▼ 一般	
X 座標	583
Y 座標	324
幅	126
高さ	81
▼ テキストイン設定	
テキストイン設定	test
フォント	Microsoft Sans Serif
フォントのサイズ	9
▶ テキストカラー	 0; 0; 0
▶ 背景カラー	 255; 255; 255
▶ マージン	2; 2; 2; 2
文字整列	左, 上
太字	未使用
斜体	未使用
下線	未使用

● **テキストボックス:** 選択したテキストボックスの属性を設定します。

- **テキスト:** テキストを設定します。設定したテキストがマップに表示されます。
- **フォント、フォントサイズ:** フォント、フォントサイズを設定します。
- **テキストカラー、背景カラー:** テキストのテキストカラーおよびテキストボックスの背景カラーを設定します。
- **文字整列:** テキストを整列します。
- **太字、斜体、下線、取り消し線:** テキストを太字にすることや、イタリック体、下線、取り消し線を設定します。
- **X座標/Y座標、幅/高さ:** テキストボックスの位置および大きさを設定します。キャンバスでテキストボックスをマウスのドラッグ&ドロップで設定することもできます。

- **名前:** 経路の名前を設定します。
- **カラー/不透明度/幅:** マップに表示される経路のカラー/不透明度/幅を設定します。
- **形:** マップ監視する時、経路順次監視が設定されたカメラの映像を表示する時、そのカメラを区別するための標識アイコンの形を設定します。
- **背景カラー/不透明度/幅:** マップ監視する時、経路順次監視が設定されたカメラの映像を表示する時、標識アイコンのカラー/不透明度/幅を設定します。
- **方向転換:** 経路の方向を転換します。
- **連動デバイス:** 経路順次監視が設定されたカメラのリストを表示します。マップ監視する時、リストの順番で設定された**持続時間**、順次監視を行います。

4 リストでカメラを選択してから**解除**をクリックするとそのカメラを経路順次監視で削除します。

イベント動作

カンバスに配置された入/出力デバイスについてはイベント感知時行う動作を設定することができます。アイコンを選択してから項目を選択し、ドロップダウンメニューで希望の値を選択します。

イベント	
▼ アクション	
▼ クリック	
インスタントヒ	使用
デバイス情報	未使用
▼ アクション	
▼ モーション検出	
ライブポップア	未使用
イベントのサ	未使用
イベントスポ	使用
▼ 物体検出	
ライブポップア	未使用
イベントのサ	未使用
イベントスポ	使用
▼ 映像信号ロス	
ライブポップア	未使用
イベントのサ	未使用
▼ トリップゾーン	
ライブポップア	未使用
イベントのサ	未使用
イベントスポ	使用
▼ タンパーリング	
ライブポップア	未使用
イベントのサ	未使用



- マッピング監視する際、入/出力デバイスのイベント動作を無視するように設定した場合は、下記の設定とは関係なくイベントは動作しません。
- イベント動作無視設定**をするためには、マウスのカーソルをマップの入出力デバイスの上に当て、マウスの右クリックでイベント動作無視を選択してください。

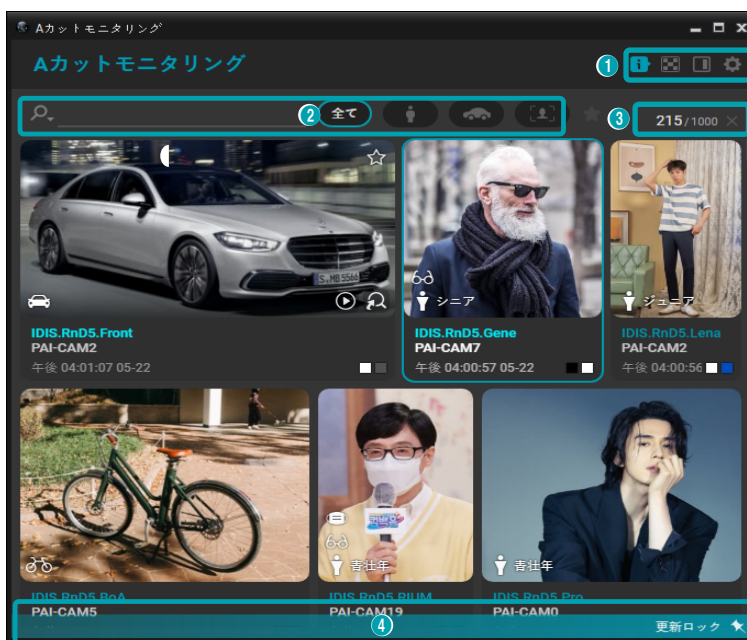
- クリック:** マッピングでデバイスアイコンをクリックする時インスタントビューアーウィンドウが表示されるように設定することができます。アラームアウトデバイスである場合、アイコンをクリックしてアラーム出力を動作させたり解除したり設定することができます。指定された時間にわたって動作/解除を遅らせるように設定できます。
- モーション検知、オブジェクトトラッカー、映像信号ロス、映像遮断、アラームインなど:** 各イベントが感知する場合行う動作を設定または解除します。
- ライブポップアップ:** そのカメラ(デバイスがカメラではない場合、連動されたカメラ)の映像がポップアップします。
- イベントスポット:** そのカメラ(デバイスがカメラではない場合、連動されたカメラ)の映像がイベントスポット画面に表示されます。
- イベントのサウンド:** オーディオファイル(.wav)を設定するとオーディオを出力します。

A-カット監視パネル

画面構成

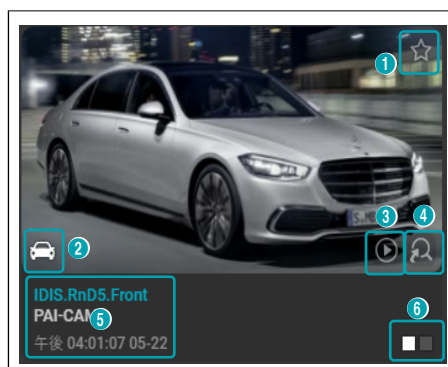
監視タブに登録されているカメラデバイスから受信した A-カットを確認できます。

ポップアップの構成



- ① ポップアップの設定および機能一覧エリア
- ② フィルタリング設定エリア
- ③ A-カット項目数および表示ウィジェットおよびすべての項目削除ボタン
- ④ アップデートロックステータスバー

A-カット項目の構成

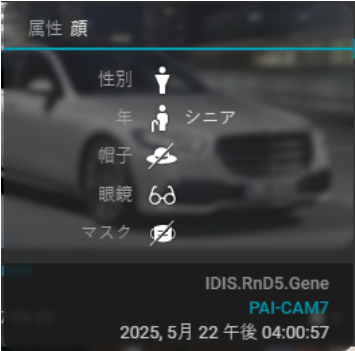


- ① ブックマークの指定 / 解除を選択します。
- ② A-カット項目のプロパティを表示します。
- ③ 選択したA-カット区間の簡易再生を実行します。
- ④ 選択したカメラを再生タブに登録し、A-カット区間の開始サイトに時間移動します。
- ⑤ A-カット項目の録画サイト、カメラ名と録画時間を表示します。
- ⑥ 色情報を表示します。

A-カット項目コンテキストメニュー

削除 お気に入りとしてマーク すべてのお気に入りをリセット お気に入り以外のものを削除する 属性の配置	削除：選択したA-カット項目を削除します。 お気に入りとしてマーク：選択したAカット項目をお気に入りに登録／解除します。 すべてのお気に入りをリセット：すべてのA-カットのブックマーク項目を指定解除します。 お気に入り以外のものを削除する：すべてのA-カット項目のうちブックマークに指定されていない項目を削除します。 属性の配置：属性の表示形式を設定します。（自動／横／縦）
---	--

A-カット項目のツールチップ



属性 顔

性別 年 シニア

帽子 眼鏡 63 マスク

IDIS.RnD5.Gene
PAI-CAM7
2025, 5月 22 午後 04:00:57

① A-カット項目の物体のタイプを表示します。

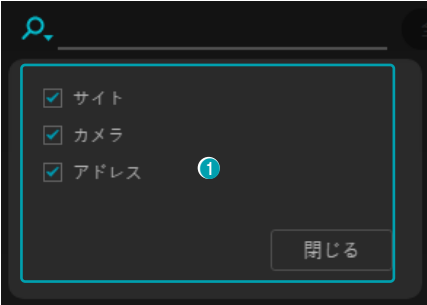
② A-カット項目のプロパティを表示します。

③ A-カット項目の録画サイト名、カメラ名および録画時間を表示します。

フィルタリング



2 3 4 5



1



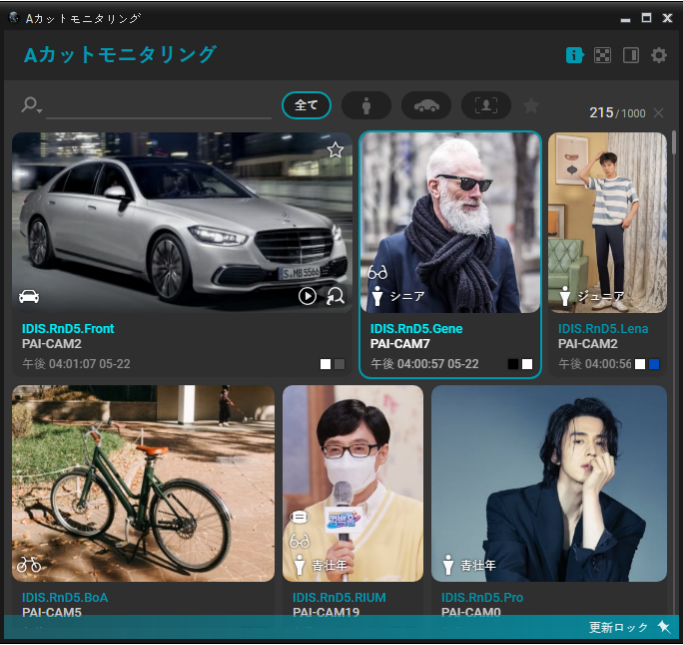
6

① テキストフィルターの対象範囲を指定します。

- ② テキストを入力します。
- ③ 物体のタイプフィルターを初期化します。
- ④ 物体のタイプ別フィルターのプロパティ選択ウィジェットを表示します。 マウスの右クリックで最後のプロパティ設定ですぐにフィルタリングできます。
- ⑤ ブックマークを設定した項目のみ表示します。 他のフィルターオプションと同時に使用できます。
- ⑥ 選択した物体のタイプに対するフィルタープロパティを選択できます。

アップデートロック

A-カット項目をクリックすると、アップデートがロック状態になります。アップデートのロック状態が維持されている間、追加されるA-カット項目の表示を延期します。アップデートのロック状態を解除すると、アップデートが延期されたA-カット項目を一括表示します。アップデートのロック状態は選択されたA-カット項目をクリックするか、ポップアップのアップデートロックバーをクリックして解除できます。ポップアップの設定で指定したアップデートのロック維持時間が経過すると、自動的にステータスが解除されます。

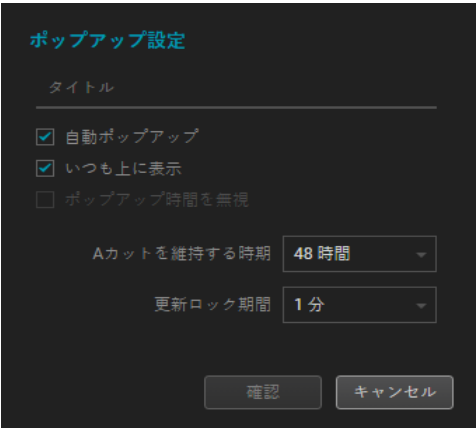


機能集約

	① (ツールチップ使用): A-カット項目にマウスハーバーツールチップを表示します。 ② (モザイクモード): サイト名、カメラ名、録画時間表示を省略します。 ③ (側面配置): IDIS Centerの設定 - [画面分割] - [側面パネルの位置]に設定された位置にウィンドウの位置とサイズを変更します。 ④ (設定): ポップアップ設定ウィジェットを表示します。
--	--

設定

ポップアップの設定

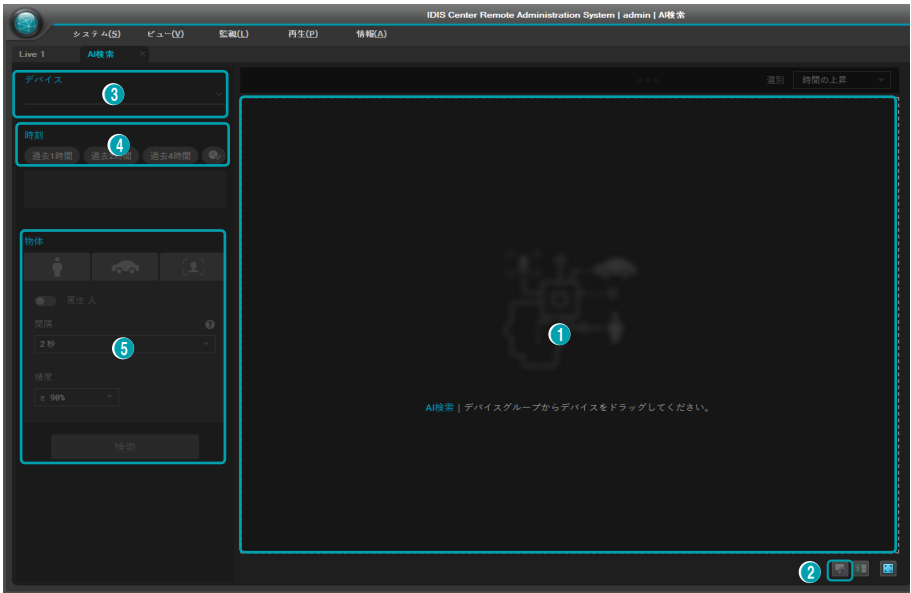


- タイトル：ポップアップのタイトルを設定します。
- 自動ポップアップ：A-カットを受信したときのポップアップのウィンドウを自動実行します。
- 常に上に表示：A-カットのライブポップアップウィンドウをスクリーンの一番前に表示します。
- A-カット維持時間：A-カット項目を維持する時間を設定します。A-カット維持時間が経過すると、そのA-カットを削除します。
- アップデートロック維持時間：アップデートのロック状態の維持時間を設定します。設定した時間が経過すると、アップデートのロック状態が解除されます。

サイト登録および検索

登録

- 1 サイトリストからデバイスを選択し、中央のパネルあるいは左の検索設定パネルにドラッグします。サイト登録が可能かどうかによって中央パネルに次の図のように枠が表示されます。

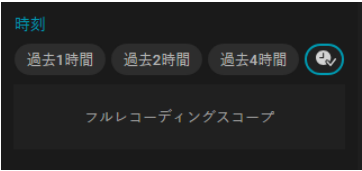


1 パネルの枠表示

青色	サイト接続が可能な状態	赤色	AI検索機能をサポートしていないサイト
----	-------------	----	---------------------

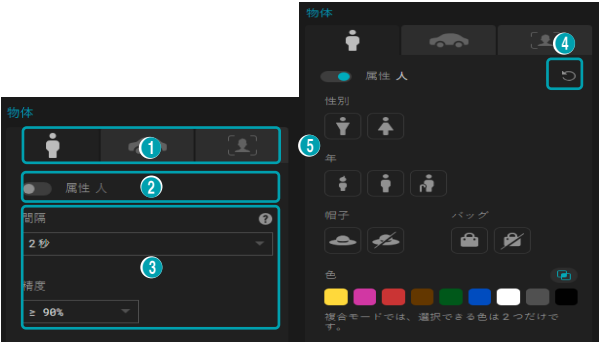
灰色	既に登録されているサイトと同じサイトの接続を試みる	黄色	検索中などの理由でサイト登録が不可能な状態
オレンジ色	既に登録されているサイトと異なるサイトの接続を試みる	X	ズームアウト

- ② (サイト登録の解除): 登録されているサイトを登録解除します。
- ③ 検索デバイス: 入力した文字列でデバイスをフィルタリングします。個別のデバイスに対する検索をするかどうかを選択します。
- ④ 検索範囲: 現在の時点から特定の期間を選択するプリセットモードと検索区間をユーザーが直接選択するユーザー指定モードで、検索区間を設定します。下には現在選択されている区間が表示されます。



- 直近1時間: 現在の時間を基準に1時間までのデータを検索します。
- 直近2時間: 現在の時間を基準に2時間までのデータを検索します。
- 直近4時間: 現在の時間を基準に4時間までのデータを検索します。
- ユーザー指定: 検索範囲をユーザーが選択します。日、週単位でカレンダーから選択するか、開始範囲と終了範囲を入力して検索区間を指定します。

⑤ 検索設定



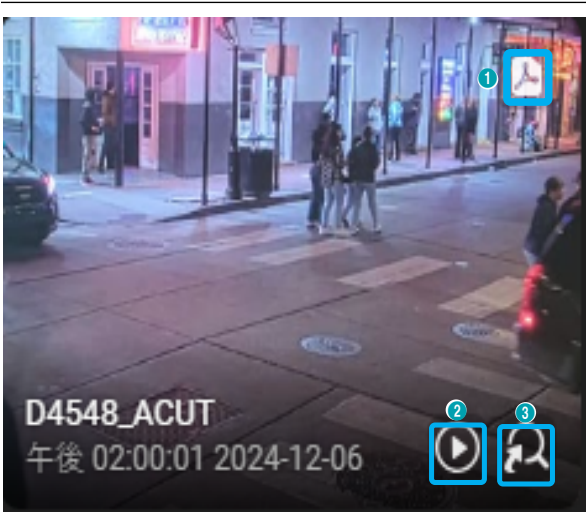
- ① 検索対象物体のタイプを選択します。
- ② プロパティの検索 / インターバル検索をするかどうか選択します。
- ③ 検索間隔と最小正確度を指定します。
- ④ 選択されたプロパティの設定をすべて選択解除します。
- ⑤ 検索するプロパティを選択します。色を選択すると一般モードと複合モードを選択でき、複合モードを使用すると2色のみ選択することができます。

検索結果

検索結果



- ① 検索またはエクセルファイル保存中に有効になります。
- ② 検索結果の個数を表示します。
- ③ 検索データ削除ボタン: 検索が完了するとボタンが有効になり、クリックするとデータを削除します。
- ④ 選択された順序で検索データを並べ替えます。
- ⑤ 検索の進行状況を表示します。



① 選択したA-カット項目の画像とデータをPDF形式で保存します。

② 選択したA-カット区間の簡易再生を実行します。

③ 選択したカメラを再生タブに登録し、A-カット区間の開始サイトに時間移動します。

検索結果ツールチップ

属性 オフ

個数 1 (人 ≥ 90%)

精度 98%

D4548_ACUT

2024. 12月 06 午後 02:00:04

属性 人

性別 年 青壮年

帽子

バッグ

色

D4548_ACUT

2024. 12月 06 午後 02:00:03

- ① プロパティを検索するかどうか、プロパティを検索する場合の物体の種類を表示します。
- ② その項目のデータを表示します。
- ③ カメラ名と録画された時間を表示します。

検索結果表示オプション

① ② ③



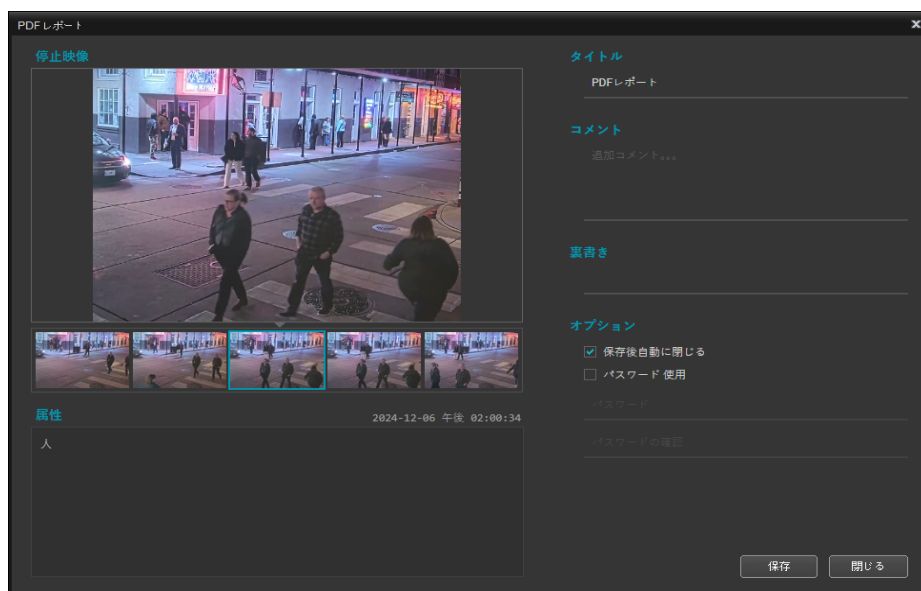
① カメラ、録画時間情報をデフォルト表示するかどうかを変更します。

② サムネイル画像のサイズを変更します。

③ ツールチップを使用するかどうかを変更します。

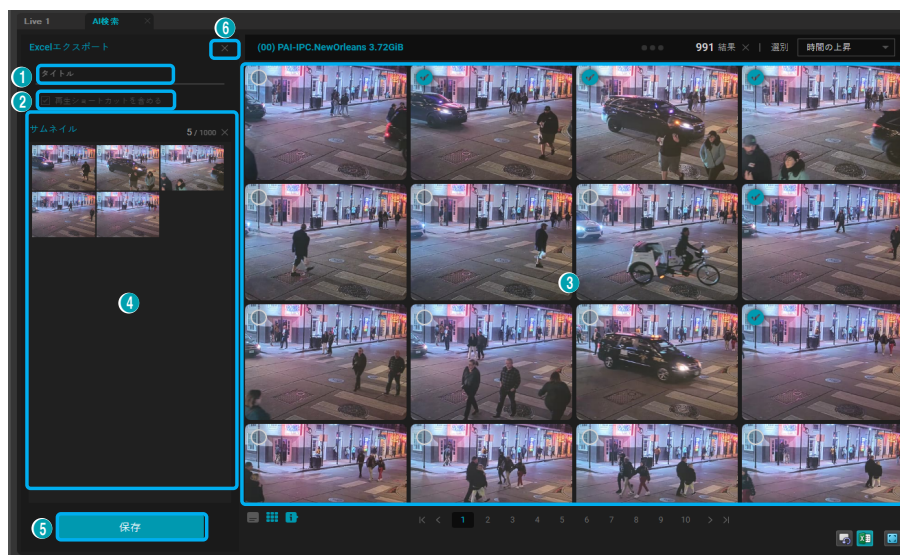
保存

PDFで保存



- タイトル：PDFレポートのタイトルを指定します。
- コメント：PDFレポートに追加するコメントを作成します。
- フッター：PDFレポートに追加するフッターを作成します。
- 保存後自動的に閉じる：PDFレポート保存後、ポップアップを自動的に閉じるかどうかを選択します。
- パスワードの使用：パスワードを使用するかどうかを選択し、パスワードを設定します。

エクセルファイルで保存



- 1 エクセルファイルのタイトルを指定します。

- ❷ 再生ショートカットを含む：エクセルファイルに再生ショートカットのリンクを含めます。含まれているリンクは保存したPCでのみ使用が可能です。
- ❸ エクセルファイルに含まれる項目を選択します。最大1000項目を選択できます。
- ❹ 選択した項目のプレビューを表示します。表示されたプレビューをクリックすると、検索結果のその項目に移動します。選択項目数表示ウィジェットの右のXボタンをクリックしてすべての項目を選択解除できます。
- ❺ エクセルファイルの保存を実行します。
- ❻ エクセル保存ウィジェットのXボタンまたはエクセルファイル保存ボタンをクリックして保存モードを終了できます。

ネットワークキーボードを利用した制御

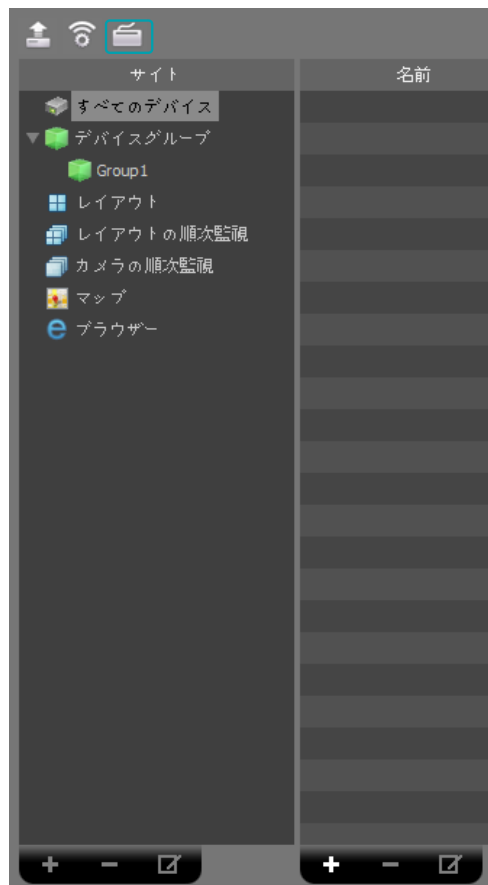
ネットワークキーボードを利用してIDIS centerプログラムを制御することができます。

- ☒ 特定モデルのネットワークキーボードの場合のみ対応します。

登録

IDIS centerプログラムでネットワークキーボードを登録します。

- 1 システムメニューで設定を選択した後、デバイスメニューを選択してください。
- 2  (ネットワークキーボード設定)ボタンをクリックします。**ネットワークキーボード検索**画面が出ます。ネットワークキーボード登録方法はデバイス登録方法と同一です。詳しい内容は、[p. 13 デバイスの登録](#)部分を参照してください。



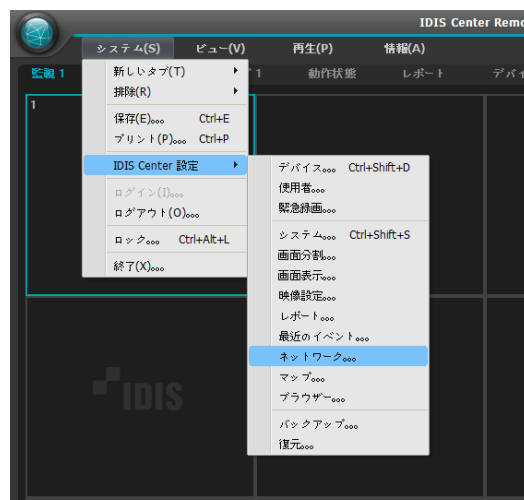
- 3 ネットワークキーボードにIDIS centerシステムを登録します。詳しい内容は、ネットワークキーボード取扱説明書を参照してください。

- **ID(IDIS centerシステムID):** IDIS centerシステム登録時に自動で割り当てられ、変更が可能です。

☒ 設定されたIDは他のIDIS centerシステムとの区別のために使用されるので、固有のIDに設定しなければなりません。

- **名前:** 使用者の便宜のためにIDIS centerシステムの名前を設定します。
- **IPアドレス:** IDIS centerシステムのIPアドレスを登録します。**FEN使用**項目は選択しないでください。
- **制御ポート:** IDIS centerシステムで設定した制御ポートを入力します。制御ポートはシステム>IDIS center設定>ネットワーク>ネットワークキーボード設定で確認してください。
- **使用者ID、パスワード:** IDIS centerシステムに接続する時使用する使用者ID、パスワードを入力します。

- 5 ネットワークキーボード 使用項目を選択してIDIS centerシステムでネットワークキーボード使用を設定します。



- 4 システムメニューでIDIS center設定を選択し、ネットワーク設定を選択してください。

接続

- 1 ネットワークキーボードで**IDIS centerシステムID**をクリックします。



- 2 **DEV**ボタンを押すとネットワークキーボードがIDIS centerシステムに接続します。接続が成功すると各カメラ画面とパネルタブに次のように固有IDが表示されます。



- 3 **SHIFT**ボタンと**DEV**ボタンを同時に押すと接続が解除されます。



実行

映像監視

- 1 ネットワークキーボードで監視パネルタブIDをクリックします。



- 2 **DEV**ボタンを押します。



- 3 カメラ画面IDをクリックします。



- 4 **PANE**ボタンを押します。



- 5 ネットワークキーボードに接続されているマウスを利用して**サイトリスト**で接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。

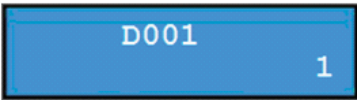
- 6  (メニュー)ボタンを押します。監視画面のメニューが表示されます。



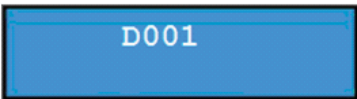
ネットワークキーボードの矢印ボタンを利用して、メニューに移動した後、エンターボタン $\left[\downarrow \right]$ を押すと、該当メニューを選択、又は選択を解除することができます。現在設定中のメニューを抜ける場合は  (メニュー)ボタンを押した後で該当メニューの選択を解除することができます。

映像再生

- 1 ネットワークキーボードで再生タブIDをクリックします。



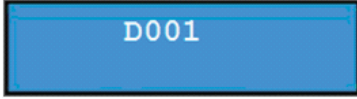
- 2 DEVボタンを押します。



- 3 カメラ画面IDをクリックします。



- 4 PANEボタンを押します。



- 5 ネットワークキーボードに接続されているマウスを利用して**サイト**リストで接続するサイトを選択した後、再生画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。

- 6  (メニュー)ボタンを押します。再生画面のメニューが表示されます。



ネットワークキーボードの矢印ボタンを利用して、メニューに移動した後、エンターボタン $\left[\downarrow \right]$ を押すと、該当メニューを選択、又は選択を解除することができます。現在設定中のメニューを抜ける場合は  (メニュー)ボタンを押した後に該当メニューの選択を解除することができます。

ネットワークキーボードボタン

下記の表はネットワークキーボードを利用してIDIS centerシステムを制御する時に使用するボタンの説明です。

 PTZ制御関連ボタンはネットワークキーボード取扱説明書をご参照ください。

実行命令ボタン

ボタン	説 明	動 作
	番号(1~9)	ID →  、  、  制御するモニタ、カメラ画面、パネルタブ及びIDIS centerシステムを選択します。
	番号(0)	命令ボタンでは動作しません。
	Shift	 → ボタン: 命令が2つの機能を実行する場合、2番目の機能を実行します。
	Esc	 : 実行命令中に命令を取り消します。
	接続	IDIS centerシステム ID →  : IDIS centerシステムを制御することができます。
	解除	 &  : IDIS centerシステム接続を解除します。
	パネルタブ	タブID →  : 該当パネルを選択します。
	カメラ画面	モニターID →  : 該当カメラ画面を選択します。
	モニター	モニター ID →  : モニターを選択できます。
	—	 : 現在選択されたカメラ画面又はデバイスの接続を解除します。
	機能(1~8)	● F1: 二つ以上のモニタを使用する場合、モニタIDを表示します。 ● F7 ( & F3): システムメニュー → IDIS center設定画面の表示、非表示を切り替えます。 ● F8 ( & F4): IDIS centerプログラムのソフトウェアバージョンの表示、非表示を切り替えます

IDIS centerシステム制御ボタン



接続されたデバイスの種類及びバージョンにより一部機能が対応できない可能性があります。

ボタン	説 明	動 作
	緊急録画オン	カメラ画面ID → : 選択したカメラ画面の映像に対して緊急録画を実行します。
	緊急録画オフ	カメラ画面ID → [SHIFT] & : 選択したカメラ画面の映像に対して緊急録画を中止します。
	アラーム出力オン	● カメラ画面ID → : 選択したカメラ画面に接続されたデバイス1番アラーム出力を動作させます。 ● アラーム出力装置番号 → : 選択したアラーム出力を動作させます。
	アラーム出力オフ	● カメラ画面ID → [SHIFT] & : 選択したカメラ画面に接続されたデバイス1番アラーム出力を解除します。 ● アラーム出力装置番号 → [SHIFT] & : 選択したアラーム出力を解除します。
	分割表示	● : 画面分割を変更することができます。矢印及びエンターボタン を利用して画面分割を選択します。 ● [SHIFT] & : 1x1分割画面に変更します。ボタンを再度押すと以前画面分割に戻ります。
	グループ	: 次の画面グループに移動します。
	フリーズ	: 監視画面を一時停止させます。
	ズーム	[SHIFT] & : 監視画面の特定部分を拡大します。矢印及びエンターボタン を利用して拡大領域を移動させることができます。
	フルスクリーン	パネルタブID → : 該当パネルタブをフルスクリーンで表示します。
	検索/監視	● : 再生パネルを表示して、監視パネルで選択されたカメラ画面に接続されているデバイスの録画映像を検索、再生することができます。 ● [SHIFT] & : 以前の監視パネルに戻ります。
	早巻戻し再生	: 録画映像を早巻戻し再生します。
	1フレーム巻戻し再生	[SHIFT] & : 録画映像を1フレームずつ巻戻し再生します。
	再生/一時停止	: 録画映像を再生します。再生中にボタンを押すと映像を一時停止させます。
	倍速再生	: 録画映像を倍速再生します。
	1フレーム再生	[SHIFT] & : 録画映像を1フレームずつ再生します。

	メニュー	選択したカメラ画面の画面のメニューを表示します。
	エンター 	● 選択したカメラ画面の画面のメニューで項目を選択します ● 拡大モードで映像の拡大率を変更します。
	矢印	● 選択したカメラ画面の画面のメニューで各項目に移動します。 ● 拡大モードで拡大領域を移動させることができます。 ● 再生モードのみ動作します。 ● 再生モード中に一時停止状態で映像を1フレームずつ再生します。ジョグダイヤルを時計方向または反時計方向に回して再生または巻戻し再生します。
	ジョグダイヤル	● ジョグダイヤルを回して監視映像を拡大および縮小します。 ● 再生モード中に一時停止状態で映像を1フレームずつ再生します。
	シャトルリング	● シャトルコントロールを利用して監視映像を連続的に拡大および縮小します。 ● デバイスに録画された映像を再生する際に再生速度を変更します。

第6章 – 付録

ショートカットキー

システムメニュー

システム

ショートカットキー	動作
Ctrl + E	スクリーンキャプチャ画像ファイルの保存、これ以外にログの保存に対応している場合はログファイルの保存を実行。
Ctrl + Alt + P	スクリーンキャプチャ画像の出力、これ以外にプリンター出力に対応しているタブではプリンター出力を実行。
Ctrl + Alt + L	クライアントのS/Wロック機能手動実行。
Ctrl + Shift + P	Preference Device ページを実行。

画面

ショートカットキー	動作
Ctrl + Enter	選択したタブの全画面トグル。
Ctrl + Alt + Enter	選択したタブのツールバーを含む全画面トグル。
Ctrl + F	画面分割の選択/作成ダイアログボックスポップアップ。
Ctrl + PgDn	画面分割の前のグループに移動。

Ctrl + PgUp	画面分割の次のグループに移動。
Shift + Enter	選択したカメラペイン1 x 1分割トグル。
PgDn	選択したカメラペインの前のペインを選択。
PgUp	選択したカメラペインの次のペインを選択。
F3	拡大実行。
Ctrl + Q + ROI-Drag	選択したカメラペインの映像画像をドラッグして指定し、エリアのピクセルカウンターを表示。
Ctrl + Alt + E: (IDIS Center)	緊急イベントパネルポップアップトグル。
Alt + F6	メインフレームにドッキングされているタブの右側のタブを選択
Alt + Shift + F6	メインフレームにドッキングされているタブの左側のタブを選択

監視

ショートカットキー	動作
T	選択したタブの全画面トグル。
Shift + Home	選択したタブのツールバーを含む全画面トグル。
Home	画面分割の選択/作成ダイアログボックスポップアップ。
Pause(Break)	画面分割の前のグループに移動。
F9	ライブズームポップアップトグル

再生

ショートカットキー	動作
Ctrl + Space	選択したカメラペインの再生セッション再生/停止トグル。
Ctrl + Shift + Space	選択した再生スクリーンの再生セッション一括再生/停止トグル。
Ctrl + L	シャトルステップ速度を上げる/ステップ別制御/キー入力の間連続実行。
Ctrl + J	シャトルステップ速度を下げる/ステップ別制御/キー入力の間連続実行。
Ctrl + K	シャトルステッププリセット（再生停止）。
Ctrl + P	順方向1 x 再生。
Ctrl + H	順方向高速再生/ステップ別制御。
Ctrl + G	逆方向高速再生/ステップ別制御。
Ctrl + T	時間移動の時間設定ダイアログボックスポップアップ。
Home	最初の時点に移動。
End	最後（直近）の時点に移動。
F	フレーム単位で次に移動
D	フレーム単位で前に移動
Ctrl + キーボードの右矢印ボタン	1秒単位で次に移動/キー入力の間連続実行。
Ctrl + キーボードの左矢印ボタン	1秒単位で前に移動/キー入力の間連続実行。

Shift + キーボードの右矢印ボタン	1分単位で次に移動/キー入力の間連続実行。
Shift + キーボードの左矢印ボタン	1分単位で前に移動/キー入力の間連続実行。
Alt + キーボードの右矢印ボタン	10分単位で次に移動/キー入力の間連続実行。
Alt + キーボードの左矢印ボタン	10分単位で前に移動/キー入力の間連続実行。
（再生ボタンの上）マウスホイールボタンをスクロール	ジョグフレーム単位で移動。
（前/次ボタンの上）マウスホイールボタンをスクロール	保存されている時間単位で移動。
（シャトルの上）マウスホイールボタンをスクロール	シャトルステップを制御。
（シャトルの上）マウスの右ボタンをクリック	シャトルロックトグル。
（シャトルの上）マウスホイールボタンをクリック	シャトルリセット（再生停止、ロック解除）

監視

ショートカットキー	動作
L	双方向オーディオのプレビュー再生トグル。
Tab	カメラペイン映像のストリーム情報OSD表示トグル。
(ライブポップアップの上) F4	ライブポップアップタイムアウトタイマーのキャンセル（解除）。

スクリーン

ショートカットキー	動作
ペイン(A)をドラッグしてペイン(B)にドロップ	ペインの位置変更/A、Bすべてのデバイスが登録されている場合、2つのペインのデバイスを互いに変更。
C + ペイン(A)をドラッグしてペイン(B)にドロップ	Aに登録されているデバイスをBに複製。
ペイン(A)をドラッグして別のスクリーンのペイン(B)にドロップ	Aに登録されているデバイスをBとして複製/Aが単再生であり、Bが再生スクリーンの場合、デバイス登録およびその時点で GoTo。

シーケンス

ショートカットキー	動作
Shift + PgDn	次のレイアウトに移動。

Shift + PgUp	前のレイアウトに移動。
Ctrl + Shift + PgDn	カメラ順次監視の次の項目に移動。
Ctrl + Shift + PgUp	カメラ順次監視の前の項目に移動。

ホバーツールバー

ショートカットキー	動作
(ホバーツールバーの上) マウスホイールボタンをスクロール	ホバーツールバー項目の左/右スクロール移動。

メッセージボックス

ショートカットキー	動作
Ctrl + C	メッセージボックスのダイアログボックスの内容文字列をクリップボードにコピー、テキストエディタ（メモ帳）にCtrl + V すると内容を貼り付け。

デバイス

ショートカットキー	動作
NumericID, Ins	選択したカメラペインに NumericID デバイスを登録（ルートデバイス、カメラに対応）。
NumericID, L + Ins	選択したスクリーンにNumericIDのレイアウトを登録

Del	選択したカメラペインに登録されているデバイスの登録（接続）解除。
Ctrl + Del	選択したカメラペインに登録されているデバイスのルートデバイスに関連するカメラペインデバイスの登録（接続）解除。
Shift + ドラッグ&ドロップ	選択したカメラペインに登録されているデバイスの登録（接続）解除。
Shift + A + ドラッグ&ドロップ	スクリーンに登録されているデバイスの一括登録（接続）解除。
Ctrl + Alt + A + デバイスをカメラペインにドロップ	スクリーン分割自動拡張デバイスの登録。
ライブポップアップパネルにドロップ	地点ツリーの下のライブポップアップでデバイスをドラッグ&ドロップすると、ライブポップアップを強制実行
マップペインにドロップ	マップページのペインにデバイスをドラッグ&ドロップすると、そのデバイスの位置にフォーカス

Smart UX

簡単再生

ショートカットキー	動作
I	以前に実行した時間感覚で簡単再生トグル。
Shift + I	1分簡単再生トグル。
Space	再生/停止トグル。
L	再生速度を上げる/ステップ別制御/キー入力の間連続実行。

J	再生速度を下げる/ステップ別制御/キー入力の間連続実行。
K	再生速度の初期化。
H	順方向高速再生/ステップ別制御。
G	逆方向高速再生/ステップ別制御。
P	順方向1 x 再生。
Home	最初の時点に移動。
End	最後（直近）の時点に移動。
F	フレーム単位で次に移動。
D	フレーム単位で前に移動。
キーボードの右矢印ボタン	1秒単位で次に移動/キー入力の間連続実行。
キーボードの左矢印ボタン	1秒単位で前に移動/キー入力の間連続実行。
Shift + キーボードの右矢印ボタン	1分単位で次に移動/キー入力の間連続実行。
Shift + キーボードの左矢印ボタン	1分単位で前に移動/キー入力の間連続実行。
Tab	ウィジェット表示トグル。
Shift + Tab	ウィジェット表示モード（垂直/水平）変更トグル。
B	ブックマーク追加。

R	現時点を基準に更新/録画時間範囲のアップデート。
Shift + PgUp	録画時間範囲の<時間間隔> 前に移動。
Shift + PgDn	録画時間範囲の<時間間隔> 次に移動。
(キャプションタイムバーの上) マウスの右ボタンをクリック	サムネイルモードトグル。
(再生ボタンの上) マウスホイールボタンをスクロール	ジョグフレーム単位で移動。
(前/次ボタンの上) マウスホイールボタンをスクロール	1秒単位で移動。
(前/次ボタンの上) Shift + マウスホイールボタンをスクロール	1分単位で移動/録画時間区間が3分以下の場合は5秒単位で移動。
(キャプションタイムバーの上) マウスホイールボタンをスクロール	1秒単位で移動。
(キャプションタイムバーの上) Shift + マウスホイールボタンをスクロール	1分単位で移動/録画時間区間が3分以下の場合は5秒単位で移動。

クイックPTZ

ショートカットキー	動作
Ctrl + マウスの左ボタンドラッグ	ポインターオフセット速度ベースのペン/チルト制御。
Ctrl + マウスの右ボタンドラッグ (上/下)	ポインターオフセット速度ベースのズームイン/アウト制御。
Ctrl + マウスホイールボタンをスクロール	ズームイン/アウト制御。
Ctrl + Shift+ マウスホイールボタンをクリック	最大ズームアウト実行。
Ctrl + Shift+ マウス左ボタンドラッグ	映像に保存されている位置が中央になるようにPan/Tilt 移動。
Ctrl + Alt+ マウス左ボタンエリアドラッグ	映像に保存されているエリアに Pan/ Tilt/Zoom移動。
Ctrl + Alt+ マウスホイールボタンをクリック	エリアズームヒストリーポップアップトグル。
Esc	PTZ 制御モードで実行中の場合、制御モード解除。
キーボードの方向キー	PTZ 8方向制御。
テンキー1～4、6～9	PTZ 8方向制御。

テンキー5	PTZプリセットポップアップ
+	ズームイン。
Z	ズームイン。
-	ズームアウト。
X	ズームアウト。
/	焦点を遠くに。
*	焦点を近くに。
テンキー0	絞りを開く。
.	絞りを閉じる。
S	PTZ制御速度の設定

クイックデワーブ

ショートカットキー	動作
(オリジナル映像で) Ctrl + マウスの左ボタンエリアドラッグ	映像に保存されているエリアにデワーブ。
Ctrl + マウスの左ボタンドラッグ	映像に保存されているエリアに Pant/Tilt移動。
Ctrl + マウスの右ボタンドラッグ (上/下)	ズームイン/アウト微細制御。

Ctrl + ++マウスホイールボタンをスクロール	ズームイン/アウト制御。
Ctrl + マウスホイールボタンをクリック	デワーブ初期化。
Esc	ePTZ。制御モードで実行中の場合、制御モード解除。

クイックダイナミックズーム

ショートカットキー	動作
(オリジナル映像で) Ctrl + マウスの左ボタンエリアドラッグ	映像に保存されているエリアに拡大。
Ctrl + マウスの左ボタンドラッグ	ズームエリアに移動。
Ctrl + マウスホイールボタンをクリック	ズーム初期化。
Ctrl + ++マウスホイールボタンをスクロール	ズームイン/アウト制御。
Esc	ダイナミックズームモードで実行中の場合、ズームモード解除。

クイックセーブ

ショートカットキー	動作
Ctrl + S	設定 - 保存 - 停止映像に設定したパスおよびファイル名で停止映像自動作成。
Ctrl + Shift + S	停止映像を別の名前で保存。
Ctrl + C	クリップボードに保存。

トラブルシューティング(Q&A)

症状	確認内容
映像監視を行うことができません。	● デバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。 ● 監視の権限があるのか確認してください。
映像監視中に接続が解除されてから再接続を繰り返す。	デバイスの状態及びデバイスと IDIS centerシステムのネットワークの接続状態を確認します
監視映像が見えません。	● デバイスのカメラの接続状態を確認してください。 ● システムまたはネットワークの負荷によって監視映像が多少遅く見えることがあります。
双方向オーディオ通信を行うことができません。	デバイスとIDIS centerシステムのスピーカー及びマイクの接続状態を確認してください。デバイスが異なるシステムとすでに双方向オーディオ通信中の場合、該当する通信が解除された後に再び試みます。
ユーザーIDとパスワードを忘れてしまい、IDIS centerプログラムを実行することができません。	IDIS centerプログラムをアンインストールしてから再インストールします。ただし、アンインストール時、システムに保存されたすべてのデータを削除しなければならず、削除されたデータは復元することができません。

索引

ア

イベントスポット	55
イベントリスト	89

カ

カメラの制御	66
クリッププレーヤー	98
グループパネル	35
監視画面のメニュー	67
簡単再生	74
経路順次監視	135

サ

サイトパネル	24
サイトリストのパネル	24
再生画面のメニュー	89
制御ツールバー	89
時間重複現象	88

タ

タイムテーブル	18, 87
デバイス	23
テキストインパネル	54

ハ

パネル	22
パネルツールバー	54
プリセット	69
ホットスポット	54
ポップアップ画面	81

マ

マップ制御ツールバー	79
マップ画面メニュー	81
メニュー	19

ヤ

ユーザーリストパネル	35
------------	----

ラ

レポートツールバー	108
-----------	-----

